

# FMV

基本・使い方・トラブル解決

## FMV活用ガイド

1 基本的な使い方  
を覚えよう

2 FMVの  
おすすめ活用法

3 パソコンの画面で見る  
マニュアルを活用する

4 マイリカバリ  
を使おう

5 バックアップで  
大切なデータを守る

6 トラブルかなと  
思ったら(Q&A)

7 ご購入時の状態  
に戻す(リカバリ)

8 廃棄・リサイクル  
について

基本的な使い方から  
**トラブル解決** まで

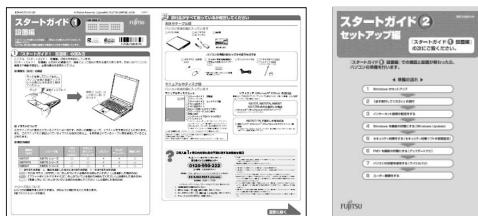
FUJITSU

この  
1冊!



## 冊子のマニュアル

### スタートガイド（1 設置編 2 セットアップ編）



使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

- 『スタートガイド1 設置編』
- 『スタートガイド2 セットアップ編』

### FMV活用ガイド



- 画面上での基本的な使い方
- FMVのおすすめ活用法
- 画面マニュアルの使い方
- マイリカバリ
- バックアップ
- トラブル解決Q&A
- リカバリ（ご購入時の状態に戻す）
- 廃棄・リサイクル

### FMVで見る・録る・残すガイド



- テレビチューナー内蔵機種に添付
- テレビについて
  - ・テレビの見かた
  - ・録画のしかた
  - ・保存のしかた
- テレビなどに関するQ&A

### FMV取扱ガイド



- 各部の名称と働き
- パソコンの取り扱い
  - ・電源の入れ方/切り方
  - ・音量の調整
  - ・輝度の調整 etc.
- 周辺機器の設置/設定/増設
- お手入れ
- 仕様一覧

### サポート&サービスのご案内



- ユーザー登録・特典
- AzbyClubのご案内
- 困ったときは
- 故障かな？と思ったときは
- お問い合わせ先
- 操作指導サービス
- お問い合わせ票/修理依頼票



## 画面で見るマニュアル

### 説明している主な内容

- パソコンの基本
- セキュリティ対策
- インターネット/Eメール
- FMV使いこなし事例集
- パソコン本体の取り扱い
- 周辺機器の接続
- 添付ソフトウェア一覧
- 困ったときのQ&A
- etc.



### 画面で見るマニュアルの始め方

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック
- 2 「画面で見るマニュアル」をクリック



テクニカルコミュニケーション協会が定める  
「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

冊子のマニュアルの本文内に、»「\*\*\*\*\*（文書番号）」とある場合は、「画面で見るマニュアル」で検索してご覧ください。

### 参照

▼ Windows の画面について

『画面で見るマニュアル』»「920010」で検索  
→ 「Windows の画面と各部の名称」

文書番号 : » の横にある6桁の数字



文書番号(6桁の数字)を  
入力して「検索する」を  
クリック

- ① 「検索」をクリック
- ② 文書番号(6桁の数字)を入力
- ③ 「検索する」をクリック



文書番号の内容が表示



「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。  
「画面で見るマニュアル」について詳しくは、『FMV活用ガイド』の  
「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

# 目次

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→  
「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

このマニュアルの表記について .....	6
カスタムメイドモデルについて .....	8
サービスアシスタントの動作条件 .....	9

## 第1章 基本的な使い方を覚えよう

1 画面（デスクトップ）を確認する .....	12
画面上のボタンについて .....	13
2 「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚える .....	14
「パソコン入門」を始める .....	14
3 ソフトウェアを使う .....	16
「@メニュー」でやってみたいことからソフトウェアを探す .....	16
ソフトウェアを使う .....	18
4 ホームページの見かたを覚える .....	23
インターネットに接続する .....	24
絵や文字をクリックして行き来する .....	25
ボタンを使って行き来する .....	26
アドレスを指定してホームページを見る .....	27
「お気に入り」に登録する .....	27
検索サービスを使う .....	28
「Internet Explorer」の使い方 早見表 .....	29
有害なホームページへのアクセスを制限する .....	31
5 Eメールの基本操作を覚える .....	33
Eメールを使い始める前に .....	33
「Outlook 2003」を使う .....	35
「Outlook Express」を使う .....	38
「覚えておきたいメールのお約束 .....	42
6 FMVを最新の状態にする .....	43
アップデートナビ .....	43

## 第2章 FMVのおすすめ活用法

1 FMV活用提案 .....	48
多彩なソフトウェアで楽しもう .....	48
手軽に映像や音楽を楽しもう .....	48
デジタルカメラの写真を取り込もう .....	49
写真入りはがきを作ろう .....	49
テレビを見る .....	50
【TVチューナー搭載機種のみ】	
オリジナルの音楽CDを作ろう .....	50
テレビにパソコンを接続しよう .....	51
【BIBLO NX、NB、NF、MGシリーズのみ】	
アナログビデオをDVDに保存しよう .....	51
【ワンセグチューナーを除くTVチューナー搭載機種】	
【スーパーマルチドライブ、HD DVD-ROMドライブ搭載機種】	
【スーパーマルチドライブ、HD DVD-ROMドライブ搭載機種】	
2 「@メニュー」でFMVがさらに便利に .....	52
ソフトウェアは「@メニュー」でスタート .....	52
「かんたんガイド」がイラストと音声でご案内 .....	53
「@メニュー」の使い方についてはこちらをご覧ください .....	53
3 「MyMedia」で映像や音楽を楽しもう .....	54
「MyMedia」なら簡単です .....	54
操作は見たいコンテンツを選ぶだけ .....	54
ネットワークでさらに楽しみが広がります .....	55
3種類のメニュー画面から好きなイメージを選べます .....	56
「MyMedia」の使い方についてはこちらをご覧ください .....	56



<b>4 リモコンでインターネットを楽しもう</b>	57
【リモコン添付の機種のみ】	
起動方法	57
ホームページの見かた	58
<b>第3章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する</b>	
<b>1 パソコンの画面で見るマニュアルとは</b>	62
<b>2 「サービスアシスタント」で調べる</b>	63
「サービスアシスタント」とは?	63
「サービスアシスタント」の起動方法	63
「画面で見るマニュアル」の使い方	65
「画面で見るマニュアル」で調べる	68
<b>3 PDF形式のマニュアルの見かた</b>	72
<b>4 ホームページで調べる</b>	74
マイページを表示する	74
FMV活用情報ページを活用する	75
<b>5 ヘルプで調べる</b>	77
ソフトウェアの使い方を知りたいとき	77
Windowsに関するなどを調べたいとき	77
<b>第4章 「マイリカバリ」を使おう</b>	
<b>1 「マイリカバリ」とは</b>	80
「マイリカバリ」でできること	81
<b>2 「マイリカバリ」を使う</b>	83
ディスクイメージを作成する	83
ディスクイメージを復元する	86
ディスクイメージをDVDにコピーする	89
ディスクイメージを他のドライブにコピーする	92
ディスクイメージを削除する	94
<b>第5章 バックアップで大切なデータを守る</b>	
<b>1 大切なデータはバックアップしましょう</b>	96
定期的にバックアップしておきたいデータ	96
パソコンをご購入時の状態に戻すときは	97
バックアップ方法	98
<b>2 まとめて簡単にバックアップする</b>	99
「FMかんたんバックアップ」をお使いになる前に	99
「FMかんたんバックアップ」でバックアップする	101
「FMかんたんバックアップ」でファイルを復元する	104
<b>3 ファイルを選んでバックアップする</b>	107
バックアップするファイルを選んでコピーする	107
ファイルが保存されている場所について	108
コピーしてバックアップしたファイルを復元する	108
<b>4 ソフトウェアのバックアップ機能を使う</b>	109
ソフトウェアのバックアップ機能の紹介	109
<b>第6章 トラブルかなと思ったら（Q&amp;A）</b>	
<b>1 パソコンにトラブルが起こったときは</b>	112
<b>2 パソコンがおかしいときのQ&amp;A集</b>	116
＜起動／終了ができない＞	116
Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [DESKPOWER]	116
Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [BIBLO]	118
Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す	121
Q パソコンの電源を入れても、Windowsが起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)	122
Q どうしても電源が切れない	124

Q 「インスタント MyMedia」が起動しない、正しく動作しない 【インスタント MyMedia 搭載機種】 .....	125
<画面の表示がおかしい> .....	127
Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、 画像がぼやけるなど） .....	127
Q 操作中に画面が動かなくなつた .....	130
<音が出ない／パソコンから変な音がする> .....	132
Q 音が出ない .....	132
Q ハードディスクからカリカリという音がする .....	132
Q Windows の起動時や終了時にフロッピーディスク ドライブから音がする ..	133
<無線 LAN が使えない> .....	135
Q 無線 LAN がつながらない／つながらなくなった .....	135
Q すでにある無線 LAN のネットワークに、このパソコンを接続できない ..	137
<キーボード／マウス／フラットポイントがおかしい> .....	138
Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない .....	138
Q キーボードの操作中に、マウスポインタが勝手に移動したり、 クリックしたりする [BIBLO (LOOX P シリーズを除く)] .....	140
Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった [DESKPOWER LX シリーズ] .....	141
Q ワイヤレスキーボードの操作中に、キーを押し続けた状態になつたり、 音量設定が不安定になつたりする [DESKPOWER LX シリーズ] .....	142
Q キーを押すと意図しない数字が入力されてしまう [BIBLO (NX シリーズを除く)] .....	142
Q ペンが使えない [LOOX P シリーズ] .....	143
<周辺機器> .....	144
Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなつた .....	144
<バッテリ／電源がおかしい [BIBLO] > .....	146
Q 状態表示 LED/LCD がおかしい [BIBLO] .....	146
Q バッテリが充電されない [BIBLO] .....	147
<画面にメッセージが表示された> .....	148
Q 「・・・ Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された .....	148
Q 「このハードウェア [ハードウェア名など] を使用するためにインストール しようとしているソフトウェアは・・・」と表示された .....	149
Q 「・・・ この問題を Microsoft に報告してください。・・・」と表示された ..	149
Q 「所在地情報」 ウィンドウが表示された .....	150
Q 「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」と表示された ..	150
Q 「Windows セキュリティの重要な警告」 ウィンドウが表示された .....	151
Q 「Norton Internet Security」の「プログラム警告」や「セキュリティ警告」 などのウィンドウが表示された .....	152
Q 「ウイルスバスター」の「外部に接続しようとするプログラム／ファイルが 見つかりました」というウィンドウが表示された .....	154
Q 「・・・ 無線 LAN が電波停止状態になっています。・・・」と表示された ..	155
<b>3 お問い合わせの前に</b> .....	156
ソフトウェアに関するお問い合わせ .....	156
富士通製品に関するお問い合わせ .....	156
<b>4 補足情報</b> .....	159
ドライバを更新する .....	159
セーフモードで起動する .....	161
Windows が起動できないときにデータをバックアップする (かんたんバックアップレスキュー) .....	163
BIOS をご購入時の状態に戻す .....	165



## 第7章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

<b>1 リカバリとは</b>	168
リカバリをする前にもう一度確認	168
リカバリの種類	169
ご購入時の状態に戻すリカバリの考え方	170
<b>2 リカバリの準備</b>	173
バックアップをする	174
リカバリをする前に気をつけておくこと	174
作業中に起こる可能性のあるトラブル	176
ディスクを用意する	176
<b>3 リカバリを実行する</b>	178
リカバリの流れ	178
「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する	179
Windows のセットアップをする	184
搭載ソフトウェアをインストールする①	187
搭載ソフトウェアをインストールする②	190
「必ず実行してください」を実行する	193
「Virtual CD」をご購入時と同じ設定にする（BIBLO MG シリーズ）	194
<b>4 以前の環境に近づける</b>	195
周辺機器を接続する	195
ユーザーアカウントをリカバリ前の設定に戻す	195
ソフトウェアをインストールする	196
バックアップしたファイルを復元する	196
セキュリティ問題などの修正プログラムを実行する	196
インターネット接続の設定をする	197
「Office 2003」のライセンス認証を行う	197
Windows を最新の状態にする（Windows Update）	197
セキュリティ対策をする	198
その他	198
<b>5 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使ってできること</b>	199
「インスタント MyMedia」のリカバリを行う	199
対象機種：「インスタント MyMedia」搭載機種のみ	
Windows が起動しないときにバックアップをとる	199
ハードディスクの内容を消去する	199
C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）	200
次の機種は除く：BIBLO NX95T/D、ハードディスク容量を 320GB 以上に選択された NX90TN/D と NX70TN/D	
ハードディスクをフォーマットする	202
対象機種：BIBLO NX95T/D、ハードディスク容量を 320GB 以上に選択された NX90TN/D と NX70TN/D	
<b>6 カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は</b>	203
「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する	203
<b>7 準足情報</b>	206
サービスアシスタントをインストールする	206
「Office 2003」をインストールする	207
「プロアトラス SV2 for FUJITSU」をインストールする	210
パソコンをご購入時と同じ設定にする	212

## 第8章 廃棄・リサイクルについて

<b>1 ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて</b>	214
本製品の廃棄について	214
パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意	215
使用済み乾電池の廃棄について	217
使用済みバッテリの取り扱いについて	218
[DESKPOWER を除く]	
<b>索引</b>	219

# このマニュアルの表記について

## 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

## 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 <b>重要</b>	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
 <b>参照</b>	参照していただきたいマニュアルを記述しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。 (起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。)
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>DESKPOWER の場合 キーボードのサポートボタンを押す</li><li>BIBLO NX、NB、MG シリーズの場合 Application モードでワンタッチボタンの A を押す</li><li>BIBLO NF、LOOX P シリーズの場合 画面にある <b>「マニュアル&amp;サポート」</b> をクリック</li><li>全機種共通 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&amp;サポート）」の順にクリック</li></ul>
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

## 製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER	FMV、DESKPOWER
FMV-BIBLO	FMV、BIBLO
Adobe® Reader™ 7.0.8	Adobe Reader
Medi@Show SE	Medi@Show



製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Internet Explorer 6.0	Internet Explorer
Microsoft® Office 2003 Service Pack 2	Office 2003 SP2またはOffice 2003のSP2
Microsoft® Office Excel 2003	Excel 2003
Microsoft® Office Home Style <sup>+</sup>	Home Style <sup>+</sup>
Microsoft® Office Home Style <sup>+</sup> Service Pack 2	Home Style <sup>+</sup> SP2 または Home Style <sup>+</sup> のSP2
Microsoft® Office Outlook® 2003	Outlook 2003
Microsoft® Office Personal Edition 2003	Office Personal 2003 または Office 2003
Microsoft® Office Word 2003	Word 2003
Microsoft® Outlook® Express	Outlook Express
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows または Windows XP または Windows XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows または Windows XP または Windows XP Professional
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005	Windows または Windows XP または Windows XP Tablet PC Edition
Microsoft® Word2003&Excel2003の虎の巻	Word2003&Excel2003 の虎の巻
Norton Internet Security™ 2006	Norton Internet Security
i- フィルター 4	i- フィルター
OASYS Viewer V8.0	OASYS ビューア
Roxio Easy Media Creator	Easy Media Creator
辞書 & 検索ソフトシリーズ 広辞苑第五版	広辞苑第五版
辞書&検索ソフトシリーズ 現代用語の基礎知識2006年版	現代用語の基礎知識
富士通サービスアシスタント V3.6	サービスアシスタント
筆ぐるめ Ver.13	筆ぐるめ
ウイルスバスター™ 2006 インターネット セキュリティ	ウイルスバスター
スーパーマルチドライブ、 CD- RW/DVD- ROM ドライブ、 HD DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ
リカバリ&ユーティリティディスク／ アプリケーションディスク 1	リカバリ&ユーティリティディスク またはアプリケーションディスク 1 またはアプリケーションディスク
アプリケーションディスク 1、 アプリケーションディスク 2	アプリケーションディスク

## 各部名称について

次にあげる一部の各部名称は、機種により異なるため、このマニュアルでは次のように表記しています。

各部名称	このマニュアルでの表記
電源ボタン パソコン電源ボタン	電源（パソコン電源）ボタン
電源ランプ パソコン電源ランプ	電源（パソコン電源）ランプ
フラットポイント フラットポイントデジタイザ	フラットポイント

## インターネット上の情報について

インターネット上に掲載されている情報（画像、映像、音楽、文書などのデータ）のほとんどは、著作権法により保護されています。

個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人のホームページなどに掲載することはできません。

## 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MacromediaおよびFlash、Shockwaveは、Macromedia,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2006

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

## カスタムメイドモデルについて

このマニュアルの本文中に「富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルで、ご購入時にスタンダードセットを選択した場合」または「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方」という表記があります。

これはインターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入の際に、「ソフトウェア」の項目で「スタンダードセット（Officeなし）」を選択した方が対象になります。



## サービスアシスタントの動作条件

動作環境	Microsoft® Windows® XP Home Edition
	Microsoft® Windows® XP Professional
	Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005
	Microsoft® Internet Explorer 6.0
	Macromedia Shockwave® Player 10.1
	Macromedia Flash™ Player 8.0
	Adobe® Reader™ 7.0.8
メモリ	256MB 以上
発色数	中（16 ビット）以上
解像度	800 × 600 ピクセル以上 上記の条件を満たさない解像度の場合、「画面で見るマニュアル」の「パソコン入門」はお使いになれません。
DPI 設定	通常のサイズ（96DPI）
対象機種	富士通サービスアシスタントが搭載されている FMV シリーズ
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・初回起動時のみ、Windows XP のユーザー アカウントが「コンピュータの管理者」に設定されている必要があります。</li><li>・ご購入時に搭載している OS でのみ動作保証します。</li></ul>

Memo



## 第1章

# 基本的な使い方を覚えよう

このパソコンでは、基本的な使い方を、パソコンを操作しながら覚えることができる「パソコン入門」を用意しています。

パソコンを使うのが初めての方は、「パソコン入門」で操作を覚えてから、使い始めましょう。

「パソコン入門」で基本的な使い方を覚えた後は、ソフトウェアの起動方法、インターネットでホームページを見るときの基本操作、Eメールの基本操作を覚えましょう。

1 画面（デスクトップ）を確認する .....	12
2 「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚える .....	14
3 ソフトウェアを使う .....	16
4 ホームページの見かたを覚える .....	23
5 Eメールの基本操作を覚える .....	33
6 FMVを最新の状態にする .....	43

# 画面（デスクトップ）を確認する

ここでは、ご購入時の状態の画面を例に名称を紹介します。

次の画像のような、Windows を起動したときに表示される基本となる操作画面全体のことを「デスクトップ」といいます。



## POINT

ボタンをクリックしたときに、ホームページの上部に警告メッセージが表示されたら

「Internet Explorer」のセキュリティ機能で、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれる細長い警告メッセージが表示されることがあります。

詳しくは、「ホームページに警告メッセージが表示されたら」(▶ P.24) をご覧ください。



# 画面上のボタンについて

パソコンの初期設定が終了した後に表示される画面上のボタンを「FMV ランチャー」といいます。「FMV ランチャー」の表示は、追加したり削除したりなどの変更ができます。

## FMV ランチャーの表示を変更する

### 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV ランチャー（画面上のボタン）」→「FMV ランチャー設定」の順にクリックします。

「FMV ランチャー設定」が表示されます。



#### ■自動起動

「FMV ランチャー」のすべてのボタンを常に非表示にするには、をクリックして、にします。次に Windows が起動したときから、画面上にボタンが表示されなくなります。

再度「FMV ランチャー」を表示するには、をクリックして、にします。次に Windows が起動したときから、画面上にボタンが表示されます。

#### ■表示設定

をクリックしてにすると、ボタンが非表示になります。

非表示にしたボタンを再度表示するには、をクリックしてにします。

### 2 「終了」をクリックします。

「ボタンの設定を変更します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

### 3 「はい」をクリックします。

「FMV ランチャー設定」が終了します。

2

基本的な使い方を覚えよう

## 「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚える

「パソコン入門」では、文字の入力方法や Windows の操作方法など、パソコンを使ううえで必要なことを楽しく練習しながら覚えることができます。

### 「パソコン入門」を始める

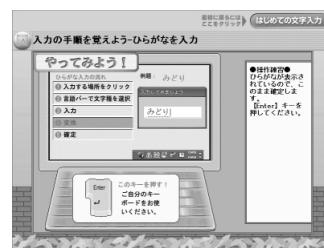
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「パソコン入門」の順にクリックします。



「パソコン入門」が表示されます。



## 2 見たい項目をクリックします。



### ■お使いになる上での留意事項

#### △重要

「パソコン入門」をご覧になっているときに、マウスポインタが点滅する場合がありますが、動作に問題ありません。そのままお使いください。

#### ・印刷する場合

「パソコン入門」では、「印刷」をクリックした後、「印刷」ウィンドウが表示されるまでに多少時間がかかることがあります。そのままお待ちください。

#### ・「はじめての文字入力」をご覧になる場合

日本語入力システムの入力方法を「かな入力」にしている方は、「パソコン入門」の「はじめての文字入力」をご覧になる前に、入力方法を必ず「ローマ字入力」に変更してください。

なお、ご覧になる前に「ローマ字入力」に設定していても、「はじめての文字入力」では「かな入力」の練習ができます。

#### ・DESKPOWER LX シリーズをお使いの場合

一部の各部名称については、次のように読み替えてください。

- 電源ボタン→パソコン電源ボタン
- 電源ランプ→パソコン電源ランプ

#### ・BIBLO LOOX P シリーズをお使いの場合

「マウス／フラットポイントの練習」の「フラットポイントの練習」はお使いになれません。マウスポインタを操作するには、スティックポイントを使います。

#### 参照

##### ▼ スティックポイントの使い方

##### 『FMV 取扱ガイド』

→ 「パソコンの取り扱い」 → 「スティックポイントを使う」

## ソフトウェアを使う

このパソコンにはさまざまなソフトウェアが添付されています。

ここでは、やってみたいことからソフトウェアを探す方法とソフトウェアの使い方について説明します。

### 「@メニュー」でやってみたいことからソフトウェアを探す

やってみたいことはあるのに、どのソフトウェアを使えばよいのかわからない。そんなときは、「@メニュー」でソフトウェアを探してみましょう。

「@メニュー」を使うと、ソフトウェアを目的に合わせて簡単に探すことができます。

#### 1 「@メニュー」を起動します。起動方法は機種により異なります。

##### ■DESKPOWER の場合

キーボードのメニューボタンを押す。

##### ■BIBLO NX、NB、MG シリーズの場合

Application モードでワンタッチボタンの B を押す。

##### ■BIBLO NF、LOOX P シリーズの場合

画面にある **ソフトウェアをさがす** をクリックする。

##### ■全機種共通

「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックする。

#### 2 上部の「目的でさがす」をクリックし、やってみたいことのカテゴリを選びます。



### 3 やってみたいことを選びます。



### 4 「このソフトを使う」をクリックすると、ソフトウェアが起動します。



■ソフトウェアについてもっと知りたいときは  
次のボタンをクリックしてください。

- ・ **かんたんガイド**  
いろいろなソフトウェアを使ってできることが紹介されています。難しいと思われがちな操作が、手順どおりに進んでいけば簡単にできる方法が紹介されています。
- ・ **概要を見る**  
ソフトウェアに関する説明を見ることができます。



・ 特長…ソフトウェアの特長が紹介されています。

- ・例えばこんなことができます…ソフトウェアを使ってできることが紹介されています。
  - ・画面例…起動したときの画面や、ソフトウェアで作成した作品例などが紹介されています。
  - ・ソフトウェアをお使いになる前に…ソフトウェアをお使いになる前の注意事項が説明されています。
  - ・起動…ソフトウェアの起動方法が説明されています。
  - ・使い方…ソフトウェアの使い方がわからないときなどに使う、マニュアルやヘルプの表示方法を説明しています。
  - ・問い合わせ先…ソフトウェアに関するお問い合わせ先が紹介されています。会社名をクリックするとお問い合わせ先が表示されます。
- ・  マニュアルを見る  
ソフトウェアのヘルプやマニュアルを見るすることができます。
- ・  になっているときは、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを見ることができません。
- ・  お問い合わせ先を見る  
ソフトウェアに関するお問い合わせ先が紹介されています。会社名をクリックするとお問い合わせ先が表示されます。

### 参照

▼添付されているすべてのソフトウェア一覧を表示するには



→「7. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」または「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」

## ソフトウェアを使う

ソフトウェアの使い方は、ソフトウェアの搭載状況により異なります。  
ここでは、ソフトウェアの搭載状況と使い方について説明します。

### ソフトウェアの搭載状況

#### ■「スタート」ボタンに登録されているもの

「スタート」ボタンに登録されているソフトウェアは、あらかじめインストールされているのですぐにお使いになれます。使い方については、「「スタート」ボタンに登録されているソフトウェアを使う」（[P.19](#)）をご覧ください。

#### ■「スタート」ボタンに登録されていないもの

「スタート」ボタンに登録されていないソフトウェアには、次のものがあります。

##### ・ハードディスクに圧縮した状態で搭載されているもの

使い方については、「ハードディスクに圧縮した状態で搭載されているソフトウェアを使う」（[P.19](#)）をご覧ください。

##### ・◎「リカバリ&ユーティリティディスク」または◎「アプリケーションディスク」に搭載されているもの

使い方については、「◎「リカバリ&ユーティリティディスク」または「アプリケーションディスク」に搭載されているソフトウェアを使う」（[P.21](#)）をご覧ください。

##### ・専用のディスクに搭載されているもの

使い方については、「専用のディスクに搭載されているソフトウェアを使う」（[P.22](#)）をご覧ください。

## 参照

▼添付されているすべてのソフトウェアの搭載状況一覧を表示するには

『画面で見るマニュアル』

→「7. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「ソフトウェア搭載状況一覧」

## 「スタート」ボタンに登録されているソフトウェアを使う

このパソコンにあらかじめインストールされているソフトウェアは、「スタート」ボタンに登録されているので、すぐにお使いになれます。

### 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」の順にクリックします。

このパソコンにあらかじめインストールされているソフトウェアが表示されます。

### 2 お使いになりたいソフトウェアをクリックします。

ソフトウェアが起動します。

## ハードディスクに圧縮した状態で搭載されているソフトウェアを使う

ハードディスクに圧縮された状態で搭載されているソフトウェアは、「@メニュー」に表示されるアイコンがになっています。「@メニュー」から初回起動すると、自動的にセットアップし、インストールされます。

ハードディスクに圧縮された状態で搭載されているソフトウェアには次のものがあります（機種により異なります）。

- FM手帳
- はーときゃんばす
- 音声メモ
- i-フィルター
- @キャプチャ

### POINT

#### カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は

上記のソフトウェアは、◎「アプリケーションディスク」に保存されています（機種により異なります）。ソフトウェアの使い方については、「◎「リカバリ&ユーティリティディスク」または「アプリケーションディスク」に搭載されているソフトウェアを使う」（ P.21）をご覧ください。

## ■(例) 初めて「FM 手帳」を起動する

ご購入時の状態では、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に表示されるメニューに「FM 手帳」はありません。

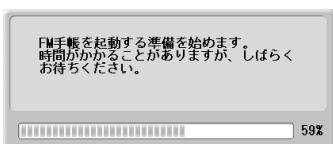
1 「@メニュー」を起動します。

2 上部の「名前でさがす」をクリックし、「趣味・実用」をクリックします。



3 (FM 手帳) をクリックします。

FM 手帳を起動する準備が始まります。



4 次のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



「@メニュー」の「FM 手帳」のアイコンが に変わり、「FM 手帳」が起動します。

以上の操作で、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に「FM 手帳」が登録されました。  
次からは、「スタート」ボタンを使って「FM 手帳」を起動できます。

### POINT

になっているソフトウェアを削除するには

「@メニュー」のアイコンが になっているソフトウェアは、ご購入時の状態ではハードディスクの中に圧縮データが保存されています。これらのソフトウェアは「@メニュー」からの初回起動時に自動的にインストールされます。ソフトウェアをインストールした後もハードディスク内の圧縮データは残ります。これらのソフトウェアを完全に削除したいときには、次のフォルダ内にある各ソフトウェアのフォルダも削除してください。

C:\¥ifmae¥[ 削除したいソフトウェアのフォルダ ]

削除したいソフトウェアとフォルダ名を調べるには、◎「リカバリ&ユーティリティディスク」または◎「アプリケーションディスク」の中の「indexcd」をクリックしてください。フォルダ／ファイル名の一覧表が表示されます。



## ◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」または ◎「アプリケーションディスク」に搭載されているソフトウェアを使う

このパソコンには、あらかじめソフトウェアがインストールされています。インストールされているソフトウェアは、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」や◎「アプリケーションディスク」にも搭載されています。

ほとんどのソフトウェアは、これらのディスクがなくてもお使いになれます。次の場合には、添付のディスクからソフトウェアをインストールする必要があります。

### ■ご購入時にインストールされていないソフトウェアをお使いになる場合

- ・「学研パーソナル統合辞典」をお使いになるには（BIBLO LOOX P シリーズを除く）  
「学研パーソナル統合辞典」は、ご購入時にはパソコンにインストールされません。◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」からインストールしてお使いください。

#### 参照

- ▼ インストールする方法についてはソフトウェアの説明をご覧ください

#### 『画面で見るマニュアル』

- 「7. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」

「学研パーソナル統合辞典」のディスクが添付されている機種の方は、ディスクをセットしてお使いになることもできます。その場合は、「専用のディスクに搭載されているソフトウェアを使う」（ $\cdots\blacktriangleright$  P.22）をご覧ください。

- ・BIBLO LOOX P シリーズ、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は  
BIBLO LOOX P シリーズ、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、◎「アプリケーションディスク」からインストールして使うソフトウェアがあります。

#### 参照

- ▼ ソフトウェアの搭載状況一覧を表示するには

#### 『画面で見るマニュアル』

- 「7. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」→ 「ソフトウェア搭載状況一覧」

### ■パソコンをご購入時の状態に戻す場合

ご購入時の状態に戻す（リカバリ）作業については、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（ $\cdots\blacktriangleright$  P.167）をご覧ください。

#### POINT

##### ◎「アプリケーションディスク」の内容について

- ◎「アプリケーションディスク」には、次のものが収録されています。
    - ・ ソフトウェア
    - ・ ドライバ
    - ドライバを更新する方法については、「ドライバを更新する」（ $\cdots\blacktriangleright$  P.159）をご覧ください。
    - ・ indexcd.htm
- 「indexcd」をクリックすると、◎「アプリケーションディスク」に収録されているソフトウェアのフォルダ／ファイル名の一覧が表示されます。

## 専用のディスクに搭載されているソフトウェアを使う

専用のディスクに搭載されているソフトウェアには、次のものがあります（機種により異なります）。

- ・広辞苑第五版
- ・現代用語の基礎知識
- ・学研新世紀ビジュアル百科辞典
- ・学研 パーソナル統合辞典
- ・Word2003&Excel2003 の虎の巻

### ■(例) 「広辞苑第五版」を使う

#### 1 「広辞苑第五版」のディスクをセットします。

「EPWING/ST PLAYER」ウィンドウが表示されない場合は、デスクトップの（マイコンピュータ）をクリックします。表示された一覧から (epwingdic) を右クリックし、表示されるメニューから、「自動再生」をクリックします。

#### 2 「EPWING/ST PLAYER」ウィンドウで「広辞苑第五版」をクリックします。

#### 3 「書籍選択」ウィンドウで「OK」をクリックします。

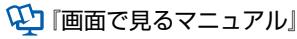


#### ソフトウェアをインストールしてお使いになることもできます

ソフトウェアをディスクからインストールすると、ディスクをセットせずにお使いになることができます。

#### 参照

▼インストールする方法についてはソフトウェアの説明をご覧ください



『画面で見るマニュアル』

→「7.添付ソフトウェア一覧（読み別）」



## 4

## ホームページの見かたを覚える

実際にホームページを見ながら、基本的な操作を覚えましょう。

 **重要**
**初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください**

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじやくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

 **参照**

▼セキュリティ対策については

『スタートガイド2 セットアップ編』

→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策をする」

**操作の途中で自動的に切断されることがあります**

ダイヤルアップ接続の方は、電話回線の切り忘れを防ぐため、インターネットにアクセスしない時間が一定時間続くと、自動的に回線が切断される場合があります。

**ホームページは不定期に更新されている場合があります**

このマニュアルで掲載しているホームページの内容は更新されている可能性があり、現在お客様の見ている内容と違っている場合があります。

 **参照**

▼ホームページのより詳しい見かたについては

『画面で見るマニュアル』

→「3. インターネット／Eメール」→「ホームページの見かた」

# インターネットに接続する

インターネットに接続して、ホームページの見かたを覚えましょう。

インターネットに接続するための設定や方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

## 1 「スタート」ボタン→「インターネット」の順にクリックします。

「Internet Explorer」にホームページが表示されます。

## ホームページに警告メッセージが表示されたら

「Internet Explorer」のセキュリティ機能には、ポップアップ広告を表示しないようにする「ポップアップブロック」や、「ActiveX コントロールのダウンロードブロック」などがあります。セキュリティ機能が働くと、安全なホームページでも、次のような問題が生じる場合があります。

- ・画像が表示できない
- ・リンクをクリックしても表示できない
- ・ダウンロードできない

このとき、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれる細長い警告メッセージが表示されます。このメッセージに従って操作すると、制限を解除し、画像などを表示することができます。問題のないホームページやソフトウェアの場合のみ、制限を解除してください。

### 参照

▼ 制限を解除する方法については

 『画面で見るマニュアル』 ➡  「500100」で検索

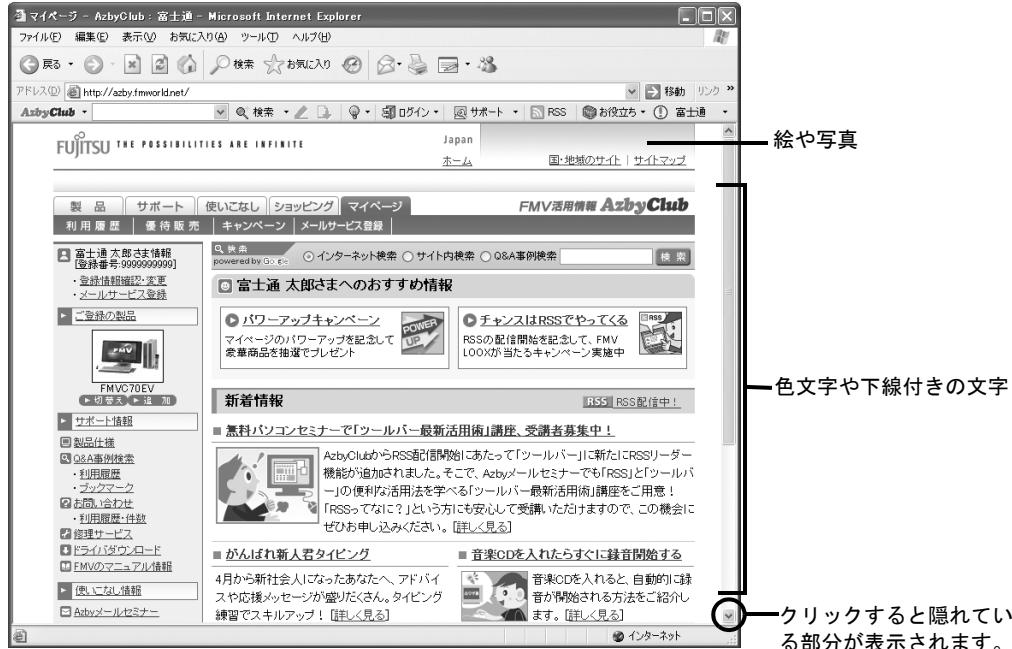
→ 「情報バーが表示された」



# 絵や文字をクリックして行き来する

絵や文字に（マウスポインタ）を合わせてみましょう。に変わったら、そこがクリックできるところです。クリックできる主な場所は、次のとおりです。

## （例）マイページ



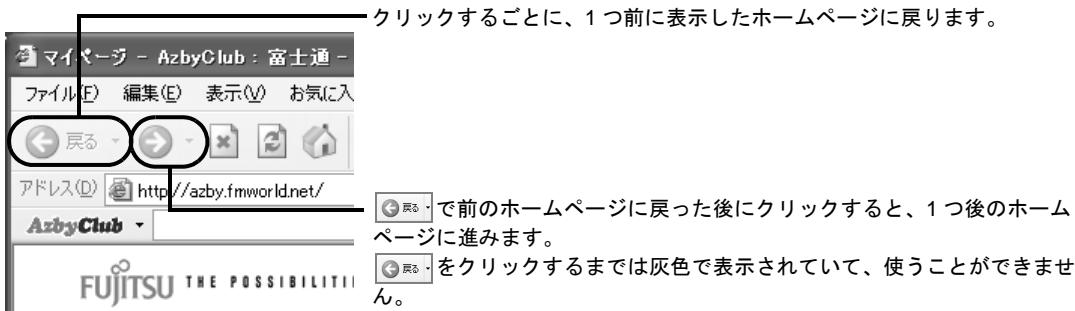
これらをクリックすると、別のホームページを見ることができます。このように関連付けされた機能を、「リンク」といいます。

別のホームページにリンクした部分をクリックすると、そのウィンドウの表示がリンク先のホームページに変わる場合と、もう 1 つ「Internet Explorer」が起動し、そこにリンク先のホームページが表示される場合があります。

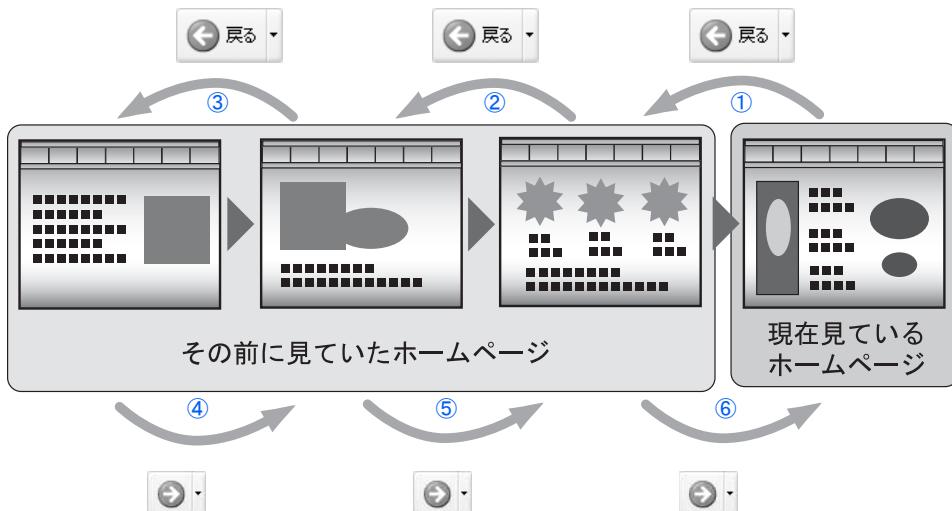
# ボタンを使って行き来する

## 1つ前のホームページに戻る／進む

「Internet Explorer」のボタンを使うと、一度表示したホームページをすばやく行き来することができます。



ホームページの移動のしかたは、次のようにになります。



## 一番はじめのホームページに戻る

インターネットに接続して最初に「Internet Explorer」に表示されるホームページのことを「スタートページ」といいます。スタートページに戻るには[戻る]をクリックします。

スタートページは変更できます。

### 参照

#### ▼ スタートページの変更方法

- 『画面で見るマニュアル』» 「921000」で検索  
→ 「最初に表示されるホームページを変える」



## アドレスを指定してホームページを見る

雑誌やテレビ番組などで見つけたアドレス（例：http://azby.fmworld.net/）のホームページを見るには、「Internet Explorer」の「アドレス」欄に直接アドレスを入力し、[Enter]キーを押します。アドレスのことを「URL」とも言います。

「http://」を省略して「azby.fmworld.net/」と入力してもホームページが表示されます。



アドレスに含まれる「~（チルダ）」や「\_（アンダーバー）」は、キーボードの[半角]キーを押して半角文字が入力できる状態にしてから、次のようにキーを組み合わせて入力します。

「~」 → [Shift] を押しながら [~]

「\_」 → [Shift] を押しながら [\_]

### POINT

「次のサーバーの場所を見つかりません」などと表示された場合は、入力したアドレスが間違っているか、そのホームページがすでになくなっている可能性があります。

## 「お気に入り」に登録する

「Internet Explorer」には、「お気に入り」という機能があります。

今見ているホームページを「お気に入り」に登録すれば、そのホームページを見るときにアドレスを入力する手間が省けます。「お気に入り」は「ブックマーク」とも言います。

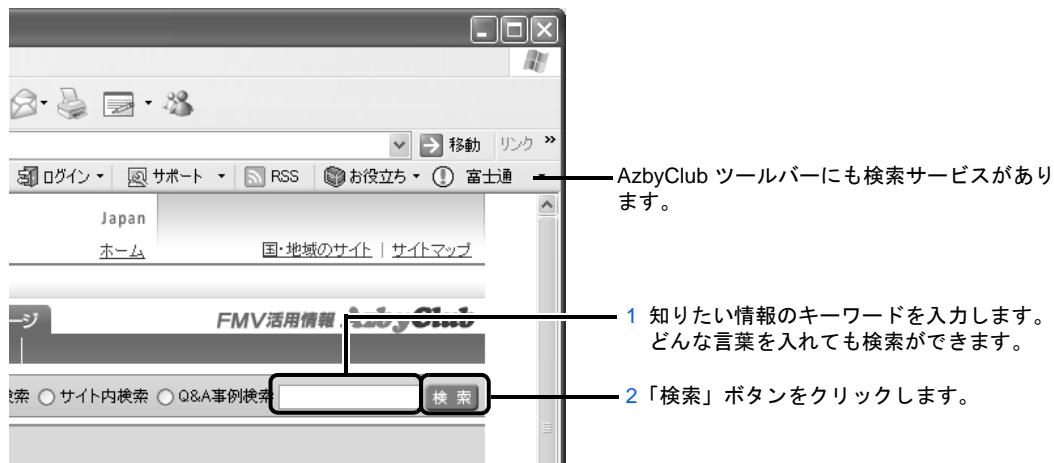
[お気に入り] をクリックして、「お気に入りに追加」をクリックしても登録することができます。



# 検索サービスを使う

インターネットには無数のホームページがあります。そのホームページの中から知りたい情報のキーワードに関係あるホームページを無料で検索してくれる「検索サービス」があります。

(例) マイページでも検索サービスを行っています。



# 「Internet Explorer」の使い方 早見表



## メニュー

<b>ファイル</b>	ホームページの保存や印刷ができます。
<b>編集</b>	コピーや貼り付け、ホームページ内での検索などができます。
<b>お気に入り</b>	登録したホームページの一覧が表示されます。また、お気に入りのホームページを登録したり、登録したホームページの整理などができます。
<b>ツール</b>	「インターネットオプション」を選ぶと、スタートページや接続の設定など、インターネット環境を整えることができます。
<b>ヘルプ</b>	「目次とキーワード」をクリックすると、ヘルプが起動します。

## ボタン

	1つ前に表示したホームページに戻ります。(▶ P.26)
	で前のホームページに戻った後で、1つ後のホームページに進みます。(▶ P.26)
	指定したホームページへのアクセスや、データの読み込みを中止します。
	表示しているホームページを最新の情報にします。
	接続時に一番はじめに表示されるホームページ（スタートページ）を表示します。
	お気に入りに登録したホームページの一覧を表示します。クリックするごとに一覧を表示したり、消したりできます。
	表示中のホームページを印刷します。

## アドレス

見たいホームページのアドレス（URL）を入力し、[Enter]を押すと、そのホームページへ簡単にジャンプすることができます。(▶ P.27)

右端のをクリックすると、過去にアクセスしたホームページ（直接入力したアドレス）の一覧が表示されます。この中から見たいホームページをクリックすると、そのホームページにジャンプします。

## AzbyClub ツールバー

AzbyClubツールバーについては、AzbyClubツールバーの  をクリックし、「ツールバーの機能ご紹介」をクリックしてください。

### イメージツールバー

ホームページ上の画像にマウスポインタを合わせると表示される場合があります。イメージツールバーのアイコンをクリックすると、画像の保存や印刷ができます。

—— 画像をハードディスクに保存します。

—— 画像を印刷します。

—— 画像を E メールといっしょに送信します。



—— [マイ ピクチャ] フォルダを開きます。

詳しい使い方については、「Internet Explorer」のヘルプをご覧ください。



# 有害なホームページへのアクセスを制限する

ホームページの中には、青少年に悪影響を与えるような内容を含むものがあります。

有害なホームページへのアクセスを制御することを「フィルタリング」と言います。

ここでは、「フィルタリング」の方法について紹介します。

ここで紹介している対策を行っても、すべての有害なホームページへのアクセスを制御できるわけではありませんので、ご了承ください。

## ■「i-フィルター」を使う[BIBLO LOOX Pシリーズを除く]

このパソコンには、「i-フィルター」というフィルタリングソフトが用意されています。

### 「i-フィルター」の起動方法

- 1 「@メニュー」を起動します。
- 2 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。
- 3 「i-フィルター」をクリックします。

この後は、画面に従って操作してください。



「i-フィルター」の設定画面

### POINT

#### 「i-フィルター」の利用期間

「i-フィルター」の利用期間は、初回起動時から30日間です。利用期間が経過すると、フィルター機能は利用できなくなります。継続して利用する場合は、オンラインにてユーザー登録、シリアルIDの購入が必要です。

## ■「Internet Explorer」のコンテンツアドバイザ機能を使う

閲覧できるホームページの内容を制限できる「Internet Explorer」の機能です。

### 設定方法

- 1 「Internet Explorer」の「ツール」メニューをクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「コンテンツ」タブをクリックし、「コンテンツ アドバイザ」の「有効にする」をクリックします。
- 3 規制したい項目の設定をします。

項目の設定方法については、「Internet Explorer」のヘルプをご覧ください。

## ■市販のフィルタリングソフトを使う

有害なホームページへのアクセスを制限する各種ソフトウェアが販売されています。

## ■プロバイダが提供するフィルタリングサービスを使う

プロバイダによっては、フィルタリングサービスを提供しています。

詳しくは、ご利用のプロバイダに確認してください。



# 5

# Eメールの基本操作を覚える

ここでは「Outlook 2003」および「Outlook Express」というメールソフトを使って、Eメールを始めるための基本操作について説明しています。

## 参照

- ▼ Eメールのより詳しい使い方については
- 『画面で見るマニュアル』  
→「3. インターネット／Eメール」→「Eメールの使い方」

## Eメールを使い始める前に

あらかじめ、インターネットに接続するための設定を行ってください。設定方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

## 重要

### 初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

## 参照

- ▼セキュリティ対策については
- 『スタートガイド2 セットアップ編』  
→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策をする」

ご購入時に設定されているメールソフトは、機種により異なります。

## ■Outlook 2003

ご購入時は、通常使うメールソフトは「Outlook 2003」に設定されています（BIBLO LOOX P70T/V、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く）。  
「「Outlook 2003」を使う」（ $\rightarrow$  P.35）に進んでください。

## ■Outlook Express

BIBLO LOOX P70T/V、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、通常使うメールソフトは「Outlook Express」に設定されています。  
「「Outlook Express」を使う」（ $\rightarrow$  P.38）に進んでください。  
カスタムメイドモデルについては、「カスタムメイドモデルについて」（ $\rightarrow$  P.8）をご覧ください。

## POINT

### このパソコンには「@メール」が添付されています [BIBLO LOOX P シリーズを除く]

このパソコンには、「@メール」という富士通製のメールソフトが添付されています。

「@メール」は、ご購入時の設定では通常使用するメールソフトに設定されていませんが、FMVで使うときに便利な機能をいろいろ備えています。

次のような機能を使いたい場合には「@メール」をご利用ください。

- ・「ゆったり設定2」を使って、文字を拡大して見たいとき
- ・ワンタッチボタンで受信した新着メールを、音声で読み上げてもらいたいとき
- ・メールの内容を、音声で読み上げてもらいたいとき
- ・「@キャプチャ」で撮った画像データをメールに添付したいとき
- ・「音声メモ」を使って作成した音声データをメールに添付したいとき

## 参照

### ▼「@メール」を通常使用するメールソフトに設定する方法

『画面で見るマニュアル』» 「406015で検索」

→「このパソコンで通常使うメールソフトを設定する」

### カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方が「@メール」をお使いになる場合

パソコンに添付されている◎「アプリケーションディスク1」から「@メール」をインストールしてください。

## 参照

### ▼インストール方法

『画面で見るマニュアル』» 「200230で検索」

→「FMかんたんインストール」



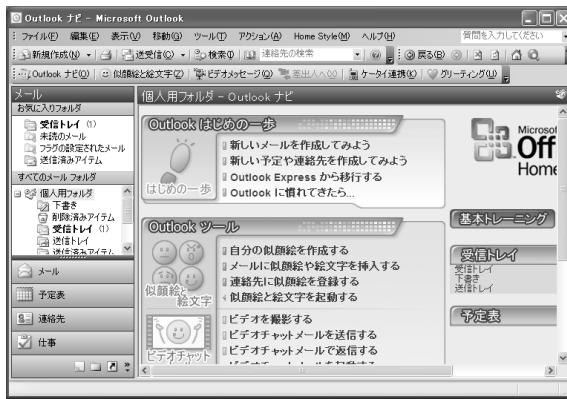
## 「Outlook 2003」を使う

# 「Outlook 2003」の始め方

1 「スタート」ボタン→「電子メール」の順にクリックします。

「Outlook 2003」が起動しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」→「Microsoft Office Outlook 2003」の順にクリックしてください。

## 2 「Outlook 2003」が起動します。

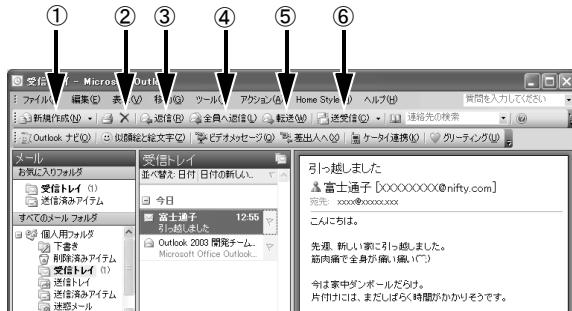


(画面は機種や状況により異なります)

# 「Outlook 2003」の使い方

## ■「Outlook 2003」の画面について

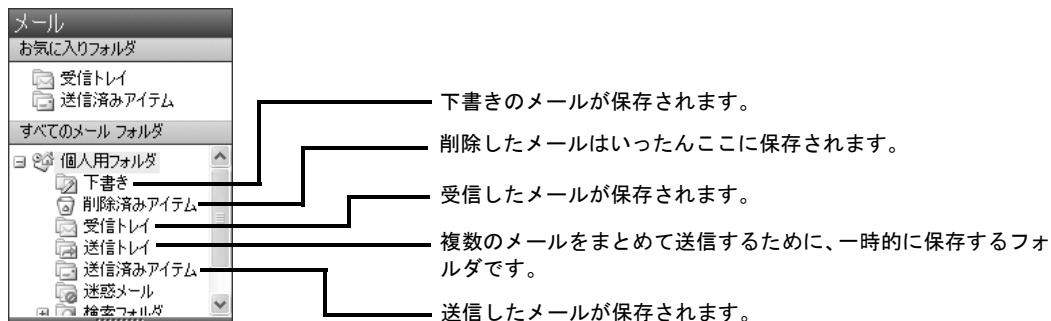
「受信トレイ」フォルダをクリックしたときの画面です。



①  新規作成(N) ▾	新しいメールを書くときに使います。クリックすると、「メール作成画面」(P.37)が表示されます。
②	受信したメールを削除するときに使います。削除したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、メールが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。
③  還信(R)	受信したメールに返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
④  全員へ返信(L)	受信したメールを全員に返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
⑤  転送(W)	受信したメールを誰かに転送するときに使います。転送したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
⑥  送受信(O) ▾	新しいメールが来ているかどうか調べて受信するときや、「受信トレイ」フォルダに保存してあるメールを送信するときに使います。クリックするとインターネットへ接続し、送信と受信を同時に行います。

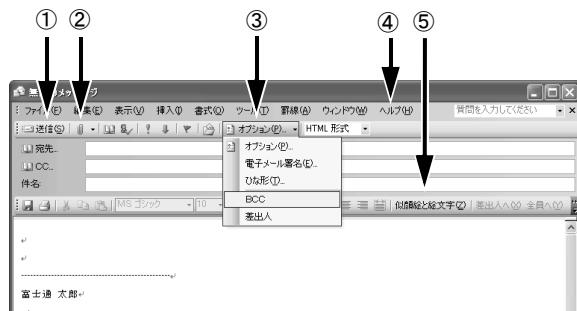
## ■フォルダの種類について

「Outlook 2003」ウィンドウの左側（フォルダエリア）には、メールを種類ごとに分けるためのフォルダが用意されています。



## ■メール作成画面について

メールを書くときに表示される画面です。



①  送信(S)	作成したメールを送信するときに使います。
② [添付]	メールに画像などのファイルを添付するときに使います。
③  オプション(P)... ▾	メールの宛先に「BCC」を追加したいときなどに使います。クリックすると、宛先などの詳細な設定ができるようになります。「CC」や「BCC」については、「CC」「BCC」について（▶ P.41）をご覧ください。
④  ヘルプ(H)	「Outlook 2003」の詳しい使い方を知りたいときに使います。
⑤  似顔絵と絵文字(Z)	メールの文章に絵文字などを挿入したいときに使います。

## お問い合わせ先

「Outlook 2003」については、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

### 参照

▼ お問い合わせ窓口

『サポート&サービスのご案内』

→ 「困ったときは」 → 「STEP 3 サポート窓口に相談する」

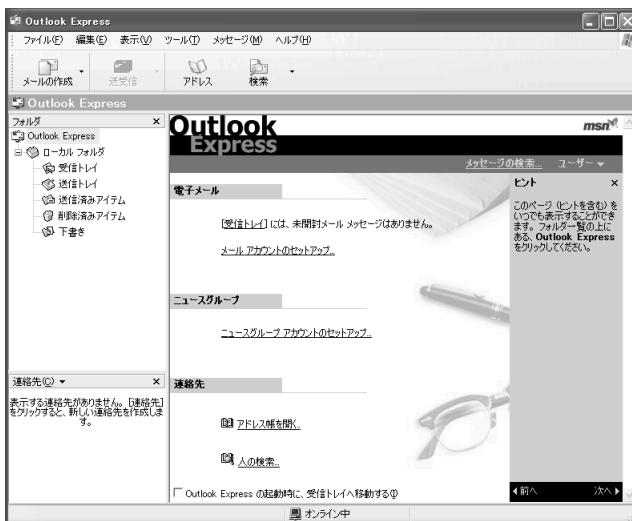
# 「Outlook Express」を使う

## 「Outlook Express」の始め方

### 1 「スタート」ボタン→「電子メール」の順にクリックします。

「Outlook Express」が起動しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Outlook Express」の順にクリックしてください。

### 2 「Outlook Express」が起動します。



# 「Outlook Express」の使い方

## ■「Outlook Express」の画面について

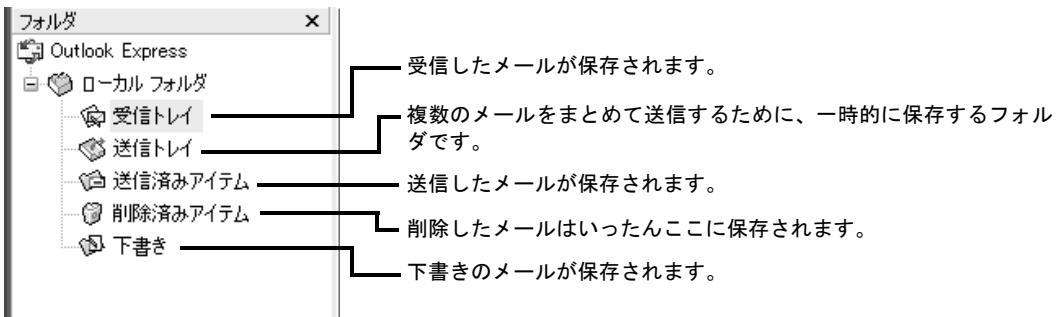
「受信トレイ」フォルダをクリックしたときの画面です。



① 【メールの作成】	新しいメールを書くときに使います。クリックすると、「メール作成画面」(P.40)が表示されます。
② 【返信】	受信したメールに返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
③ 【全員へ返信】	受信したメールを全員に返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
④ 【転送】	受信したメールを誰かに転送するときに使います。転送したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。
⑤ 【削除】	受信したメールを削除するときに使います。削除したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、メールが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。
⑥ 【送受信】	新しいメールが来ているかどうか調べて受信するときや、「送信トレイ」フォルダに保存してあるメールを送信するときに使います。クリックするとインターネットへ接続し、送信と受信を行います。

## ■フォルダの種類について

「Outlook Express」ウィンドウの左側（フォルダエリア）には、メールを種類ごとに分けるためのフォルダが用意されています。



## ■メール作成画面について

メールを書くときに表示される画面です。



① 【送信】	作成したメールを送信するときに使います。
② 「表示」メニュー→「すべてのヘッダー」の順にクリック	メールの宛先に「BCC」を追加したいときなどに使います。「CC」や「BCC」については、「CC」「BCC」について(☞ P.41)をご覧ください。
③ 【ヘルプ】	「Outlook Express」の詳しい使い方を知りたいときに使います。
④ 【添付】	メールに画像などのファイルを添付するときに使います。



## E メールお役立ち情報

E メールを利用するときに、次のような機能があります。

### ■大切な情報をバックアップしたい

「バックアップで大切なデータを守る」(☞ P.95) をご覧ください。

### ■「CC」「BCC」について

同じ内容のメールを複数の人に一度に送りたいときは、「CC」「BCC」という方法があります。

- ・ CC (カーボンコピー)

「そのメールに直接関係はないけれど、メールの内容を知っておいてほしい」という人宛てに、写しとしてメールを送る場合に使います。

CC で送ると、メールを受け取った人は、他にそのメールを CC で受け取った人全員のアドレスがわかれてしまいます。親しい仲間内なら問題ありませんが、自分のメールアドレスを他人に公開されたくない人もいますので、CC を使ってメールを送るときは注意しましょう。

- ・ BCC (ブラインドカーボンコピー)

CC と同じく、メールの写しを送る場合に使います。BCC で送ると、他に誰が BCC でメールを受け取ったのかはわかりません。

### ■HTML形式とテキスト形式について

メールの形式には、「HTML形式」と「テキスト形式」があります。

「HTML形式」とは、文字のサイズや色を装飾したり、画像の貼り付けたりなどが可能なメールの形式です。

「テキスト形式」は、テキスト（文字）だけで構成されたメール形式です。

受け取ると楽しい「HTML形式」のメールですが、送るときには注意が必要です。

相手側のメールソフトが「HTML形式」に対応していない場合、文字化けなどを起こしてしまい、メールを読むことができません。

相手の環境がわからない場合は、どのような環境でも読むことができる「テキスト形式」にして送りましょう。

「Outlook 2003」「Outlook Express」では、「HTML形式」と「テキスト形式」を選択することができます。E メールを送るときは、相手の環境を考慮して、この2つを上手に使い分けましょう。

詳しくは、「Outlook 2003」「Outlook Express」のヘルプをご覧ください。

### ■プレビュー機能について

「Outlook 2003」「Outlook Express」には、E メールを開いていなくても内容を表示する「プレビュー機能」があります。

便利な機能なのですが、ウイルスが添付された E メールを受信した場合、添付ファイルを開かなくても「プレビュー機能」によりウイルスに感染してしまう危険性があります。

ウイルスの感染経路の多くは E メールが原因です。特にプレビュー機能が狙われやすくなっています。メールのプレビューをしない設定にしておくことを強くお勧めします。

詳しくは、「Outlook 2003」「Outlook Express」のヘルプをご覧ください。

### 参照

▼E メールの使い方について詳しくは

『画面で見るマニュアル』

→ 「3. インターネット／E メール」→ 「E メールの使い方」

# 「覚えておきたいメールのお約束

メールを利用するうえで、覚えておきたい事柄、気をつけなければならないマナーがいくつかあります。メールを書くときには、次のことに気をつけましょう。

## 使ってはいけない文字

### ■半角カタカナ文字

インターネットでは、半角カタカナ文字は使うことができません。文字化け（入力した文字とまったく関係ない文字が表示される）してしまいます。

### ■特殊な文字や記号

①（丸付き数字）やⅥ（ローマ数字）などの特殊な文字は、相手が受け取ると文字化けして読めないことがあります。

## 良いメールの書き方

### ■差出人の署名を付ける

郵便の差出人署名と同じように、誰が送ったのかわかるよう、署名を付けておきましょう。

### ■わかりやすいタイトル（件名）を付ける

メールの内容がイメージできるよう、わかりやすい件名を付けましょう。

### ■改行を入れて読みやすくする

ダラダラと長い文章は読みにくいもの。適当なところで改行を入れておくと読みやすくなります。全角文字で35文字を目安にするといいでしょう。

### ■大きなファイルは送らない

メールを使えば、ワープロソフトで作った書類やデジタルカメラで撮った写真などのファイルもいっしょに送れます。しかし、一般的の電話回線（アナログ）などを使ってサイズが大きいファイルを送ると、送受信に時間がかかり、メールを受け取る人にも迷惑がかかってしまいます。

目安としてファイルのサイズが1MBを超えるときは、メールを送る相手に事前に連絡して了解をとつておくとよいでしょう。

### ■海外へのメールに日本語は使わない

英語しか使えない海外のパソコンでは、日本語（全角文字）は表示できません。

アルファベットも、全角文字だと日本語と同じ扱いになります。相手が日本語を使えるパソコンかどうか気をつけましょう。



## 6

## FMV を最新の状態にする

パソコンは常に最新の状態に整えて、快適に使いましょう。

ここでは、マニュアルやドライバなどを最新の状態にする「アップデートナビ」を紹介します。

「アップデートナビ」は、インターネットを利用するサポート機能です。ご利用になるには、インターネットに接続できる環境が必要です。

インターネットに接続するための設定や方法については、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

 **重要**
**初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください**

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじやくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。  
初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

 **参照**

▼セキュリティ対策については

□『スタートガイド2 セットアップ編』

→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策をする」

## アップデートナビ

このパソコンには、パソコンを弊社推奨の状態に整えるための「アップデートナビ」というサポート機能が用意されています。

「アップデートナビ」は、インターネットを経由して、弊社が推奨する最新情報を確認し、お使いのパソコンが安定して動作するお勧めの状態にすることができます。画面に表示されるメッセージに従って操作すると、簡単にアップデート（更新）できます。

 **POINT**
**ブロードバンド環境でのご利用を推奨します**

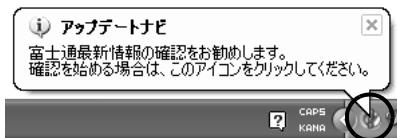
インターネットを利用して自動で定期的に更新情報を確認するので、ブロードバンドの環境でお使いになることを強く推奨します。

推奨環境以外でご利用になるとソフトウェアの規模によっては、最新の状態へ更新する作業に多くの時間を必要とする場合があります。

## 「アップデートナビ」を実行する

### 1 画面右下の通知領域にあるアイコンの状態により、実行方法は異なります。

- 画面右下の通知領域に が表示されているとき  
 を右クリックし、「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。
- 画面右下の通知領域に が表示されていないとき
  1. 「@メニュー」を起動します。
  2. 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。
  3. 「アップデートナビ」をクリックします。
- 画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたとき  
 をクリックします。

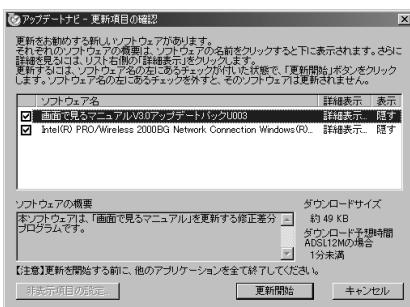


#### POINT

##### 「ご利用になる上でのご注意」の画面が表示されたら

初めてアップデートナビを実行したときのみ表示されます。  
内容をよくご覧になり、「承諾する」をクリックします。  
「承諾しない」をクリックした場合、「アップデートナビ」はご利用いただけません。

「更新項目の確認」ウィンドウが表示されます。

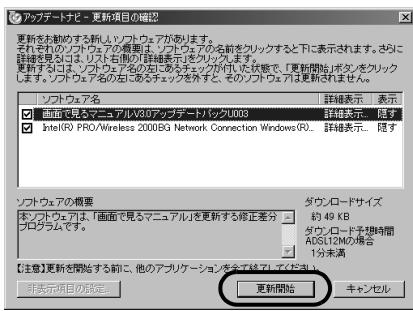


### 2 更新項目を確認します。必要に応じて、概要、詳細をご覗ください。

更新たくない項目がある場合は、その項目の左にある  をクリックして、 にします。  
通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。



### 3 「更新開始」をクリックします。



更新情報が自動的にダウンロードされ、インストールされます。

### 4 再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

表示されない場合は、これで更新は完了です。



Windows が再起動し、更新が完了します。

Memo

# 2

## 第2章 FMVのおすすめ活用法

ここでは、FMVに添付されている多彩なソフトウェアを使って、FMVをさらに活用する方法を紹介します。

1 FMV 活用提案 .....	48
2 「@メニュー」で FMV がさらに便利に .....	52
3 「MyMedia」で映像や音楽を楽しもう .....	54
4 リモコンでインターネットを楽しもう .....	57

### (★)について

この章の（★）が付いた参照先は、BIBLO LOOX P シリーズにはありません。

# FMV 活用提案

ここでは、FMVをさらに楽しむための活用法を提案します。  
お使いの機種や添付のソフトウェアによりできることが異なります。

## 多彩なソフトウェアで楽しもう

やりたいことはあるのに、どのソフトウェアを使えばよいのかわからない。そんなときは、「@メニュー」を使えば目的から簡単にソフトウェアが探せます。



### 参照

「@メニュー」でFMVがさらに便利に」(⇒ P.52)

## 手軽に映像や音楽を楽しもう

このパソコンに集めた映像や写真や音楽のデータは、「MyMedia」で手軽に楽しみましょう。  
大きくて見やすい、家電感覚のわかりやすいメニュー画面で簡単に操作できます。



### 参照

「MyMedia」で映像や音楽を楽しもう」(⇒ P.54)

## デジタルカメラの写真を取り込もう

デジタルカメラで撮った写真は、FMVに取り込みましょう。このパソコンとデジタルカメラを専用ケーブルでつなげたり、このパソコンのダイレクトメモリースロットにメモリーカードをセットすれば、簡単に写真を取り込めます。

取り込んだ写真を自動で切り替えて表示させるスライドショーも楽しめます。



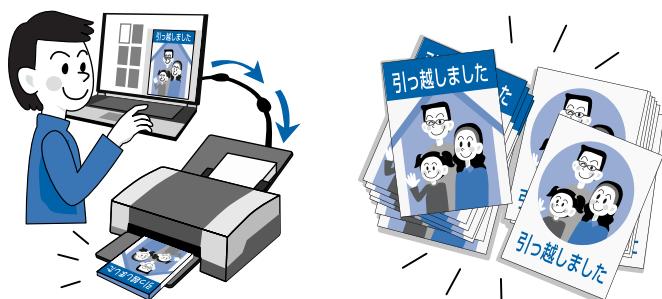
### 参照

 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.FMV使いこなし事例集」→「デジタル写真を使っていろいろ楽しむ」→「デジタルカメラの画像を取り込む」

 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.FMV使いこなし事例集」→「デジタル写真を使っていろいろ楽しむ」→「写真をスライドショーにする」(★)

## 写真入りはがきを作ろう

デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込み、このパソコンに添付のはがき編集ソフトを使って、オリジナルの写真入りはがきが作れます。



### POINT

取り込んだ写真是「@映像館」で補正できます [BIBLO LOOX Pシリーズを除く]

「@映像館」には、手ぶれや逆光の映像を自動的に補正する「あざやか補正」機能があるので、撮り損なった写真や動画を補正できます。美しく修正した写真ではがきを作りましょう。

画像の種類やファイルの形式によっては、画像補正機能が利用できない場合があります。

### 参照

 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.FMV使いこなし事例集」→「はがきを作る」→「写真入り年賀状を作る」(★)

# テレビを見る

## [TV チューナー搭載機種のみ]

テレビ機能のある FMV なら、好きなテレビ番組を快適に録画できます。



テレビについては、お使いの機種や添付のソフトウェアにより操作方法やできることが異なります。

### ☞ 参照

ワンセグチューナーを除く TV チューナー搭載機種

- ・ ☐『FMV で見る・録る・残すガイド』
- ・ ☺(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「テレビ」→「テレビを見る・録る・残す」

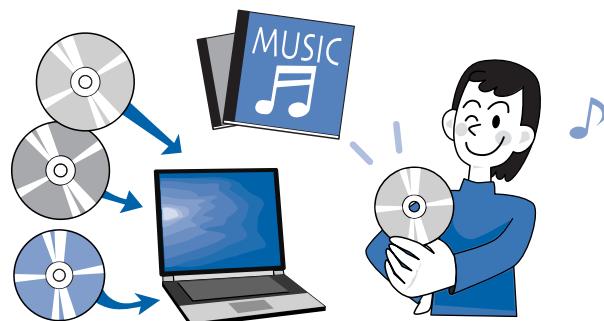
ワンセグチューナー搭載機種

- ・ ☐『FMV 取扱ガイド』
- ・ ☺(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「ワンセグ」

# オリジナルの音楽 CD を作ろう

お手持ちの音楽 CD から好きな曲を選んでパソコンに取り込み、市販の CD-R に記録すれば、音楽 CD プレーヤーで再生できるオリジナルの音楽 CD を作ることができます。

オリジナルの CD ケースラベルも、パソコンでデザインできます。



### ☞ 参照

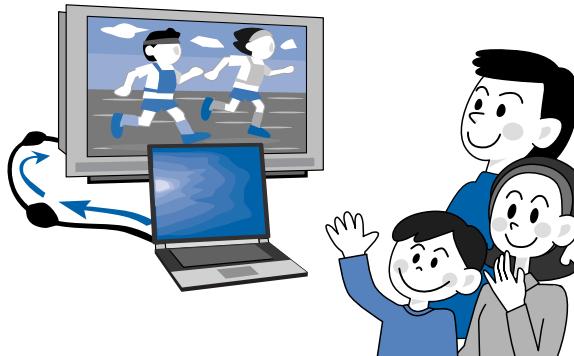
☺(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.FMV使いこなし事例集」→「CD/DVDで楽しむ」→「オリジナルの音楽CDを作る」(★)



## テレビにパソコンを接続しよう

### [BIBLO NX、NB、NF、MG シリーズのみ]

このパソコンに集めた映像や写真を、お手持ちのテレビに接続して表示することができます。テレビに接続して、DVD-VIDEOを見る事もできます。



#### 参照

テレビにパソコンを接続する方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6.周辺機器の接続」→「テレビにパソコンを接続する」をご覧ください。

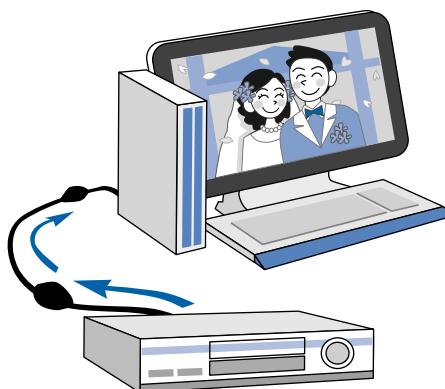
テレビにパソコンを接続して DVD-VIDEOを見る方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.FMV使いこなし事例集」→「CD/DVDで楽しむ」→「テレビに接続して DVD-VIDEOを見る」をご覧ください。

## アナログビデオを DVD に保存しよう

### [ワンセグチューナーを除く TV チューナー搭載機種]

### [スーパーマルチドライブ、HD DVD-ROM ドライブ搭載機種]

アナログのビデオテープの映像をパソコンに取り込んで、その映像をDVDに保存することができます。



#### 参照

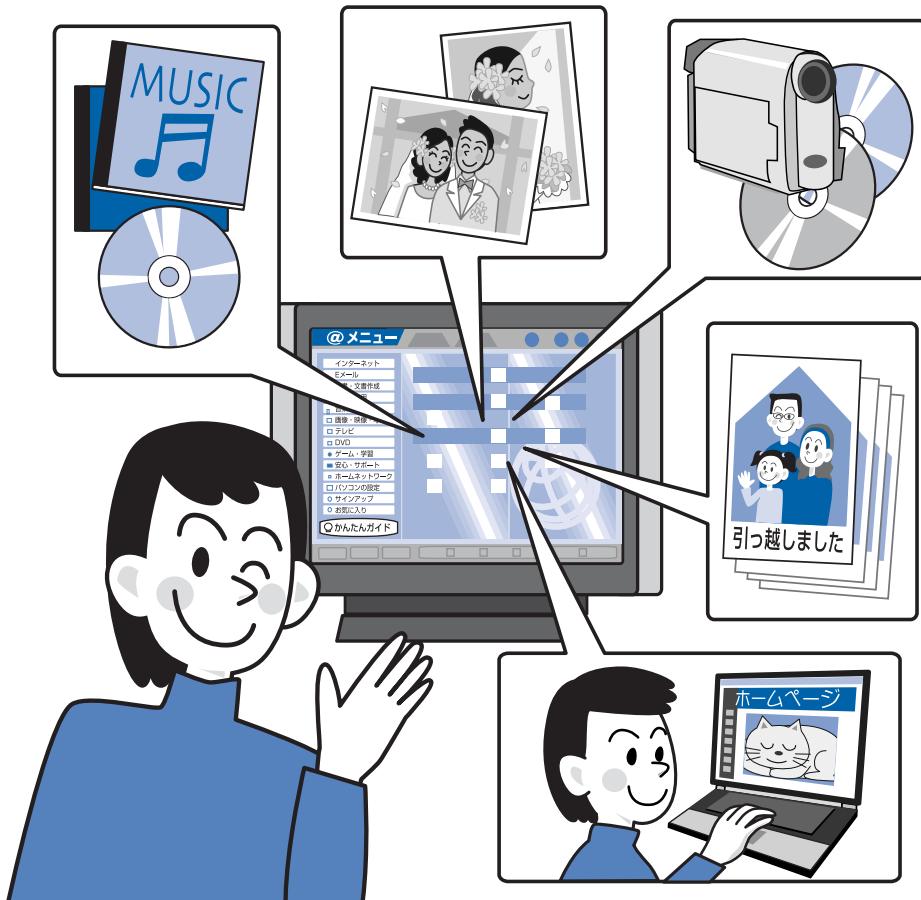
(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「4.FMV使いこなし事例集」→「パソコンでテレビを楽しむ」→「アナログのビデオテープをDVDに保存する」

## 「@メニュー」で FMV がさらに便利に

FMV にはさまざまなソフトウェアが用意されています。  
「@メニュー」を使うと、ソフトウェアを簡単に始められます。

### ソフトウェアは「@メニュー」でスタート

FMV のたくさんのソフトウェアは「@メニュー」から簡単にスタートできます。



# 「かんたんガイド」がイラストと音声でご案内

お勧めの使い方をわかりやすく説明します。

「かんたんガイド」が順を追って何をすればよいかをご案内します。



## 「@メニュー」の使い方についてはこちらをご覧ください

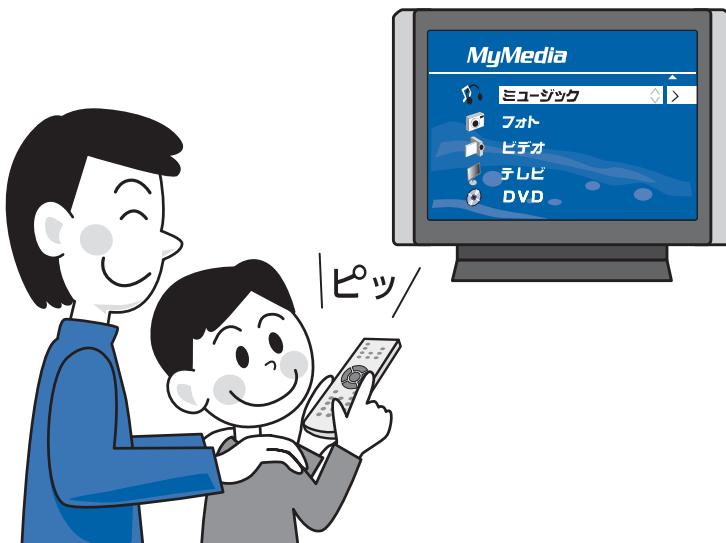
「「@メニュー」でやってみたいことからソフトウェアを探す」(☞ P.16)

## 「MyMedia」で映像や音楽を楽しもう

「MyMedia」は、家中で手軽に映像や音楽を楽しめるソフトウェアです。パソコンに保存した、録画したテレビ番組、デジタルカメラの写真、音楽データなどを、家中みんなで楽しめます。

### 「MyMedia」なら簡単です

シンプルでわかりやすいメニュー画面なので、操作が簡単。家族全員で楽しめます。リモコンが添付されている機種の方は、リモコンを使えば、家電製品を使う感覚で操作できます。リモコンが添付されていない機種の方でも、マウスやキーボードで簡単に操作できます。

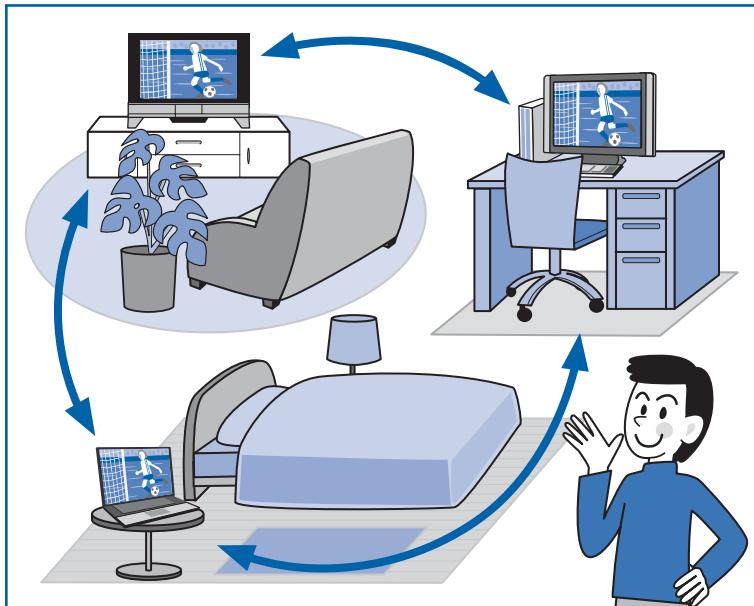


### 操作は見たいコンテンツを選ぶだけ

メニュー画面から見たい聞きたいコンテンツを選ぶだけの簡単操作。リモコンがあれば家電のように操作できます。もちろんキーボード、マウスでも簡単に操作できます。

## ネットワークでさらに楽しみが広がります

ネットワークにも対応しているので、家のパソコンのデータを再生できます。



### POINT

#### 家中で楽しむための設定の流れ

- Step 1 ネットワークに接続する
- Step 2 他のパソコンに「MyMedia」をインストールする  
他のパソコンにも「MyMedia」と「MyMedia Server Tool」をインストールすれば、データをお互いに楽しむことができます。
- Step 3 「MyMedia サーバー」を設定する  
公開したいデータを設定し、どのパソコンに閲覧を許可するかを設定します。
- Step 4 他のパソコンのデータを楽しむ

## 3種類のメニュー画面から好きなイメージを選べます

リビングではベーシックな「スタンダード」、寝室では落ち着いた「モノトーン」など、シーンに合わせてメニュー画面を使い分けできます。



スタンダード



スケッチブック



モノトーン

## 「MyMedia」の使い方についてはこちらをご覧ください

### ■「MyMedia」の使い方

#### 参照



#### 『画面で見るマニュアル』

→「4.FMV使いこなし事例集」→「CD/DVDで楽しむ」→「映像や音楽を再生する」

### ■各種設定方法

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「MyMedia」→「MyMedia マニュアル」

### ■ネットワークに接続する方法

#### 参照



#### 『画面で見るマニュアル』

→「5.パソコン本体の取り扱い」→「LAN」→「LANを使う」

接続する機器によっては認証にパソコンの MAC アドレスを使用する場合があります。このパソコンの MAC アドレスは、「MyMedia」のトップメニューで「設定」を選択すると表示されます。



# リモコンでインターネットを楽しもう

## 【リモコン添付の機種のみ】

FMVならリモコンを使ってインターネットを楽しめます。

## 起動方法

### 1 Windowsが起動している状態で、リモコンの「MyMedia」を押します。

これ以降の手順は、リモコンを使って操作してください。

### 2 「↓」を押して「インターネット」を選択し、「決定」を押します。



メニューが表示されます。

お気に入り・・・よく利用するホームページを登録しておけば、すぐにホームページが表示できます。アドレスを入力する手間が省けます。



#### 検索

・・・知りたい情報のキーワードを入力して検索します。

#### URL入力

・・・アドレスを入力して、ホームページを表示します。

#### 設定

・・・Internet Explorerの「インターネットオプション」を表示し、設定の変更をします。

終了・・・「MyMedia」に戻ります。

## POINT

### 操作方法についてはヘルプをご覧ください

ヘルプの表示方法

1. ホームページが表示されているときに、マウスまたはフラットポイントを操作すると、画面  
上部にメニューバーが表示されます。
2. メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックすると、ヘルプが表示されます。  
これ以降は、リモコンを操作してヘルプを見るることができます。

## ホームページの見かた

### 1 「お気に入り」が選択されている状態で、「決定」を押します。



「お気に入り」に登録されている一覧が表示されます。

### 2 「←」「→」「↑」「↓」を押し、見たいホームページを選択して、「決定」を押します。



最初はこの位置が選択されています。  
「←」「→」「↑」「↓」を押して、見たいホー  
ムページを選択し、「決定」を押します。  
「お気に入り」が10個以上登録されている  
ときは、「▲」「▼」を押してページを切り  
替えます。

ホームページが表示されます。



### 3 「←」「→」「↑」「↓」を押して、ホームページを見ることができます。



「リンク移動モード」と「ポインタ移動モード」を切り替えます。  
 「リンク移動モード」では、「←」「→」「↑」「↓」を押すとリンクのある箇所に移動します。  
 「ポインタ移動モード」では、「←」「→」「↑」「↓」を押すとカーソルが移動します。

### 4 ホームページを見ているときに「メニュー」を押します。

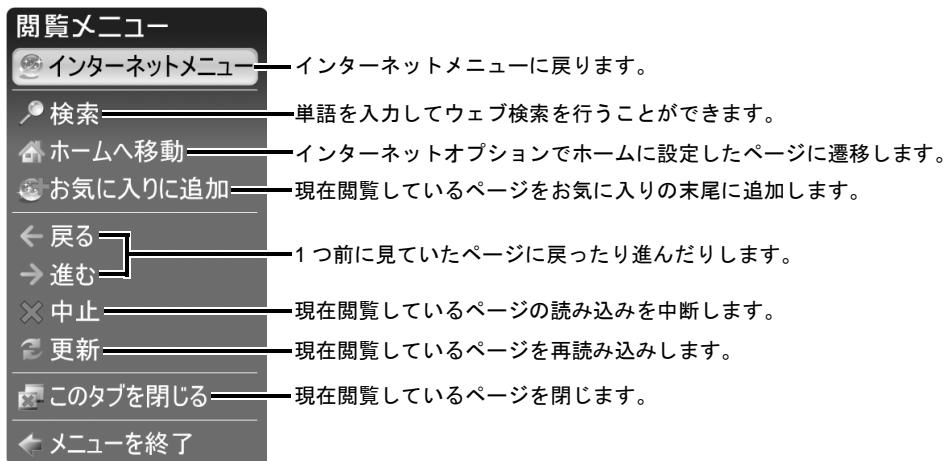
「閲覧メニュー」が表示されます。



## 閲覧メニュー

「閲覧メニュー」を使って、インターネットを閲覧するための操作をします。

- メニューの内容



# 3

## 第3章 パソコンの画面で見るマニュアルを 活用する

マニュアルには本で読むマニュアル以外にも、パソコンの画面で見るマニュアルが各種あります。

ここでは、パソコンの画面で見るマニュアルの見かたを紹介します。

1 パソコンの画面で見るマニュアルとは .....	62
2 「サービスアシスタント」で調べる .....	63
3 PDF形式のマニュアルの見かた .....	72
4 ホームページで調べる .....	74
5 ヘルプで調べる .....	77

# パソコンの画面で見るマニュアルとは

パソコンの画面で見るマニュアルには次のものがあります。

## ■サービスアシスタント

このパソコンのハードディスクに搭載されている FMV のマニュアルです。  
「サービスアシスタント」で調べる」( ▶ P.63)

## ■PDF 形式のマニュアル

ファイルの形式が PDF のマニュアルです。  
「Adobe Reader」などのソフトウェアを使って見ることができます。  
ソフトウェアの取扱説明書として添付されていることがあります。  
「PDF 形式のマニュアルの見た」( ▶ P.72)

## ■ヘルプ

ソフトウェアの使い方などが書かれています。  
ほとんどのソフトウェアは、そのソフトウェアの画面から「ヘルプ」を呼び出すことができます。  
「ヘルプで調べる」( ▶ P.77)



パソコンを使っていて、わからないことがあったら、「サービスアシスタント」を使って調べることができます。

ここでは、「サービスアシスタント」の使い方を紹介します。

## 「サービスアシスタント」とは？

「サービスアシスタント」とは、マニュアルや各種サポートツールが1つになった統合サポートツールです。わからないことを調べたいとき、パソコンの調子が悪いときは、「サービスアシスタント」をお使いください。

## 「サービスアシスタント」の起動方法

「サービスアシスタント」はインターネットの設定がお済みでない場合でもご利用いただけます。

### 1 「サービスアシスタント」を起動します。起動方法は機種により異なります。

- DESKPOWERの場合  
キーボードのサポートボタンを押す。
- BIBLO NX、NB、MGシリーズの場合  
ApplicationモードでワンタッチボタンのAを押す。
- BIBLO NF、LOOX Pシリーズの場合  
画面にある **マニュアル&サポート** をクリックする。
- 全機種共通  
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリックする。



#### 初めて起動するときは時間がかかります

サービスアシスタントは初めて起動するときに自動で準備を行うため、起動するまでにしばらく（約5分間）時間がかかります。サービスアシスタントの画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

#### 機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。

「サービスアシスタント」が表示されます。

# 「サービスアシスタント」の画面



## ①画面で見るマニュアル

FMV の基本操作からトラブルシューティングまで、FMV に関する様々な情報を紹介しています。使い方については、「[画面で見るマニュアル] の使い方」(☞ P.65) をご覧ください。

## ②パソコン入門

パソコンの基本操作や文字の入力のしかたなどを説明しています。

## ③セキュリティ入門

パソコンやインターネットを安全で快適に使うために知っていただきたい、ウイルスやセキュリティの基礎について説明しています。

## ④用語集

パソコンの用語を説明しています。

## ⑤インターネットのサポート情報

インターネットに接続して、最新の Q&A 事例や各種サポート情報をご覧いただけます。

## ⑥ハードウェアの診断

故障かな? と思ったときに、故障を診断するプログラムを使った診断を行うことができます。

## ⑦富士通のサポートご紹介

FMV に関するサポート & サービスをご紹介しています。

## ⑧ソフトウェアのお問い合わせ先一覧

ソフトウェアの操作方法などに関するお問い合わせ先の電話番号、ホームページアドレスなどを確認できます。

## ⑨パソコンの情報

保証開始日やパソコン本体の型名を確認できます。サポートご利用時などにご活用ください。



# 「画面で見るマニュアル」の使い方

## 1 サービスアシスタントのトップ画面で「画面で見るマニュアル」をクリックします。



「画面で見るマニュアル」が表示されます。

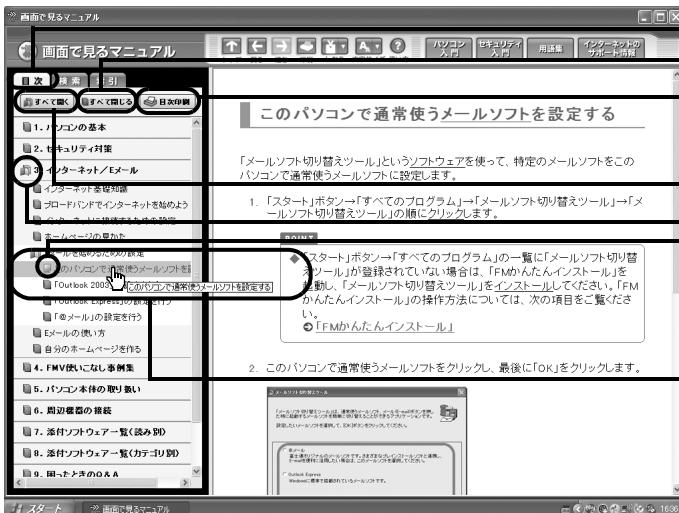
**目次** *「目次の使い方」  
( P.66)*

**検索** *「検索の使い方」  
( P.66)*

**索引** *「索引の使い方」  
( P.67)*

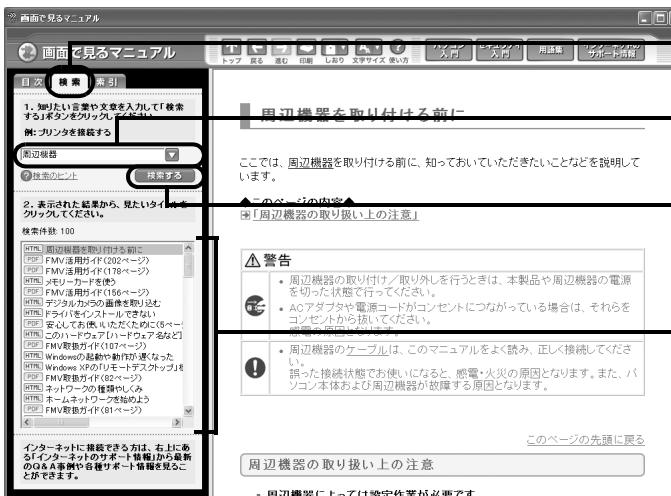
**ナビゲーション領域** *「ナビゲーション領域と基本操作」( P.67)*

## 目次の使い方



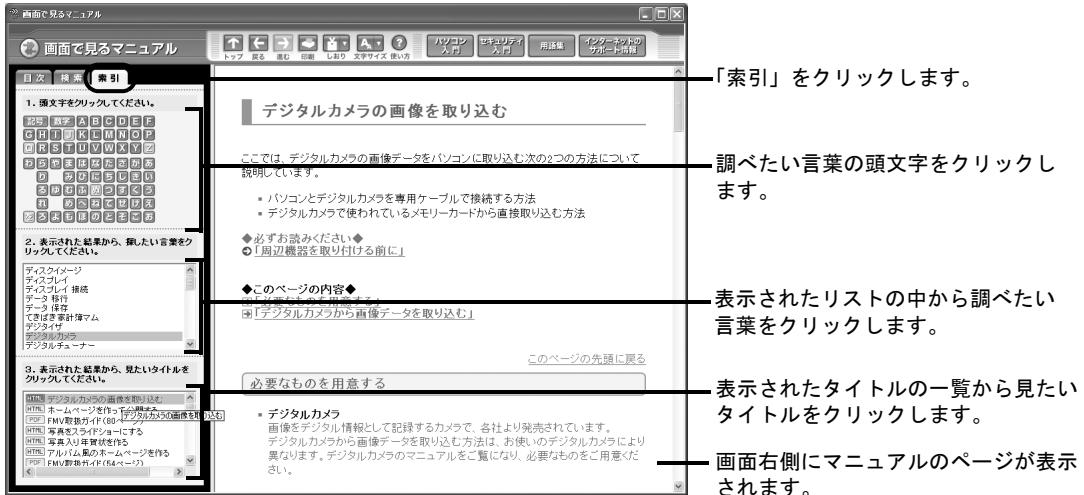
- 「目次」をクリックします。
- 目次をすべて閉じます。
- 目次をすべて表示した状態で一覧にして印刷できます。A4換算で約20ページです。
- 目次をすべて表示します。
- クリックすると、その下の階層の目次が表示されます。
- クリックすると、画面右側にマニュアルのページが表示されます。
- タイトルの上にマウスポインタをのせるとタイトル全体が表示されます。

## 検索の使い方

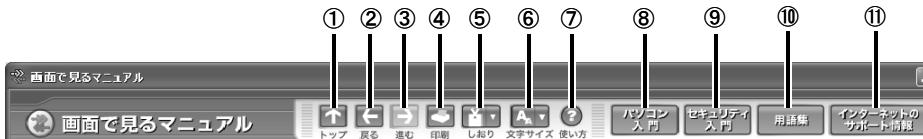


- 「検索」をクリックします。
- 検索したい言葉や文章を入力します。
- 検索したい言葉や文章を入力したら、「検索する」をクリックします。
- 検索結果が表示されます。知りたいタイトルをクリックすると、画面右側にマニュアルのページが表示されます。

## 索引の使い方



## ナビゲーション領域と基本操作



### ①トップ

サービスアシスタントのトップ画面（起動直後の画面）に戻ります。

### ②戻る

1つ前に表示したページに戻ります。

### ③進む

「戻る」で前のページに戻ったとき、1つ後のページに進みます。

### ④印刷

表示されているページを印刷します。

### ⑤しおり

表示されているページを後でもう1度見たいときは、「しおり」に登録しておくと便利です。

### ⑥文字サイズ

表示する文字のサイズを変更します。最大、大、中、小、最小の中から、文字サイズを選びます。

### ⑦使い方

「画面で見るマニュアル」の使い方を表示します。

### ⑧パソコン入門

「パソコン入門」を表示します。

### ⑨セキュリティ入門

「セキュリティ入門」を表示します。

### ⑩用語集

「用語集」を表示します。

### ⑪インターネットのサポート情報

知りたい情報が「画面で見るマニュアル」で見つからなかったときに、インターネットで最新のQ&A事例を検索したり、各種サポート情報を見ることができます。

# 「画面で見るマニュアル」で調べる

ここでは例として、マニュアルを表示しながらパソコンを操作する方法や、ソフトウェアのヘルプを起動して使い方を調べる方法を説明します。

## ■(例) 「画面で見るマニュアル」で手順を見ながら「アルバム風のホームページを作る」の操作をする [BIBLO LOOX P シリーズを除く]

「画面で見るマニュアル」を表示し、読みながら、実際に操作を進めることができます。ウィンドウは、複数表示したまま操作できます。

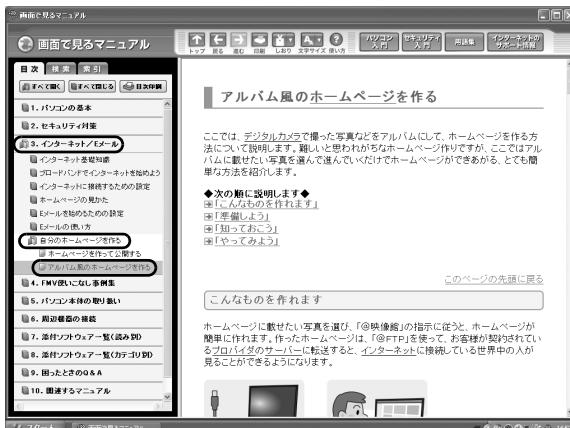
### 1 「サービスアシスタント」を起動します。

「サービスアシスタント」の起動方法（☞ P.63）

### 2 「画面で見るマニュアル」をクリックします。



### 3 「3. インターネット／Eメール」→「自分のホームページを作る」→「アルバム風のホームページを作る」の順にクリックします。



手順を説明したマニュアルのページが表示されます。



## 4 「@FTP」の設定の手順に従って「@メニュー」を表示します。



## 5 マニュアルのページが表示できるように大きさや位置を変更します。

例を紹介しますので、お好みの方法で操作してください。

### ■画面の位置を変更する

ここでは、画面の位置を変更してマニュアルを表示します。

「@メニュー」の上部をポイントしてドラッグします。

「@メニュー」の下部は隠れていても操作できますので、マニュアルのページと重ならないように、できるだけ右下までドラッグします。

「画面で見るマニュアル」の上部をポイントして、左上にドラッグします。



### ■見たい画面を前面に表示する

ここでは画面の大きさや位置は変更しないで、見たい画面を前面に表示して操作します。タスクバーのボタンをクリックすると、うしろの画面を前面に表示できます。



マニュアルのページを見たいときにクリックすると、マニュアルのページが前面に表示されます。

## 6 マニュアルを見ながら、操作を続けます。



### ■(例) 「FM かんたんバックアップ」のヘルプを起動して使い方を調べる

パソコンにはさまざまなソフトウェアが入っています。ほとんどのソフトウェアには「ヘルプ」と呼ばれる取扱説明書があり、そのソフトウェアに関する情報や、詳しい使い方などが紹介されています。「画面で見るマニュアル」では、ソフトウェアのヘルプの起動方法を調べることができます。

## 1 「サービスアシスタント」を起動します。

「サービスアシスタント」の起動方法」 (◆▶ P.63)



## 2 「画面で見るマニュアル」をクリックします。

「画面で見るマニュアル」が表示されます。



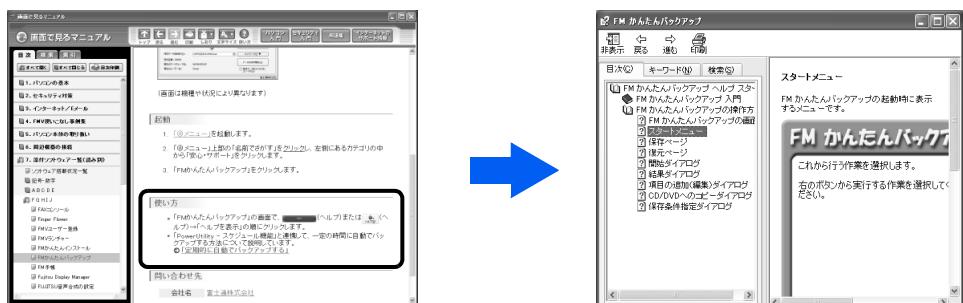
## 3 「添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「FGHIJ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。

画面右側にソフトウェアに関する詳しい説明が表示されます。



## 4 「使い方」に記載されている方法で、「FM かんたんバックアップ」のヘルプを起動します。

「FM かんたんバックアップ」のヘルプには、データの保存や保存したデータを復元する操作手順などが詳しく説明されています。



手順 3 の画面を下にスクロールすると、「使い方」があります。

# 3

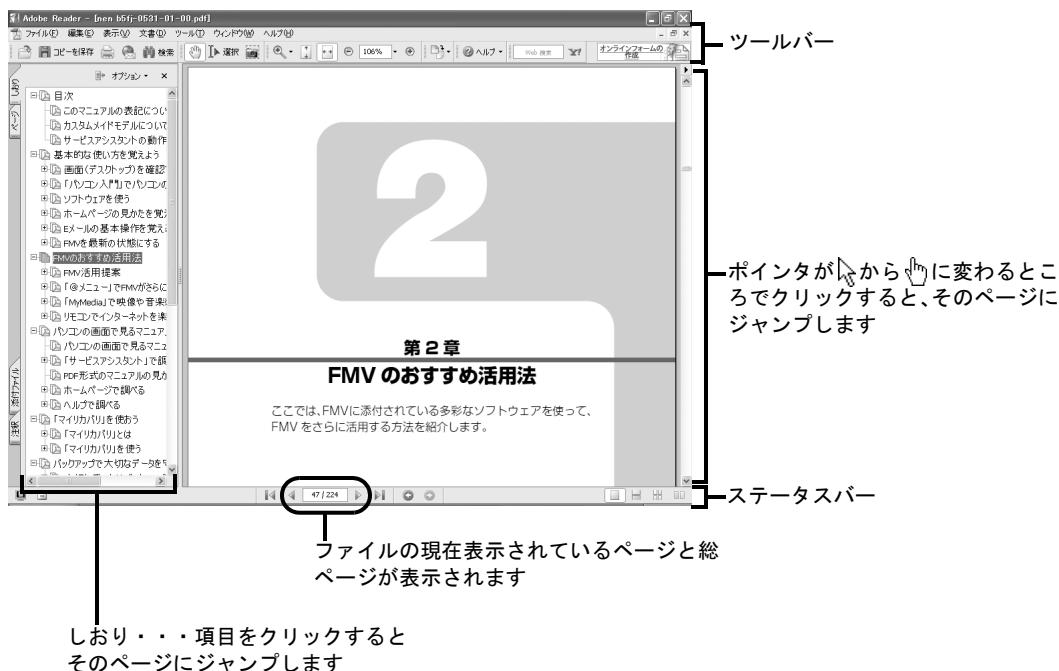
パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

## PDF形式のマニュアルの見かた

ソフトウェアのマニュアルなどには、「PDF」というファイル形式で作成されているものがあります。

PDFファイルを見るには「Adobe Reader」というソフトウェアを使います。

FMVには「Adobe Reader」が用意されているので、PDFファイルのマニュアルを見ることができます。



### ツールバーおよびステータスバーのボタンについて

	ページ全体を画面に表示する
	ページの幅を画面に合わせて表示する
	ページのズームアウト（縮小表示）をする
	ページのズームイン（拡大表示）をする
	最初のページに戻る
	前のページに戻る
	次のページに進む

	最後のページに進む
	直前に表示したページに戻る
	ボタンで前のページに戻っているときに、再び次のページに進む
	文書の 1 ページ分を表示する
	ページを縦に続けて表示する
	文書の 2 ページ分を横に並べ、縦に続けて表示する
	2 ページ分を横に並べて、一度に 2 ページ分を表示する

PDF ファイルについて詳しくは、「Adobe Reader」のヘルプをご覧ください。

# 4 ホームページで調べる

お客様がお持ちのパソコンに関するサポート情報、お客様からのお問い合わせ情報を掲載したQ&A事例検索のほか、FMVを楽しむための一歩進んだ使い方、お得なキャンペーン情報やイベント情報など、便利で役に立つ情報を用意しています。

会員専用ページをご利用になるには、ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号とパスワードが必要です。

ユーザー登録については、□『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

## 重要

### 初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゅくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。

初めてインターネットに接続するときは、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

## 参照

▼セキュリティ対策については

□『スタートガイド2 セットアップ編』

→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策をする」

# マイページを表示する

パソコンをインターネットに接続する環境が整っていない場合は、ご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧になり、インターネットの設定を済ませてからご利用ください。

## 1 「Internet Explorer」を起動しているときに、AzbyClubツールバーの AzbyClub - をクリックします。



AzbyClubツールバー  
AzbyClubツールバーについて  
は、AzbyClub - の▼をクリッ  
クし、「ツールバーの機能を紹  
介」をクリックしてください。

マイページが表示されます。



## POINT

次の方法でもマイページを表示できます。

### 「サービスアシスタント」から表示する

1. 「サービスアシスタント」を起動します。  
「[サービスアシスタント] の起動方法」( ▶ P.63)
2. 「インターネットのサポート情報」→「マイページ」の順にクリックします。  
インターネットに接続し、マイページが表示されます。

### お気に入りから表示する

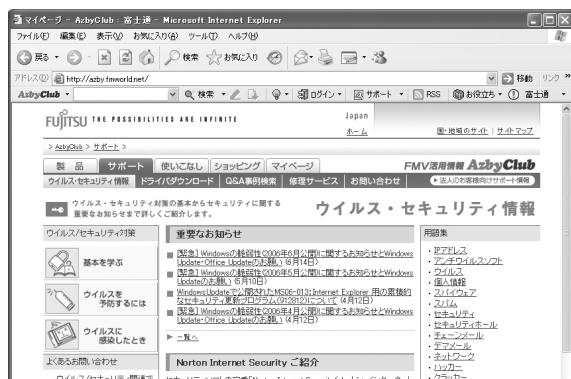
「Internet Explorer」を起動しているときに、「お気に入り」→「富士通お勧めのサイト」→「FMV 活用情報 [AzbyClub]」の順にクリックします。

## FMV 活用情報ページを活用する

パソコンの使いこなし方やサポート情報など、さまざまなコンテンツをご用意しています。  
ここでは、パソコンを使いこなすためにご利用いただける代表的なコンテンツを紹介します。

## サポート

FMV を使って困ったときに役に立つ情報を提供しています。



### ウイルス / セキュリティ情報

最新のウイルスやセキュリティについての情報を掲載しています。コンピュータウイルスの予防方法や感染したときの対処方法を紹介しています。

### Q&A 事例

お客様からのお問い合わせが多い質問とその回答を掲載しています。またその他にも、ご利用上でのトラブルや設定、操作に関するQ&Aを検索することができます。

### マニュアルやホームページで解決できなかつたので問い合わせたい

サポートページでは、電話サポート予約などサポート窓口へのお問い合わせに便利なサービスをご用意しています。

# 使いこなし

FMV を使いこなすためのヒントや活用情報を提供しています。

The screenshot shows the AzbyClub website's main menu with the '使いこなし' (Using) tab selected. Below the menu, there is a large banner for a 'FMV 初心者講座' (FMV Beginner Course). Underneath the banner, there are two sections: '講座紹介' (Course Introduction) and 'お試し講座について' (About the Trial Course). The 'お試し講座について' section contains text and icons explaining how to participate in a trial course.

## FMV 使いこなし

オリジナル DVD の作成やテレビを見る方法など、FMV をもっと便利に楽しく使いこなす方法をわかりやすく説明いたします。

## 基本操作・スキルアップ

メールで学べるパソコン講座「Azby メールセミナー」やタイピング練習コーナーなど、無料のスキルアップ情報をご提供しています。

## 操作指導サービス

富士通マイゼミナールや富士通オープンカレッジなど、仲間と一緒に楽しく学べる各種パソコン教室を会員価格でご案内いたします。

# 優待販売・キャンペーン

FMV をより使いやすくする、さまざまな商品をご紹介しています。

The screenshot shows the AzbyClub website's main menu with the '優待販売' (Discount Sales) tab selected. Below the menu, there is a large banner for 'FMVのおすすめ商品' (Recommended FMV Products). Underneath the banner, there are several sections: 'ショッピングマーケット' (Shopping Market), 'FMV 初心者講座' (FMV Beginner Course), 'パソコン関連商品' (Computer-related products), '周辺機器' (Peripherals), 'ソフトウェア' (Software), and 'PCアクセサリーサービス' (PC Accessory Services). Each section contains small images and descriptions of the products or services offered.

## 周辺機器

FMV を使いこなすために役立つ「メールセミナー講座」が入った USB フラッシュメモリなど、便利な商品をご紹介しています。

## ソフトウェア

ウイルスやスパイウェアで悩まされないように、対策ソフトを会員価格でご提供しています。

すぐにソフトウェアが必要な方には、ダウンロード販売が便利です。

## 富士通純正品

昔作ったデータを読み取るのに便利な、USB フロッピーディスクユニットを期間限定の特別価格にて、ご提供しています。

その他にも、会員限定のプレゼントキャンペーンやさまざまなイベント情報も提供しています。ぜひご活用ください。



## 5

## ヘルプで調べる

## ソフトウェアの使い方を知りたいとき

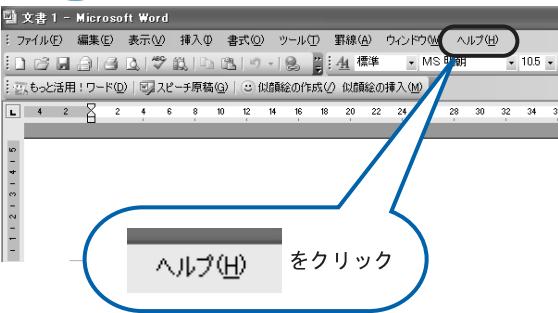
ほとんどのソフトウェアには、そのソフトウェアの情報を集めた「ヘルプ」があります。「ヘルプ」では、使い方や専門用語など、そのソフトウェアに関する詳しい情報を見ることができます。ほとんどのソフトウェアは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックして「ヘルプ」を表示できます。

3

Step 1

使いたいソフトウェアを起動します。  
「ソフトウェアを使う」(☞ P.16)

Step 2



ソフトウェアによって、「ヘルプ」がない場合や表示方法が異なる場合があります。

パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

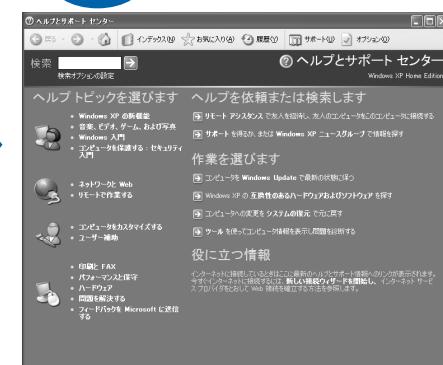
## Windowsに関することうきを調べたいとき

Windowsの「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsの詳しい使い方や、Windowsを使っていて困ったときの解決方法、調べたい用語などの情報を見ることができます。

Step 1

「スタート」ボタン→「ヘルプとサポート」  
の順にクリックします。

Step 2



「ヘルプとサポートセンター」が起動します。

Memo

# 4

## 第4章 「マイリカバリ」を使おう

「マイリカバリ」は、インターネットや E メールなどの各種設定が終了した後に、自分の好きなタイミングで、ハードディスクのディスクイメージを作成しておくことができるソフトウェアです。

「マイリカバリ」を使うと、パソコンをご購入時の状態に戻す代わりに、あらかじめ自分で保存しておいた時点の状態に戻すリカバリをすることができます。

ここでは、「マイリカバリ」の使い方について説明します。

1 「マイリカバリ」とは .....	80
2 「マイリカバリ」を使う .....	83

# 「マイリカバリ」とは

「マイリカバリ」を使ったリカバリについて、簡単に説明します。

- ① ○月○日 利用開始



- ② ○月△日 いろいろな設定をする

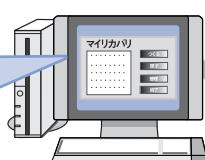


メールを設定した

インターネットに接続する設定をした

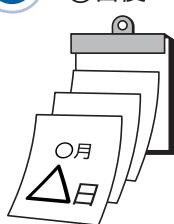
自分で用意したソフトウェアをインストールした

- ③ 「マイリカバリ」でディスクイメージを作成



○月△日のいろいろな設定した状態をそのまま保存してディスクイメージを作成しておきます

- ④ ○日後…



- ⑤ トラブル発生!



でも

- ⑥ いざというときに備えてディスクイメージを作っておいたので…



大丈夫！

- ⑦ 「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ってリカバリをする

○月△日に行なったいろいろな設定をした時点の状態に戻すことができます



さあ、実際に「マイリカバリ」でディスクイメージを作成してみましょう

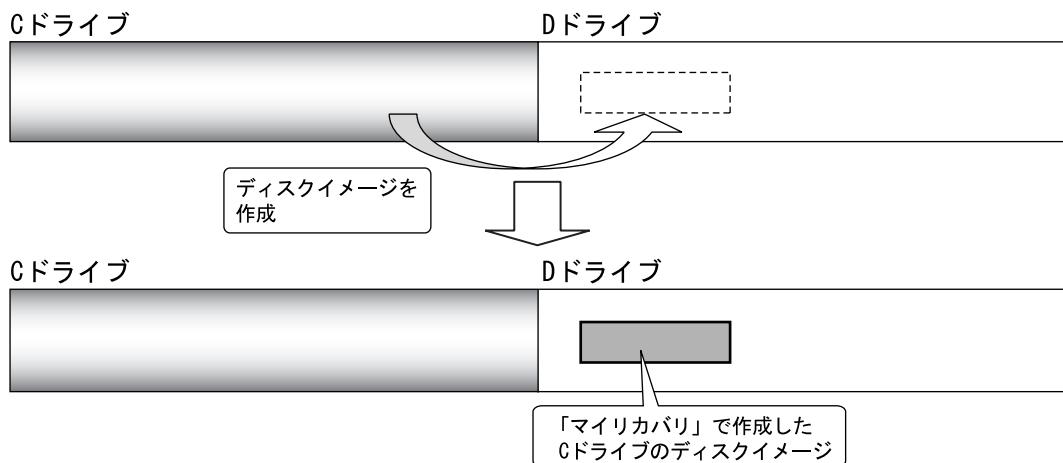
# 「マイリカバリ」でできること

「マイリカバリ」は、ハードディスク（C ドライブのみ）をまるごとディスクイメージとして保存しておき、必要なときにディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻すことのできるソフトウェアです。「マイリカバリ」を使ったリカバリを行うにはどのような作業が必要か、簡単に説明します。

## ディスクイメージを作成する

ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報のコピーが保存されているファイルです。

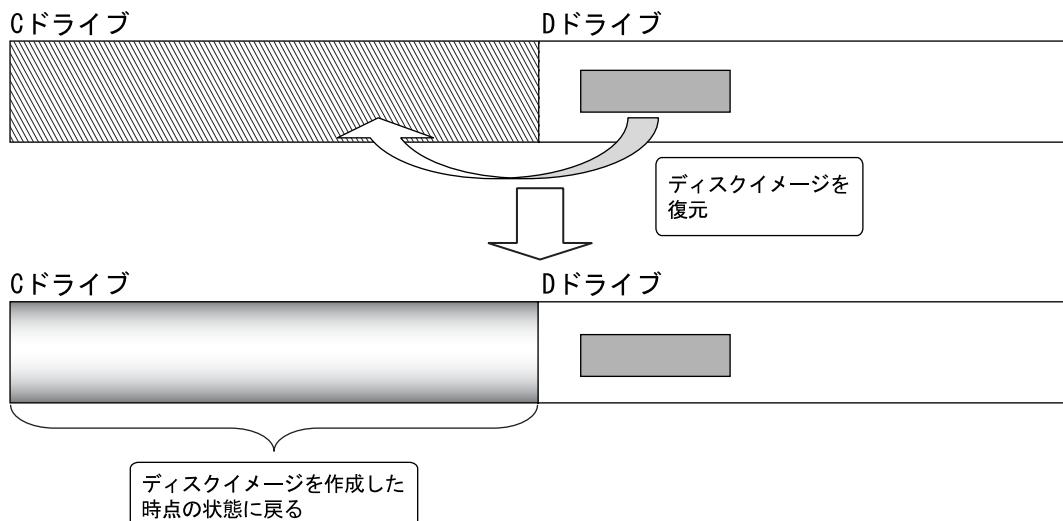
「マイリカバリ」では、C ドライブのデータをまるごとディスクイメージとして D ドライブに保存します。C ドライブをまるごと D ドライブにバックアップしておくようなものと考えればよいでしょう。



## ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを復元して、C ドライブを前の状態に戻すことを、「マイリカバリ」を使ったリカバリをとも言います。

ディスクイメージを使ったリカバリを行うと、C ドライブが、ディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻ります。



## お勧めの使い方

万が一、何らかの不具合が生じてパソコンの調子がおかしくなったときに、パソコンの調子が良かったときの状態をそのまま保存したディスクイメージが作ってあれば安心です。ディスクイメージが作ってあれば、「マイリカバリ」を使って、簡単な操作でパソコンを調子の良かったときの状態に戻すことができます。

ただし、パソコンを購入後セットアップを完了したときの状態では、ディスクイメージは D ドライブにはまだ作成されていません。

セットアップやセキュリティ対策などの設定をひとつおり終えた後は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作って保存しておくことをお勧めします。C ドライブのバックアップとして、定期的にディスクイメージを作成しておくのもお勧めです。また、DVD にディスクイメージを保存しておけば、パソコンに不具合があった場合でも安心です。



## 「マイリカバリ」を使う

2

## 「マイリカバリ」を使う

「マイリカバリ」では、ディスクイメージを作成したり、復元したりできます。ここでは、「マイリカバリ」の使い方について説明します。

## ディスクイメージを作成する

いざというときに備えて、C ドライブのディスクイメージを作成しておくと安心です。  
ここでは、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法を説明します。

## ※重要

パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください

ディスクイメージを作成すると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。パソコンに不具合が起こっているときはディスクイメージを作成しないでください。

外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体の USB コネクタ、または IEEE1394 (DV) 端子に、外付けハードディスクを接続している場合は、ディスクイメージを作成する前に、必ず取り外してください。  
外付けハードディスクが接続されていると、ディスクイメージが作成できません。

⑩「リカバリ&ユーティリティディスク」が必要になる場合があります

「マイリカバリ」を使う途中の手順で、⑩「リカバリ&ユーティリティディスク」が必要になることがあります。

⑪「リカバリ&ユーティリティディスク」以外で領域を設定した場合

⑪「リカバリ&ユーティリティディスク」を使用せずにハードディスクの領域設定を行った場合、「マイリカバリ」はお使いになれません。

BIBLO LOOX P シリーズをお使いの方

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニットをご用意ください。

P70TN でスーパーマルチドライブを選択した方は、スーパーマルチドライブユニットをご用意ください。

1

デスクトップの  (マイリカバリ) をクリックします。

「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

 POINT「マイリカバリ」は「@メニュー」からも起動することができます

「マイリカバリ」は「@メニュー」からも起動することができます。

1. 「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックします。
2. 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。
3.  (マイリカバリ) をクリックします。

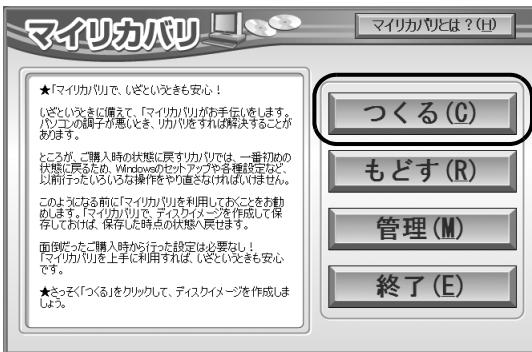
「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

2

## 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

### 3 「つくる」をクリックします。



#### POINT

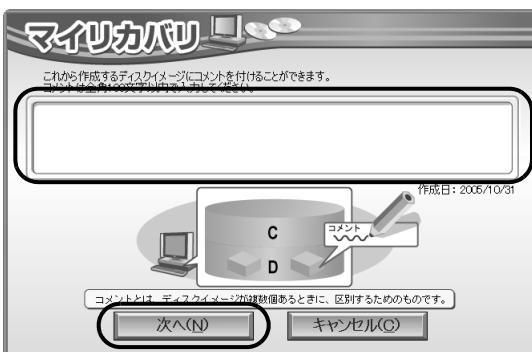
##### D ドライブの空き容量が不足しているというメッセージが表示された

「マイリカバリ」で作成されるディスクイメージは D ドライブに保存されるため、D ドライブの空き容量が足りない場合に表示されます。

次の方法で D ドライブの空き容量を増やしてください。

- ・「マイリカバリ」の「管理」で不要なディスクイメージを削除する
- ・D ドライブにある不要なファイルを削除する

### 4 作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。



### 5 「OK」をクリックします。

しばらくすると、パソコンが再起動し、使用許諾が表示されます。

#### POINT

##### ◎「リカバリ&ユーティリティディスク」をセットするよう要求してきた場合

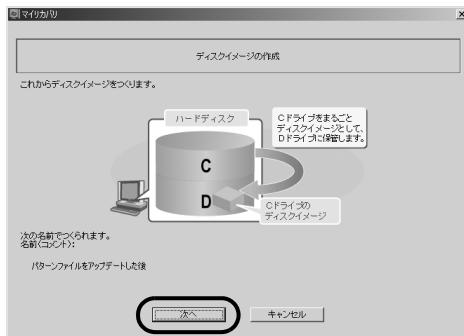
お使いの状況により ◎「リカバリ&ユーティリティディスク」が必要になります。

◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を用意し、次の操作を行ってください。

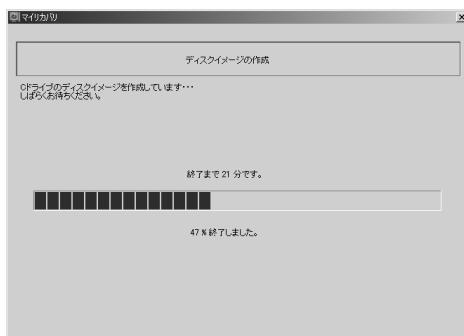
1. ◎「リカバリ&ユーティリティディスク」をセットして、しばらく待った後に表示される画面で「OK」をクリックします。  
パソコンが再起動します。
2. FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに **[F2]** を押します。
3. **[↓]** を押して「CD/DVD」や「CD-ROM ドライブ」を選択し、**[Enter]** を押します。  
使用許諾が表示されます。使用許諾が表示されず、Windows が起動してしまった場合は、パソコンを再起動し、Point 内手順 2 からの操作を行ってください。



- 6 使用許諾の内容に同意していただいた場合は、「同意します」をクリックします。**
- 7 「次へ」をクリックします。**



- 8 「実行」をクリックします。**
- 9 ディスクイメージを作成し始めます。しばらくお待ちください。**



しばらくすると、「ディスクイメージを作成しました。」と表示されます。

- 10 「完了」をクリックします。**

Windows が再起動します。手順 5 の後に ⑧「リカバリ&ユーティリティディスク」をセットした方は、再起動後にディスクを取り出してください。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージが D ドライブに保存されました。

### POINT

#### 作成したディスクイメージは、DVD に保存できます

DVDにディスクイメージを保存しておけば、パソコンにもしものことがあった場合でも安心です。ディスクイメージをDVDに保存しておくことをお勧めします。「マイリカバリ」で作成したディスクイメージをDVDに保存する方法については、「ディスクイメージをDVDにコピーする」(⇒ P.89) をご覧ください。

# ディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」であらかじめ作成しておいたディスクイメージを、復元する方法を説明します。

## 重要

### ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したファイルは失われます

ディスクイメージを復元すると、C ドライブが、ディスクイメージを作成した時点の状態に戻ります。よって、ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したファイルは、すべて失われます。ディスクイメージを作成した後に保存したデータは、D ドライブや CD/DVD などの別の媒体にバックアップをしてください。

バックアップ方法については、「バックアップで大切なデータを守る」(▶ P.95) をご覧ください。

### 外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体の USB コネクタ、または IEEE1394 (DV) 端子に、外付けハードディスクなどを接続している場合は、ディスクイメージを復元する前に、必ず取り外してください。

外付けハードディスクが接続されていると、ディスクイメージが復元されません。

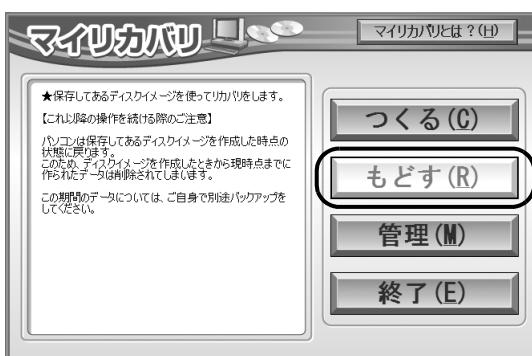
## 1 デスクトップの (マイリカバリ) をクリックします。

「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

## 2 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

## 3 「もどす」をクリックします。



## 4 「OK」をクリックします。



パソコンが再起動し、使用許諾が表示されます。

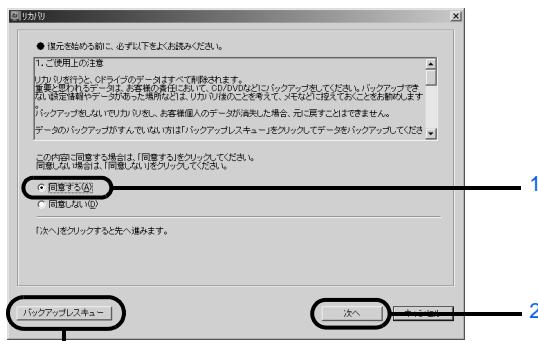
### POINT

#### Windows を起動せずに、ディスクイメージを復元することもできます

1. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに **[F2]** を押します。  
しばらくすると、起動メニューが表示されます。
3. **[↓]** を押して、「<マイリカバリ>」を選択し、**[Enter]** を押します。  
使用許諾が表示されます。
4. 手順 5 (⇒ P.87) に進みます。

## 5 内容に同意された場合は、「同意します」をクリックします。

## 6 画面に表示された使用条件に同意していただいた場合は、**1 「同意する」**をクリックして**①**にし、**2 「次へ」**をクリックします。

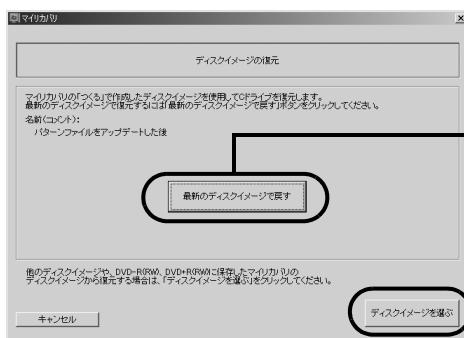


ディスクイメージを作成したときから現時点までに作成したデータは、「かんたんバックアップレスキュ」でバックアップしてください。  
ここをクリックすると「かんたんバックアップレスキュ」が起動します。  
「かんたんバックアップレスキュ」の使い方については、「Windows が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュ）」(⇒ P.163) をご覧ください。

7

## 「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを選択します。

ここで選んだディスクイメージを使ってリカバリを実行します。



- 最新のディスクイメージでリカバリをする場合  
「最新のディスクイメージで戻す」をクリックし、手順 8 へ進みます。

- 他のディスクイメージを選びたい場合  
DVD±R/RWに保存したディスクイメージを利用したい場合  
「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。

### POINT

#### 「ディスクイメージを選ぶ」をクリックすると表示される画面について

使いたいディスクイメージをクリックして にし、「決定」をクリックしてください。



- D ドライブに保存されたディスクイメージを復元する場合は、「ハードディスクからディスクイメージを選ぶ」をクリックして にし、復元するディスクイメージをクリックして選択します。

- DVD ± R/RW に保存されたディスクイメージを復元する場合は、「DVD ± R(RW)に保存したディスクイメージを選ぶ」をクリックして選択して にします。

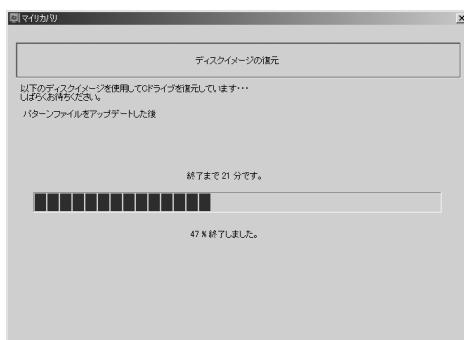
8

## 「次へ」をクリックします。



## 9 「実行」をクリックします。

ディスクイメージを使ったリカバリが始まります。



## 10 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「復元が完了しました。」と表示されます。

## 11 「OK」をクリックします。

Windows が再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ったリカバリが完了しました。

## ディスクイメージを DVD にコピーする

D ドライブに保存されているディスクイメージを、DVD ± R/RW にコピーする方法を説明します。なお、必要な DVD ± R/RW の枚数は、お使いのモデルや状況によって異なります。手順 4 (⇒ P.90) の画面に表示される枚数を確認し、必要な枚数の DVD ± R/RW をご用意ください。

### POINT

#### CD-RW/DVD-ROM ドライブをお使いの方

CD-RW/DVD-ROM ドライブが搭載されている機種をお使いの方は、DVD ± R/RW への書き込みはできません。

#### お使いになれるディスク

「マイリカバリ」でディスクイメージを書き込めるディスクは、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R です。

CD-R、CD-RW、DVD-R DL、DVD+R DL、DVD-RAM はお使いになれません。

#### DVD ± R/RW への書き込みには「Easy Media Creator」が必要です

ディスクイメージを DVD ± R/RW に書き込むには、「Easy Media Creator」というソフトウェアが必要です。「Easy Media Creator」は、このパソコンに用意されています。

#### ディスクイメージを書き込んだ DVD ± R/RW ではパソコンは起動できません

ディスクイメージを書き込んだ DVD ± R/RW では、パソコンは起動できません。

「マイリカバリ」でリカバリをする手順の途中で、ディスクをセットするところでのみ、お使いになれます。

## 1 デスクトップの<sup>①</sup>(マイリカバリ) をクリックします。

「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

### POINT

「マイリカバリ」は「@メニュー」からも起動することができます

「マイリカバリ」は「@メニュー」からも起動することができます。

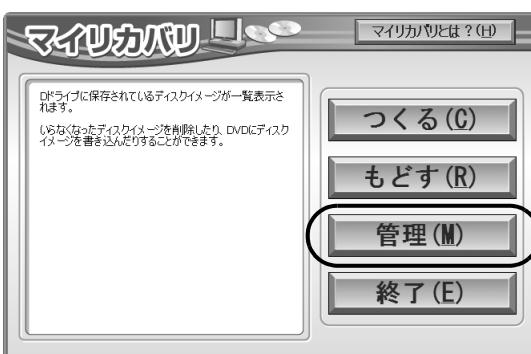
1. 「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックします。
2. 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。
3. <sup>①</sup>(マイリカバリ) をクリックします。

「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

## 2 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

## 3 「管理」をクリックします。



(これ以降の画面はお使いの機種により異なります)

## 4 1 「ドライブ選択」が「D ドライブ」になっていることを確認し、2 「ディスクイメージの一覧」から DVD にコピーするディスクイメージをクリックして選択します。3 「DVD 作成」をクリックします。

「ドライブ選択」に表示されているドライブに保存されているディスクイメージが、「ディスクイメージ一覧」に表示されています。



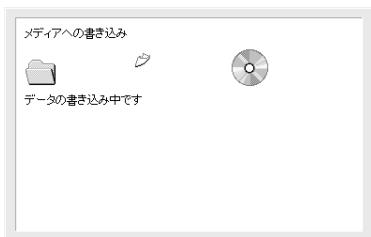
「ディスクイメージ 1 枚目を DVD にコピーします。 . . . 」というメッセージが表示されます。



**5 ディスクイメージを書き込みたいディスクを、パソコンにセットします。**

**6 「はい」をクリックします。**

ディスクの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。



書き込みが完了すると、「メディアへの書き込みが終了しました」というメッセージが表示され、CD/DVD ドライブが自動的に開きます。

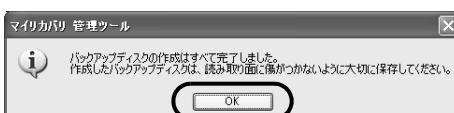
**7 「OK」をクリックします。**

**8 ディスクを取り出し、ディスクイメージ名と何枚目のディスクかわかるようにディスクのラベル面に記入します。**

ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷がつくおそれがあります。

**9 手順 5 ~ 8 を繰り返します。**

**10 「バックアップディスクの作成はすべて完了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。**



**11 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。**

**12 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。**

# ディスクイメージを他のドライブにコピーする

D ドライブに保存されているディスクイメージを、C ドライブ以外の他のドライブにコピーできます。ディスクイメージをバックアップとして保存しておきたいときなどにお勧めします。

なお、他のドライブにコピーしたディスクイメージを復元するには、いったん D ドライブにコピーしてから復元します。

**1 「ディスクイメージをDVDにコピーする」の手順1~3 (⇒ P.90) を行います。**

**2 1 「ドライブ選択」が「D ドライブ」になっていることを確認し、2 「ディスクイメージの一覧」からコピーするディスクイメージをクリックして選択します。3 「コピー」をクリックします。**

「ドライブ選択」に表示されているドライブに保存されているディスクイメージが、「ディスクイメージ一覧」に表示されています。



コピー先のドライブの一覧が表示されます。

**3 コピー先のドライブをクリックし、「OK」をクリックします。**



確認のメッセージが表示されます。

**4 「OK」をクリックします。**

ディスクイメージのコピーが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。  
書き込みが完了すると、「ディスクイメージのコピーが終了しました」というメッセージが表示されます。

**5 「OK」をクリックします。**

**6 「マイカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。**



## 7 「マイリカバリ」 ウィンドウで、「終了」をクリックします。

### POINT

#### 他のドライブにコピーしたディスクイメージを復元するには

他のドライブにコピーしたディスクイメージを復元するには、いったんD ドライブにコピーしてから、復元する必要があります。

他のドライブからD ドライブにコピーするには、次の操作を行います。

1. 「ディスクイメージを DVD にコピーする」の手順 1～3 (⇒ P.90) を行います。
2. 「ドライブ選択」で、コピー元のドライブを選択します。  
コピー元のドライブに保存されているディスクイメージが表示されます。
3. 「ディスクイメージの一覧」から、コピーするディスクイメージをクリックし、「コピー」をクリックします。  
コピー先のドライブが表示されます。
4. D ドライブをクリックし、「OK」をクリックします。
5. 確認のメッセージで「OK」をクリックします。  
ディスクイメージのコピーが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。
6. 完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
7. 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。
8. 外付けハードディスクなどをパソコン本体から取り外します。
9. 「ディスクイメージを復元する」の手順 3～11 を (⇒ P.86) 行います。

# ディスクイメージを削除する

不要になったディスクイメージを削除する方法を説明します。

- 1 「ディスクイメージを DVD にコピーする」の手順 1 ~ 3(⇒ P.90)を行います。
- 2 1 「ドライブ選択」で、削除したいディスクイメージがあるドライブをクリックして選択し、2 「ディスクイメージの一覧」から削除するディスクイメージをクリックして選択します。3 「削除」をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

- 3 「はい」をクリックします。  
ディスクイメージが削除されます。
- 4 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。
- 5 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。



# 5

## 第5章 バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備を保存しておくことを「バックアップ」と呼びます。

ここでは、バックアップ方法について説明します。

1 大切なデータはバックアップしましょう .....	96
2 まとめて簡単にバックアップする .....	99
3 ファイルを選んでバックアップする .....	107
4 ソフトウェアのバックアップ機能を使う .....	109

# 大切なデータはバックアップしましょう

万一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなつてパソコンをご購入時の状態に戻さなければならなくなつた場合や、大切なデータを誤って紛失してしまつた場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。

## POINT

### 「バックアップをはじめよう！」でバックアップの大切さを学ぶ

このパソコンでは、バックアップについて楽しく学べる「バックアップをはじめよう！」を用意しています。

「バックアップをはじめよう！」は、次の手順でご覧いただけます。

1. 「@メニュー」を起動します。  
「@メニュー」の起動方法については、「@メニュー」でやってみたいことからソフトウェアを探す」(▶ P.16) をご覧ください。
2. 「@メニュー」上部の「目的でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。
3. 「バックアップについて学ぶ」をクリックします。
4. 「このソフトを使う」をクリックします。  
「バックアップをはじめよう！」が始まります。

## 定期的にバックアップしておきたいデータ

パソコンには次のようないろいろなデータが保存できます。

- デジタルカメラの写真
- 文章、イラスト、映像
- 知人とのメール
- アドレス帳に登録したメールアドレス
- 「Internet Explorer」のお気に入り（ホームページのアドレス集）

しかし、次のような状態になると、多くの場合、保存したデータは、もう元に戻すことはできません。

- ファイルが壊れた
- 誤って消去した
- ハードディスクが壊れた
- Windows が起動しなくなった
- ご購入時の状態に戻した

いつこのような状態になるかはわかりません。こうなつたときに被害を最小限にとどめるためにも、大切なデータは日頃から定期的にバックアップする習慣をつけましょう。



## パソコンをご購入時の状態に戻すときは

パソコンをご購入時の状態に戻すと、ご購入後作成したファイル、追加したソフトウェアなどがすべて消えてしまいます。保存しておきたいファイルは必ずお客様自身でバックアップしてください。バックアップせずにパソコンをご購入時の状態に戻して、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。

### ■不具合が起きてからバックアップするときは

パソコンに不具合が起きてからご購入時の状態に戻す場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップしないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。この場合は、「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしてください。「バックアップレスキュー」とは、リカバリを実行するときに、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットすると表示されるメニューから行うバックアップ方法です。

### ■ウイルスに感染したときは

ウイルスによっては、作成したファイルや Windows の設定が変更されてしまう場合があります。セキュリティ対策ソフトを使い、ウイルスを駆除してから、バックアップしてください。

### ■メモなどに控えておきたいもの

データでバックアップできない次の内容などはメモしておくとよいでしょう。

- ・ネットワーク環境
- ・メールの設定
- ・ファイルの保存場所

バックアップしたファイルはパソコンをご購入時の状態に戻した後、同じ保存場所に戻すようにします。そのために元のファイルの保存場所を、メモなどして忘れないようにしてください。

# バックアップ方法

バックアップをするには、次の方法があります。

## ■「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する

「マイリカバリ」は、インターネットやEメールなどの各種設定が終了した後に、自分の好きなタイミングで、ハードディスクのディスクイメージを作成しておくことができるソフトウェアです。リカバリが必要になったときに、パソコンをディスクイメージを作成した時点の状態に戻すことができるのと、インターネットやEメールなどの各種設定を再度する必要はなく、とても便利です。「マイリカバリ」でディスクイメージを作成しておけば、万一パソコンの調子が悪くなったときでも安心です。「マイリカバリ」の使い方については、「マイリカバリ」を使おう（P.79）をご覧ください。

## ■まとめて簡単にバックアップする（P.99）

## ■ファイルを選んでバックアップする（P.107）

## ■ソフトウェアのバックアップ機能を使う（P.109）

## ■リカバリやバックアップの操作代行サービス（有償）をご用意しています

富士通パソコン出張サービス「PC家庭教師」をご利用ください。

### 参照

#### ▼「PC家庭教師」について

#### □『サポート&サービスのご案内』

- 「操作指導サービス」
- 「富士通パソコン出張サービス「PC家庭教師」（有料）[富士通パーソナルズ]」

### POINT

#### D ドライブを活用しましょう

パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）ときに、すべてのデータをバックアップするのは大変な作業です。普段から、作成したデータなどはDドライブに保存しておけば、Cドライブのリカバリをするだけで、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。

ただし、パソコンのハードディスクは、1つのハードディスクをCドライブとDドライブに分割しているものがほとんどなので、物理的な故障の場合はCドライブとDドライブの両方が使えなくなってしまいます。ハードディスクの故障に備えて、CD/DVD、外付けハードディスク、MOなどハードディスク以外に定期的にバックアップすることをお勧めします。



「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元がまとめて簡単にできます。

## 「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に

### ■「FM かんたんバックアップ」ではバックアップできないファイルについて

お客様の作成したファイルがすべてバックアップされるわけではありません。「項目」欄に登録されていないソフトウェアで作成したファイルなど「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルは、「ファイルを選んでバックアップする」(⇒ P.107) をご覧になりバックアップしてください。

「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないファイルについては、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

「FM かんたんバックアップ」で保存される内容は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウの「保存」タブの「保存する内容」の一覧表で、よくご確認ください。

### ■テレビ番組を録画したファイルのバックアップについて

テレビ番組を録画したファイルは、データの容量が大きいため、「FM かんたんバックアップ」を使って「D」ドライブにバックアップせず、DVD に保存することをお勧めします。

#### 参照

- ▼録画ファイルのバックアップについて
- 『FMV で見る・録る・残すガイド』  
→「付録」

### ■著作権情報付きの音楽データのバックアップについて

インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードした音楽データなどは、著作権情報が付いたファイルのため、「FM かんたんバックアップ」ではバックアップができません。

著作権情報付きの音楽データのバックアップと復元については、各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧ください。

### ■ソフトウェアのバージョンアップを行った場合

ご購入時の状態から、ソフトウェアのバージョンアップを行うと、ファイルの構造やデータの格納先が変更されることがあります。この場合、「FM かんたんバックアップ」ではバックアップできません。「ファイルを選んでバックアップする」(⇒ P.107) をご覧になり、バックアップしてください。

## ■バックアップするファイルの保存先について

データの保存先は、ご購入時は「D」ドライブに設定されています。

「C」、「D」ドライブ以外にハードディスクドライブやリムーバブルディスクドライブが存在する場合のみ、保存先のドライブを変更してください。

ご購入時の状態に戻す作業の前にバックアップをするときは、保存先を「C」ドライブに設定しないでください。ご購入時の状態に戻す作業を実行すると、「C」ドライブに保存されたデータはすべて削除されてしまいます。

## ■◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を使ってハードディスクの領域を変更する場合

ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスク全体のファイルが削除されてしまいます。バックアップするファイルの保存先は、CD/DVD、外付けハードディスク、MOなど、このパソコンのハードディスク以外にしてください。

## ■ハードディスクの故障に備えてバックアップする場合

ハードディスクが故障したときに備えてバックアップする場合は、CD/DVD、外付けハードディスク、MOなど、このパソコンのハードディスク以外にバックアップしてください。

「FM かんたんバックアップ」を使うと、ハードディスクにバックアップしたファイルを CD/DVD に簡単にコピーすることができるので便利です。操作方法については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップする」(☞ P.101) をご覧ください。

## ■複数のユーザーでパソコンをお使いの方へ

コントロールパネルの「ユーザー アカウント」で新しくユーザーを作成した場合、それぞれのユーザー名でログオンして作成したデータをバックアップできます。ただし、「制限ユーザー」がログオンして作成したデータは、バックアップできません。

データを復元するときは、バックアップしたときと同じユーザー名で行ってください。バックアップしたときと違うユーザー名では正常に復元できません。

## ■日本語または英語以外のファイル名をお使いの場合

日本語または英語以外のファイル名をお使いの場合、「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないことがあります。ファイル名は、日本語または英語に変更してからバックアップしてください。

## ■「FM かんたんバックアップ」を使った復元について

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。



# 「FM かんたんバックアップ」でバックアップする

ワープロの文書や画像ファイルなど、ソフトウェアを使って作成したデータやインターネットの設定を次の手順でバックアップします。

## 重要

### 不具合が起きてからバックアップをとるときは

パソコンに不具合が起きてからリカバリする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをとらないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。

この場合は、「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしてください。「かんたんバックアップレスキュー」とは、リカバリを実行するときに、④「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットすると表示されるメニューから行うバックアップ方法です。

操作方法については、「Windows が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュー）」(▶ P.163) をご覧ください。

## 1 起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。

### 参照

▼スクリーンセーバーの設定方法

『画面で見るマニュアル』» 「920740」で検索

→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

## 2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。

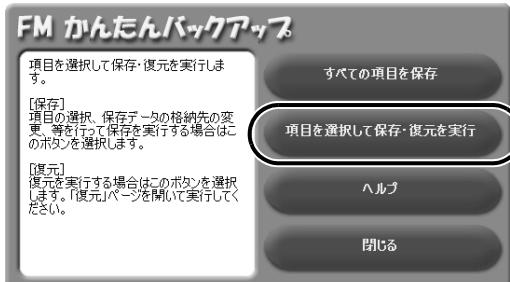
「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。

DESKPOWERをお使いの方は、キーボードのバックアップボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

## 3 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

## 4 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。

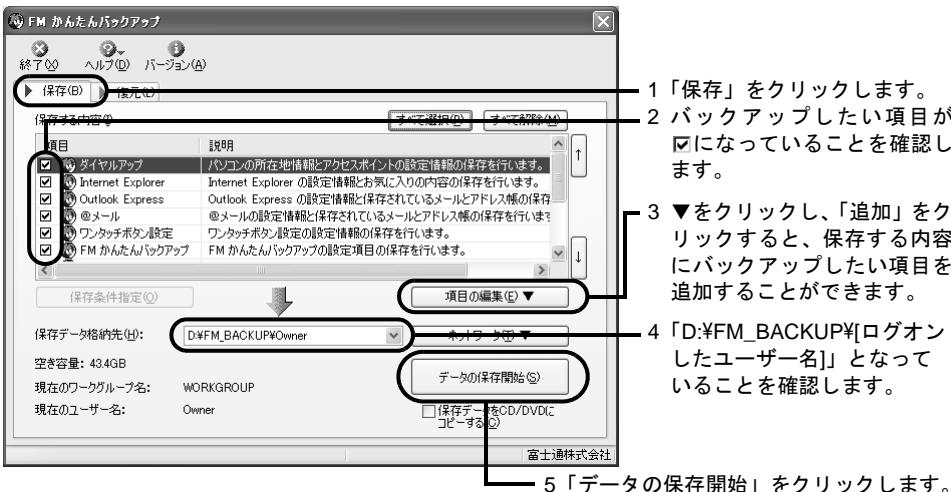
「Internet Explorer」やメールソフトの設定など、すべての項目を一度に保存したい場合は、「すべての項目を保存」をクリックし、手順 6 に進んでください。



## 5

### 1～5の手順に従って操作してください。

ハードディスクにバックアップしたデータを CD/DVD にコピーしたい場合は、「保存データを CD/DVD にコピーする」をクリックして  にしてから「データの保存開始」をクリックしてください。その後は、画面の指示に従って操作してください。



5 「データの保存開始」をクリックします。

#### POINT

##### CD/DVDへのコピーには「Easy Media Creator」が必要です

バックアップしたファイルを CD/DVD にコピーするには、「Easy Media Creator」というソフトウェアが必要です。「Easy Media Creator」は、このパソコンに用意されています。

CD/DVDへのコピーについては、「FM カンタンバックアップ」のヘルプをご覧ください。

## 6

### 「保存開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

#### POINT

##### 「既に保存したデータが存在します」というメッセージが表示された場合

すでにバックアップデータが存在する場合に表示されます。以前のバックアップデータを破棄し、新しくバックアップするときは、「はい」をクリックしてください。

##### 「開始」がクリックできない場合

保存に必要な容量が保存先の空き容量より大きい場合は、「開始」がクリックできません。「キャンセル」をクリックして保存するデータ容量を減らしたり、「FM カンタンバックアップ」を一度終了してから保存先の空き容量を増やしたりして、始めから操作をし直してください。



7

## データの保存が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。



8

## 「保存結果」ウィンドウで、結果を確認します。

結果の右にあるをクリックし、すべての項目の結果を確認してください。

保存に失敗した場合は、もう一度保存に失敗した項目を選択して保存する操作を行ってください。

このとき、保存データ格納先のデータのファイルを開いて、データがバックアップされたことを確認すると、より安心です。

9

## 「保存結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

手順4で「すべての項目を保存」を選択した場合は、「FM かんたんバックアップ」が終了します。次の手順10は必要ありません。

手順4で「項目を選択して保存・復元を実行」を選択した場合は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

10

## 「終了」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」が終了します。

これで、「FM かんたんバックアップ」により、ファイルがバックアップされました。

### POINT

#### 「PowerUtility - スケジュール機能」を使って定期的にバックアップする

このパソコンに添付の「PowerUtility - スケジュール機能」を使えば、指定した時間に自動的に「FM かんたんバックアップ」を実行することができます。

パソコンの電源を切っていても大丈夫なので、パソコンを使っていない夜中にバックアップを行すれば、何も操作することなく定期的なバックアップができる安心です。

なお、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方が「PowerUtility - スケジュール機能」をお使いになるには、使い始める前の準備が必要です。

### 参照

▼「PowerUtility - スケジュール機能」の使い方について

☞『画面で見るマニュアル』»🔍「200470」で検索

→「PowerUtility - スケジュール機能」

# 「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元する

次の手順に従って「FM かんたんバックアップ」および「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしたファイルを元の場所に復元します。

## 重要

### ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合

先にソフトウェアをインストールしてからファイルを復元してください。

### 復元する前の注意（ご購入時の状態に戻す作業の場合を除く）

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。

### 復元する前の注意（ご購入時の状態に戻す作業の場合）

「FM かんたんバックアップ」でバックアップした「Outlook 2003」のファイルを復元する前に、「Outlook 2003」の初期設定が必要です。必ず「Outlook 2003」の初期設定をお済ませになってから、ファイルを復元してください。

## 参照

▼「Outlook 2003」の初期設定について

☞『画面で見るマニュアル』»🔍「406010」で検索

→「アカウントやメールアドレスを設定する（Outlook 2003）」

## 1 起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。

## 参照

▼スクリーンセーバーの設定方法

☞『画面で見るマニュアル』»🔍「920740」で検索

→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

## 2 CD/DVD からデータを復元する場合は、データを保存した CD/DVD を CD/DVD ドライブにセットします。

□ ドライブからデータを復元する場合は、手順 3 に進んでください。

## 3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。

DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

## 4 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

## 5 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。



## 6 「復元」タブをクリックします。

## 7 1～3の手順に従って操作してください。

### POINT

#### 不具合が起きてリカバリを実行した方は

パソコンに不具合が起きてご購入時の状態に戻す（リカバリ）作業、および「マイリカバリ」を使ったリカバリを実行した方は、「復元データの保存先」を「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしたときの「保存データ格納先」と同じものを選択してください。「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときの「保存データ格納先」を選択すると、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。

#### 「FM かんたんバックアップ」と「かんたんバックアップレスキュー」の両方でバックアップをした方は

リカバリを実行するときに、「FM かんたんバックアップ」と「かんたんバックアップレスキュー」の両方でバックアップをした方は、「復元データの保存先」を「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときの「保存データ格納先」と同じものを選択してください。

「かんたんバックアップレスキュー」は、パソコンに不具合が起きたときに行うバックアップ方法のため、「FM かんたんバックアップ」よりも、保存できる項目が少なく設定されています。「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしたときの「保存データ格納先」を選択すると、保存したデータをすべて復元することができません。

#### ■「FM かんたんバックアップ」でバックアップした場合

ご購入時の設定では、「保存データ格納先」は「D:\FM\_BACKUP\[ ログオンしたユーザー名 ]」となっています。「復元データ格納先」が「保存データ格納先」と同じになっていることを確認してください。

CD/DVD からデータを復元する場合は、「復元データ格納先」の  をクリックして、CD/DVD の入ったドライブを選択してください。

2 枚以上の CD/DVD からデータを復元する場合、CD/DVD から直接復元はできません。復元する方法については、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

#### ■「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップした場合

「復元データ格納先」の  をクリックして「D:\PE\_BACKUP\[ ログオンしたユーザー名 ]」を選択してください。



1 バックアップしたときの「保存データ格納先」と同じものを選択します。

2 復元する項目の左が  になっていることを確認します。

3 「データの復元開始」をクリックします。

## 8 「復元開始」 ウィンドウで、「開始」をクリックします。

### POINT

「復元を行うと保存時のデータで上書きされ、保存時の状態に戻ります。復元を続けますか?」というメッセージが表示された場合

保存時の状態に戻すときは、「はい」をクリックします。

## 9 データ復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。



## 10 「復元結果」 ウィンドウで、結果を確認します。

結果の右にあるをクリックし、すべての項目の結果を確認してください。

### POINT

ファイルが復元されなかった場合

次のような原因が考えられます。

- ・「復元データ格納先」が間違って指定されている  
　ドライブ名をバックアップのときと同じドライブに指定し直してください。
- ・ファイルがバックアップされていない  
　バックアップしたときに、ファイルのバックアップに失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

## 11 「復元結果」 ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

### POINT

「データの復元が終了しました」というメッセージが表示された場合

「OK」をクリックしてください。

Windows が再起動します。

この場合、手順 12 は必要ありません。

## 12 「終了」をクリックします。

これで、バックアップしたファイルが元の場所に復元されました。



ハードディスクの C ドライブに保存されているファイルを選んで、ハードディスクの D ドライブ、CD/DVD、フロッピーディスクなどにコピーしてバックアップする方法です。

## バックアップするファイルを選んでコピーする

パソコンはハードディスクにさまざまなデータを保存することができます。

しかし万が一、なんらかの原因でハードディスク自体が破損をしてしまった場合には、せっかくバックアップをしたデータも復元することができなくなってしまいます。

そのような緊急の場合のためには、次のようなハードディスク以外の場所に大切なデータの予備を保存しておくことをお勧めします。

### ■D ドライブにコピーする

### ■CD/DVD にコピーする

CD/DVD にコピーするには、このパソコンに添付の「Easy Media Creator」を使います。

### ■フロッピーディスクにコピーする

フロッピーディスクドライブ搭載の機種をお使いの方は、フロッピーディスクにファイルをコピーすることができます。

#### 参照

##### ▼ ファイルをコピーする方法

『画面で見るマニュアル』» 「920190」で検索

→ 「ファイルやフォルダをコピーする」

##### ▼ 「Easy Media Creator」の使い方

『画面で見るマニュアル』» 「201300」で検索

→ 「Easy Media Creator」

# ファイルが保存されている場所について

ここでは、バックアップしておきたい代表的なデータが保存されている場所を紹介します。

このパソコンのご購入時のファイルが保存されている場所は次のとおりです。

なお、これらのデータは「FM かんたんバックアップ」でもバックアップできます。

- Eメール（Outlook Express）の本文

C:\Documents and Settings\[Owner などのログオンユーザー名]\Local Settings\Application Data\Identities\[ 数字とアルファベットの組み合わせで表示されるフォルダ名]\Microsoft\Outlook Express

「Local Settings」以下のフォルダは隠しフォルダに設定されているため、通常は表示されません。

## 参照

### ▼ 隠しフォルダを表示する方法



→「隠しファイルを表示する」

- ブラウザの「お気に入り」

C:\Documents and Settings\[Owner などのログオンユーザー名]\お気に入り

- マイドキュメント

C:\Documents and Settings\[Owner などのログオンユーザー名]\My Documents

# コピーしてバックアップしたファイルを復元する

バックアップするときに取ったメモを見て、ファイルを元の場所にコピーしてください。このとき違う場所にコピーすると、データが使用できなかったり、別途設定が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

## ※ 重要

### ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合

先にソフトウェアをインストールしてからファイルを復元してください。



ソフトウェアによってはバックアップ機能が備わっているものがあります。

例えば、「Internet Explorer」の「エクスポート」機能を使って「お気に入り」をバックアップしたり、「Outlook Express」のバックアップ機能を使う方法などがあります。

## ソフトウェアのバックアップ機能の紹介

「画面で見るマニュアル」では、次の方法について紹介しています。

- ・「Internet Explorer」の「お気に入り」のバックアップ
- ・メールソフトのバックアップ
- ・はがき作成ソフトのバックアップ

### 参照

▼ソフトウェアのバックアップ機能を使う方法



『画面で見るマニュアル』»「202285」で検索

→「ソフトウェアのバックアップ機能の紹介」

Memo

# 6

## 第6章 トラブルかなと思ったら（Q&A）

ここではパソコンを使っていて、故障かなと思うようなトラブルが発生した場合の対処方法を Q&A 形式で説明しています。パソコンを操作できる場合は、「サービスアシスタント」の「画面で見るマニュアル」もあわせてご覧ください。

1	パソコンにトラブルが起こったときは .....	112
2	パソコンがおかしいときの Q&A 集 .....	116
	<起動／終了ができない>	
	<画面の表示がおかしい>	
	<音が出ない／パソコンから変な音がする>	
	<無線 LAN が使えない>	
	<キーボード／マウス／フラットポイントがおかしい>	
	<周辺機器>	
	<バッテリ／電源がおかしい [BIBLO] >	
	<画面にメッセージが表示された>	
3	お問い合わせの前に .....	156
4	補足情報 .....	159

# パソコンにトラブルが起こったときは

パソコンの調子がよくない、あるいは、パソコンが動かないと思ったら、状況に応じて次のことをチェックしてみてください。簡単に解決できる場合があります。

## STEP 1 落ち着いて状況を確認しましょう



トラブルが起こったときは、次のことを確認しましょう。  
 ・直前に行った操作  
 ・現在のパソコンの状態

## STEP 2 このマニュアルの Q&A 集を見る

このマニュアルでは、次のトラブルについて Q&A 形式で説明しています。



### 起動／終了ができない

Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [DESKPOWER] .....	116
Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [BIBLO] .....	118
Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す .....	121
Q パソコンの電源を入れても、Windowsが起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他） .....	122
Q どうしても電源が切れない .....	124
Q 「インスタントMyMedia」が起動しない、正しく動作しない [インスタントMyMedia搭載機種] .....	125

### 画面の表示がおかしい

Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、画像がぼやけるなど） .....	127
Q 操作中に画面が動かなくなった .....	130

### 音が出ない／パソコンから変な音がする

Q 音が出ない .....	132
Q ハードディスクからカリカリという音がする .....	132
Q Windowsの起動時や終了時にフロッピーディスクドライブから音がする .....	133



## 無線 LAN が使えない

- Q 無線LANがつながらない／つながらなくなった ..... 135  
 Q すでにある無線LANのネットワークに、このパソコンを接続できない ..... 137

## キーボード／マウス／フラットポイントがおかしい

- Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない ..... 138  
 Q キーボードの操作中に、マウスポインタが勝手に移動したり、クリックしたりする [BIBLO (LOOX Pシリーズを除く)] ..... 140  
 Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった [DESKPOWER LXシリーズ] ..... 141  
 Q ワイヤレスキーボードの操作中に、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする [DESKPOWER LXシリーズ] ..... 142  
 Q キーを押すと意図しない数字が入力されてしまう [BIBLO (NXシリーズを除く)] ..... 142  
 Q ペンが使えない [LOOX Pシリーズ] ..... 143

## 周辺機器

- Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった ..... 144

## バッテリ／電源がおかしい [BIBLO]

- Q 状態表示LED/LCDがおかしい [BIBLO] ..... 146  
 Q バッテリが充電されない [BIBLO] ..... 147

## 画面にメッセージが表示された

- Q 「・・・Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された ..... 148  
 Q 「このハードウェア[ハードウェア名など]を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは・・・」と表示された ..... 149  
 Q 「・・・この問題をMicrosoftに報告してください。・・・」と表示された ..... 149  
 Q 「所在地情報」ウィンドウが表示された ..... 150  
 Q 「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」と表示された ..... 150  
 Q 「Windows セキュリティの重要な警告」ウィンドウが表示された ..... 151  
 Q 「Norton Internet Security」の「プログラム警告」や「セキュリティ警告」などのウィンドウが表示された ..... 152  
 Q 「ウイルスバスター」の「外部に接続しようとするプログラム/ファイルが見つかりました」というウィンドウが表示された ..... 154  
 Q 「・・・無線LANが電波停止状態になっています。・・・」と表示された ..... 155



### このマニュアルでトラブルが解決しなかった場合は

トラブルが起きたときの解決方法は、これだけではありません。他のマニュアルでも説明しています。  
詳しくは次のページをご覧ください。

## STEP 3 他の Q&A を見る

トラブルの解決方法について、説明しているマニュアルやホームページの紹介です。トラブルの内容に応じてご覧ください。

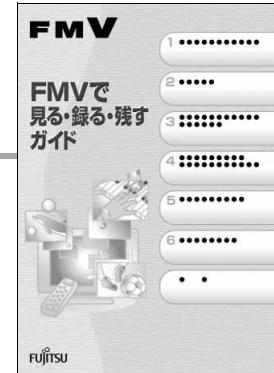
### テレビ機能やリモコンのトラブルには

□『FMV で見る・録る・残すガイド』→「困ったときの Q&A」

このマニュアルの内容

- ・テレビ機能使用時や DVD・CD 再生時のトラブル
- ・リモコンのトラブル
- ・インスタント MyMedia 使用時のトラブル

など



### 画面が表示できる場合のトラブルには

□(サービスアシスタントのトップ画面) → 「画面で見るマニュアル」→「9. 困ったときの Q&A」

このマニュアルの内容

- ・パソコン本体や Windows の操作のトラブル
- ・ホームページ、E メール、ネットワークのトラブル
- ・ソフトウェア、ドライバ関連のトラブル
- ・サウンド、CD/DVD のトラブル
- ・キーボード、文字入力のトラブル
- ・画面に表示されるメッセージのトラブル
- ・プリンタ、印刷のトラブル

「サービスアシスタント」の使い方については、「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」(☞P.61) をご覧ください。

### 最新のトラブル情報を見るには

サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>)

ホームページで最新のサポート情報を紹介しています。ご利用には、インターネット接続環境が必要となります。

このホームページの内容

- ・最新のサポート情報
- ・Q&A 情報 (Q&A navi)
- ・機種別注意事項
- ・E メールによるサポート



## STEP 4 サポート窓口に問い合わせる

### お問い合わせをする前にチェック！

次のことを試してみましょう。トラブルが解決できる場合があります。

- ①「必ず実行してください」  
を実行したか確認する  
([P.204](#))

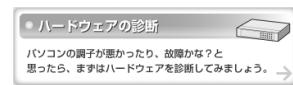


- ②パソコンを再起動する



再起動する前に、作業中のファイルを保存してください。保存しないで再起動すると、直前の操作内容が失われます。

- ③「ハードウェア診断」を実行する



 (サービスアシスタントのトップ画面) → 「ハードウェア診断」の順にクリックすると、パソコンの状態を診断します。

### どうしてもトラブルが解決できないときは

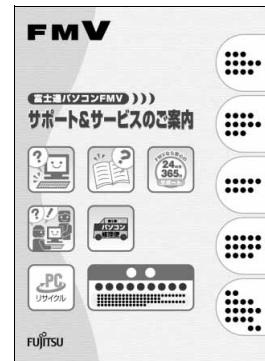
次のマニュアルをご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

#### このパソコンに添付のソフトウェアについては

『サポート&サービスのご案内』 → 「困ったときは」 → 「STEP 3：サポート窓口に相談する」 → 「ソフトウェアのお問い合わせ先」

#### パソコンの操作方法がわからない場合は

『サポート&サービスのご案内』 → 「困ったときは」 → 「STEP 3：サポート窓口に相談する」



#### 故障かなと思ったら

『サポート&サービスのご案内』 → 「故障かな？と思ったときは」

こんなトラブルの場合は、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」([P.167](#))も参考にしてください。

- ・買ってすぐの状態で、起動しなくなった
- ・買ってすぐの状態で、青い画面やエラーが表示されてしまった

- ・一部のサポートは有料となります。
- ・サポートのご利用にはユーザー登録が必要となります。ユーザー登録のしかたについては、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

## パソコンがおかしいときの Q&A 集

### <起動／終了ができない>

#### Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない 【DESKPOWER】

A 電源を入れても何も表示されないとき、画面が真っ暗になってしまったときは、次の点を順番に確認してください。

真っ暗な画面にメッセージや文字が表示されているときは、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（ $\Rightarrow$  P.122）をご覧ください。

##### 【電源（パソコン電源）ランプが消灯している場合】

考えられる原因	機種（対象機種）と対処
電源ケーブルが正しく接続されていない	機種：全機種 対処：いったん電源ケーブルを抜いて 3 分ほど待ち、再び接続し直してください。

##### 参照

##### 『スタートガイド 1 設置編』

休止状態になっている (休止状態に設定した方のみ)	機種：全機種 対処：電源（パソコン電源）ボタンを押して元の状態に戻してください。
周辺機器が正しく取り付けられていない	機種：全機種 対処：「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（ $\Rightarrow$ P.144）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

##### 【電源（パソコン電源）ランプが点灯している場合】

電源（パソコン電源）ランプの色を確認してください。

##### ■ 電源（パソコン電源）ランプがオレンジ色に点灯している

考えられる原因	機種（対象機種）と対処
パソコンの省電力機能が働いている	機種：全機種 対処：電源（パソコン電源）ボタンを押してください。省電力機能が働いた状態から復帰します。CE シリーズをお使いの方は、キーボードのスタンバイボタンを押しても復帰できます。 このとき、電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。



## ■ 電源（パソコン電源）ランプが緑色に点灯している

考えられる原因	機種（対象機種またはディスプレイ）と対処
「電源オプションのプロパティ」で設定した「モニタの電源を切る」が実行されている	機種：全機種 対処：マウスを動かして数秒待つか、キーボードの <b>[↑]</b> <b>[↓]</b> <b>[←]</b> <b>[→]</b> や <b>[Shift]</b> のどれかを押してください。
ディスプレイのケーブルが正しく接続されていない（ディスプレイの電源ランプが消灯またはオレンジ色に点灯している場合）	機種：CE シリーズ 対処：ディスプレイのケーブルがパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。 ・ 20.1 型ワイド液晶ディスプレイ、CE 80/75/70/50 シリーズで 17 型ディスプレイをお使いの方 ディスプレイの電源ケーブルの接続も確認してください。
ディスプレイの電源が入っていない（ディスプレイの電源ランプが消灯している場合）	機種：CE シリーズ 対処：ディスプレイの電源ボタンを押し、ディスプレイの電源を入れてください。 問題が改善されない場合は、パソコンの電源を入れ直してください。 パソコンの電源を入れ直す方法については、「Q どうしても電源が切れない」（ <b>⇒ P.124</b> ）をご覧ください。
周辺機器が正しく取り付けられていない	機種：全機種 対処：「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（ <b>⇒ P.144</b> ）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。
「おやすみディスプレイ」の機能が働いている（「おやすみディスプレイ」を設定した方のみ）	機種：全機種（CE シリーズでディスプレイなしを選択した方を除く） 対処：マウスを動かして数秒待つか、キーボードの <b>[↑]</b> <b>[↓]</b> <b>[←]</b> <b>[→]</b> や <b>[Shift]</b> のどれかを押してください。 <b>[Ctrl]</b> と <b>[Alt]</b> を押しながら <b>[Esc]</b> (オ一) を 1 回押すと、「おやすみディスプレイ」を解除できます。 「おやすみディスプレイ」については「PowerUtility スケジュール機能」のヘルプをご覧ください。

ここまで確認してもパソコンの電源が入らない場合は、電源ケーブルを接続し直すと問題が解決する場合があります。

電源ケーブルを取り外したら、3 分以上そのままの状態にしてください。

その後もう一度ケーブルを接続し、電源を入れてください。

# Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [BIBLO]

A 電源を入れても何も表示されないとき、画面が真っ暗になってしまったときは、次の点を順番に確認してください。

真っ暗な画面にメッセージや文字が表示されているときは、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（[P.122](#)）をご覧ください。

## 参照

- ▼ボタンやランプの場所について
- 『FMV 取扱ガイド』  
→「各部の名称と働き」

### [バッテリだけでお使いの場合]

AC アダプタを接続してください。これで画面が表示できれば、バッテリが原因とも考えられます。

「Q バッテリが充電されない [BIBLO]」（[P.147](#)）もあわせてご覧ください。

考えられる原因	対処
バッテリが切れている	ACアダプタを接続して充電してください。バッテリを充電後、パソコンを使わなかった場合でも、自然放電により、バッテリの残量がなくなります。 ご使用時には、バッテリの残量に注意してください。

## 参照

- ▼AC アダプタの接続について
- 『FMV 取扱ガイド』  
→「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」
- ▼バッテリ残量の表示について
- 『画面で見るマニュアル』> [「000590」で検索](#)  
→「バッテリで使う」

バッテリが外れている	バッテリがしっかりと取り付けられているか確認してください。
------------	-------------------------------

## 参照

- 『FMV 取扱ガイド』  
→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」



**[電源ボタンの周囲または電源ランプが消灯している場合 (NFシリーズ、MG75シリーズを除く)]**

**[状態表示LEDの①が消灯している場合 (NFシリーズ)]**

**[状態表示LCDの①が消灯している場合 (MG75シリーズ)]**

パソコンの電源が入っていません。

考えられる原因	対処
ACアダプタが外れている	ACアダプタを正しく接続してください。
<b>参照</b>	
電源が入っていない	電源ボタンをしっかりと押して電源を入れてください。
休止状態になっている (休止状態に設定した方のみ)	電源ボタンを押して元の状態に戻してください。

**[電源ボタンの周囲または電源ランプが点滅している場合 (NFシリーズ、MG75シリーズを除く)]**

**[状態表示 LED の①が点滅している場合 (NFシリーズ)]**

**[状態表示 LCD の①が点滅している場合 (MG75シリーズ)]**

考えられる原因	対処
スタンバイ状態になっている (省電力機能が働いている)	電源ボタンを押してください。 このとき、電源ボタンを4秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

**[電源ボタンの周囲または電源ランプが点灯している場合 (NFシリーズ、MG75シリーズを除く)]**

**[状態表示 LED の①が点灯している場合 (NFシリーズ)]**

**[状態表示 LCD の①が点灯している場合 (MG75シリーズ)]**

考えられる原因	対処
省電力機能が働いている	フラットポイントやスティックポイントの操作面に触れるか、キーボードの[F1] [F2] [F3] [F4] や[Shift]のどれかを押してください。
周辺機器が正しく取り付けられていない	「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」(⇒ P.144)をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。
ディスプレイの明るさが正しく設定されていない	[Fn]を押しながら[F6]、または[Fn]を押しながら[F7]を押して調整してください。
外部ディスプレイを使うように設定されている	[Fn]を押しながら[F10]を何度も押してください。 [Fn]を押しながら[F10]を押すたびに、外部ディスプレイ表示と液晶ディスプレイ表示が切り替わります。
テレビにのみ表示するよう設定されている	テレビを接続し、もう一度ディスプレイの表示を切り替えてください。切り替え方法については、次のPOINT「ディスプレイの表示を切り替える」(⇒ P.120)をご覧ください。
「おやすみディスプレイ」の機能が働いている (「おやすみディスプレイ」を設定した方のみ)	フラットポイントやスティックポイントの操作面に触れて数秒待つか、キーボードの[F1] [F2] [F3] [F4] や[Shift]のどれかを押してください。 [Ctrl]と[Alt]を押しながら[F1] (オ一) を1回押すと、「おやすみディスプレイ」を解除できます。「おやすみディスプレイ」については、「PowerUtility- スケジュール機能」のヘルプをご覧ください。

## POINT

### ディスプレイの表示を切り替える

パソコンにテレビを接続した後、次の手順を参考にし、操作を行ってください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
3. お使いの機種により、表示されるウィンドウが異なります。

【「ATI CATALYST(R) Control Center」タブがある場合】

1. 「ATI CATALYST(R) Control Center」タブ→「ATI CATALYST(R) Control Center」の順にクリックします。
2. 「基本の [ 簡単ウィザードとクイック設定 ]」→「次へ」の順にクリックします。  
「基本の [ 簡単ウィザードとクイック設定 ]」がない場合は、「表示」を「基本表示」に設定してください。
3. 「移動する」をクリックします。
4. 「メインディスプレイを選択」で表示するディスプレイを選び、「次へ」をクリックします。  
「ディスプレイメナージャー通知」が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
5. 「終了」→「終了」の順にクリックします。
6. 「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。
7. 「スタート」ボタン→「終了オプション」→「再起動」の順にクリックします。  
パソコンが再起動し、表示するディスプレイが切り替わります。

【「Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile」タブがある場合】

1. 「Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile」タブ→「グラフィック プロパティ」→「ディスプレイ デバイス」の順にクリックします。
2. 表示するディスプレイを選びます。
3. 「適用」をクリックし、ディスプレイを切り替えます。
4. 「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。

詳しい操作方法については、次のマニュアルをご覧ください。

## 参照

『画面で見るマニュアル』>「000600」で検索  
→「表示するディスプレイを切り替える」

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」(☞ P.124) をご覧になり、電源を入れ直してください。

なお、ここまで確認してもパソコンの電源が入らない場合は、AC アダプタと内蔵バッテリパックをいったん取り外して 2 ~ 3 分放置後、再び取り付けると問題が解決する場合があります。

## 参照

『FMV 取扱ガイド』  
→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」



## Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す

A Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返し、Windows が起動しなくなる場合があります。  
次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

- 1 FUJITSU のロゴ画面が表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切れます。  
電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
- 2 「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（[P.167](#)）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。

# Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る 他)

A パソコンの電源を入れると、メッセージが表示されたり、「ピッ」というようなビープ音が鳴ったりして Windows が起動しない場合があります。

電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返す場合は、「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」(⇒ P.121) をご覧ください。

## ■ 「規定外の信号です」などと表示された

DESKPOWERの液晶ディスプレイや接続している外部ディスプレイに「規定外の信号です」「規定外の信号が入力されました」と表示されている場合は、解像度やリフレッシュレートが高く（または低く）設定されている可能性があります。「④ リフレッシュレートを変更する [DESKPOWER CEシリーズ]」(⇒ P.122) や「⑤ 解像度や発色数を変更する [DESKPOWER CEシリーズ]」(⇒ P.123) をご覧になり、設定を変更してください。

## ■ 「システムのインストールが完全ではありません」などと表示された

Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示され、Windows が起動しなくなる場合があります。次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

- 1 「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切れます。  
電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
- 2 「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」(⇒ P.167) をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。

## ■ 「Invalid system disk」などと表示された

「Invalid system disk」などのメッセージは、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしたままパソコンの電源を入れたときに表示されます。フロッピーディスクがセットされている場合は、取り出して [Enter] を押してください。

## ■ 他のメッセージが表示された

「Q どうしても電源が切れない」(⇒ P.124) をご覧になり、いったんパソコンの電源を切った後、次の①～⑥を順番に試してください。

- ① パソコンとディスプレイの接続を確認する [DESKPOWER CE シリーズ]  
パソコンとディスプレイを正しく接続してください。
- ② パソコンと周辺機器の接続を確認する  
パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外してください。その後、パソコンの電源を入れ直してください。
- ③ BIOS をご購入時の状態に戻す  
「BIOS をご購入時の状態に戻す」(⇒ P.165) をご覧になり、BIOS の設定を戻してください。
- ④ リフレッシュレートを変更する [DESKPOWER CE シリーズ]
  1. 「Q どうしても電源が切れない」(⇒ P.124) をご覧になり、パソコンの電源を切れます。
  2. パソコンの電源を入れます。

### 参照

#### 『スタートガイド1 設置編』

- ② パソコンと周辺機器の接続を確認する  
パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外してください。その後、パソコンの電源を入れ直してください。
- ③ BIOS をご購入時の状態に戻す  
「BIOS をご購入時の状態に戻す」(⇒ P.165) をご覧になり、BIOS の設定を戻してください。
- ④ リフレッシュレートを変更する [DESKPOWER CE シリーズ]
  1. 「Q どうしても電源が切れない」(⇒ P.124) をご覧になり、パソコンの電源を切れます。
  2. パソコンの電源を入れます。



3. FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、[F8] を押します。  
軽くキーを押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
  4. [↑ ↓] で「VGA モードを有効にする」を選択し、[Enter] を押します。
  5. 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、[Enter] を押します。画面が表示されるまでお待ちください。
  6. 画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
  7. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
  8. 「モニタ」タブをクリックし、「画面のリフレッシュレート」の右の [▼] をクリックしてリフレッシュレートの値を選択します。
  9. 「OK」をクリックします。
  10. 「モニタの設定」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
  11. 「OK」をクリックします。
  12. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
  13. 「再起動」をクリックします。  
Windows が再起動します。
- ⑤ 解像度や発色数を変更する [DESKPOWER CE シリーズ]
- 「④ リフレッシュレートを変更する [DESKPOWER CE シリーズ]」の手順1~5(⇒ P.122)を行って Windows を起動した後、画面が表示されたら、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか?」(⇒ P.127) の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。
- ⑥ パソコンをご購入時の状態に戻す
- 上記のことをしててもエラーメッセージが表示されたり、Windows が正常に起動しなかったりする場合は、Windows のシステムが壊れている可能性があります。◎「リカバリ & ユーティリティディスク」を使って、大切なデータをバックアップした後、パソコンをご購入時の状態に戻してください。データのバックアップ方法については、「Windows が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュー）」(⇒ P.163)をご覧ください。パソコンをご購入時の状態に戻す方法については、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」(⇒ P.167)をご覧ください。

## ■ メッセージが表示されず、ビープ音が鳴っている

メモリが正しく取り付けられていないか、このパソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。

メモリを増設している場合は、いったん電源を切り、増設したメモリが正しく取り付けてあるか確認してください。

正しく取り付けても鳴る場合や、メモリを増設していないのに鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。弊社純正品以外のメモリを増設している場合は、メモリの製造元・販売元にご確認ください。

### 参照

- ▼「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」について
- 『サポート&サービスのご案内』  
→「故障かな？と思ったときは」

# Q どうしても電源が切れない

A どうしても問題が解決しない場合は、パソコンの電源を強制的に切り、その後もう一度電源を入れてください。

## △ 重要

### 強制的に電源を切る前に

次の点に注意してください。

- ・ ハードディスクが動作しているときに電源を切ってしまうと、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性があります。  
強制的に電源を切るときは、DESKPOWER はパソコン本体前面の  、BIBLO は状態表示 LED/LCD の  や  が、ハードディスクが動作しているかどうかの目安となります。点灯や点滅をしている場合は、ハードディスクのデータを読み書きしている可能性があるため、しばらく待つことをお勧めします。
- 上記以外にも、ハードディスクが動いていると思われる場合（音がするなど）は、動作が止まるまでしばらく待つことをお勧めします。
- しばらく待ってもハードディスクが動いている場合は、**[Ctrl]** と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を 1 回押してください。ハードディスクの動作が止まることがあります。
- ご購入後、初めて電源を入れた直後に電源を切ると、パソコンをお使いになれなくなる場合があります。Windows のセットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
- 画面が映らないなど、画面が確認できない場合は、15 分ほど待ってから電源を切るようにしてください。

1 パソコンの電源を切ります。

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。

2 この後電源を入れ直す場合は、10 秒以上待ってから、電源を入れてください。

## POINT

### 「Checking file system on C:」と表示された場合

ソフトウェアを強制終了した後、または強制終了できずに電源を切った後は、次に Windows を起動したときに「Checking file system on C:」と表示される場合があります。

このとき、自動的に Windows やハードディスクの状態がチェックされ、必要に応じて修復が行われます。

エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示された場合は、メッセージに従って修復してください。



# Q 「インスタント MyMedia」が起動しない、正しく動作しない【インスタントMyMedia搭載機種】

**A** 「インスタント MyMedia」が起動しなくなった、または正しく動作しなくなった場合、「インスタントMyMediaのみリカバリ」を行って「インスタントMyMedia」をご購入時の状態に戻すことで解決する場合があります。

「インスタント MyMedia」のリカバリを行うには、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」および◎「インスタント MyMedia リカバリディスク」を使用します。

DESKPOWER CE80T7、CE70T7/D、CE55TW/D、CE50T7/D、CE75TN、CE70TN、CE50TNをお使いの方は、液晶ディスプレイ専用ケーブルの USB コネクタがパソコン本体の付属ディスプレイ用 USB コネクタに正しく接続されているか、確認してください。正しく接続されていないと、「インスタント MyMedia」が起動しません。

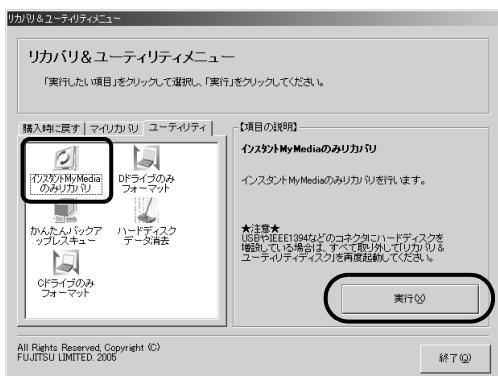
## ※重要

### 「インスタント MyMedia」のリカバリを行うときの注意

「インスタント MyMedia」のリカバリを行うと、現在のチャンネル設定は消去されます。

「インスタント MyMedia」のリカバリ方法は、次のとおりです。

- 1 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」の手順 1 ~ 7 (▶ P.179) を行います。
- 2 リカバリ & ユーティリティメニューの「ユーティリティ」タブをクリックします。
- 3 「インスタント MyMedia のみリカバリ」をクリックし、「実行」をクリックします。



- 4 「CD/DVD ドライブにインスタント MyMedia リカバリディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」を取り出し、◎「インスタント MyMedia リカバリディスク」をセットして、「OK」をクリックします。「インスタント MyMedia」のリカバリが始まり、進捗状況を示すウィンドウが表示されます。
- 5 「リカバリが完了しました。」と表示されたら、◎「インスタント MyMedia リカバリディスク」を取り出して、「OK」をクリックします。「インスタント MyMedia」のセットアップが始まります。設定中は、画面が真っ暗になったり、「インスタント MyMedia」の画面が表示されたりします。セットアップには時間がかかりますが、そのままお待ちください。Windows が再起動されたら、「インスタント MyMedia」のリカバリは完了です。

## POINT

### 「MyMedia」がご購入時の状態に戻った後はチャンネル設定が必要です

「インスタント MyMedia」がご購入時の状態に戻った後は、チャンネル設定をする必要があります。

#### 参照

▼ チャンネルの設定方法

□『FMVで見る・録る・残すガイド』



## <画面の表示がおかしい>

### Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、画像がぼやけるなど）

A 次の点を順番に確認してください。

#### ■ 近くにテレビなどの磁気を発生するもの、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発生するものがありますか？

これらの磁気や電波を発生するものは、ディスプレイやパソコン本体に影響が出ない場所に置いてください。

高圧電線の近くにお住まいの場合、ディスプレイやパソコン本体の置き場所を変えることによって、画面の乱れが直る場合もあります。

#### ■ ディスプレイのケーブルは正しく接続されていますか？【DESKPOWER CE シリーズ】

ディスプレイのケーブルをパソコン本体に正しく接続してください。

#### 参照

□『スタートガイド1 設置編』

#### ■ ディスプレイの調整は正しいですか？【DESKPOWER】

お使いのディスプレイに付いているボタンで調整してください。LXシリーズをお使いの方は、パソコン本体側面の明るさ調整つまみで調整してください。

#### ■ 解像度や発色数の設定が変わっていませんか？

解像度が低くなっていたり、発色数が少なく設定されていたりすると、画面が乱れたように感じことがあります。

次の手順に従って解像度や発色数を設定し直してください。

#### POINT

##### 画面がぼやけたように見える方は【BIBLO】

BIBLOをお使いの方は、解像度を低く設定した状態で全画面表示になっているとき、画面がぼやけたように見えることがあります。

手順に従って解像度を設定し直す、または全画面表示を通常表示に切り替えてください。

#### 参照

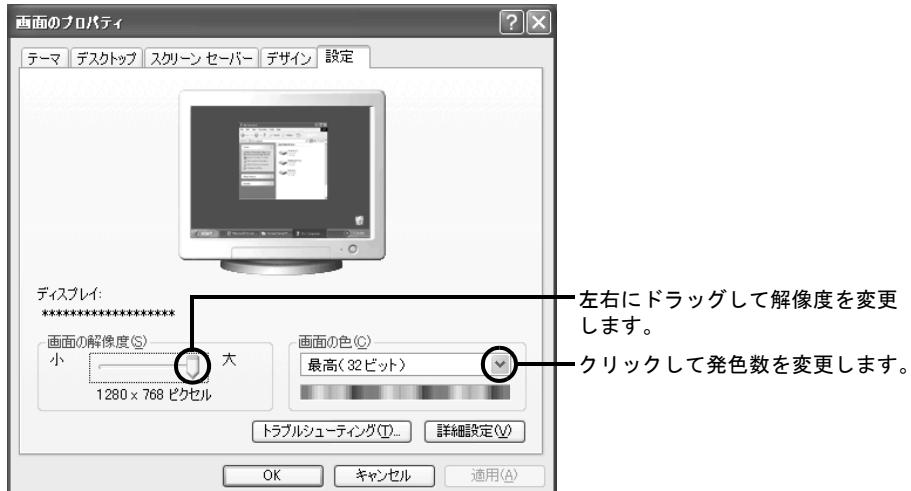
□『画面で見るマニュアル』»🔍「000430」で検索

→「全画面表示と通常表示を切り替える」

#### 1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

**2** 「設定」タブをクリックし、解像度や発色数を変更します。



(画面は機種や状況により異なります)

解像度と発色数については、「【ご購入時の解像度と発色数】」(☞ P.129)をご覧ください。

**3** 設定が終了したら「OK」をクリックします。

画面にメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は、POINT 「「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は」(☞ P.128) をご覧になり、操作してください。

**4** 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。

**5** 「再起動」をクリックします。

Windows が再起動します。

### POINT

#### 「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は

次のように操作してください。

1. 「新しい表示設定でコンピュータを再起動する」をクリックして◎にし、「OK」をクリックします。

2. 「システム設定の変更」ウィンドウで「はい」をクリックします。

Windows が再起動します。これで設定は終了です。

## 【ご購入時の解像度と発色数】

機種名(品名)	解像度	発色数
DESKPOWER LX90T/D、LX70T/D、LX90TN、LX70TN、CE55TW/D	1680×1050	最高(32ビット)
DESKPOWER LXシリーズ(LX90T/D、LX70T/D、LX90TN、LX70TNを除く)、CE80T7、CE70T7/D、CE50T7/D、CE40T7	1280×1024	最高(32ビット)
DESKPOWER CE85TN、CE75TN、CE70TN、CE50TN、CE40TN		
20.1型ワイド液晶ディスプレイの方	1680×1050	最高(32ビット)
17型液晶ディスプレイの方	1280×1024	最高(32ビット)
ディスプレイなしの方	[注]	[注]
BIBLO NXシリーズ	1440×900	最高(32ビット)
BIBLO NFシリーズ	1280×800	最高(32ビット)
BIBLO NBシリーズ、MGシリーズ(MG75TNを除く)	1024×768	最高(32ビット)
BIBLO MG75TN		
高輝度・低反射スーパーファイン液晶の方	1024×768	最高(32ビット)
高解像度液晶の方	1400×1050	最高(32ビット)
BIBLO LOOX Pシリーズ	1280×768	最高(32ビット)

注：お使いのディスプレイにより表示できる解像度と発色数が異なります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

### 参照

#### ▼表示可能な解像度と発色数について

- 『画面で見るマニュアル』»「000360」で検索  
→「画面の解像度と発色数について」

### ■ ゲームソフトなどをインストールしませんでしたか？

ゲームソフトなどをインストールした場合、このパソコンに合わないディスプレiddライバに置き換えられた可能性があります。  
「ドライバを更新する」(⇒P.159)をご覧になり、ディスプレiddライバを設定し直してください。

以上のすべての項目を確認しても画面の表示がおかしい場合は、 (サービスアシスタント) のトップ画面で「ハードウェアの診断」をクリックし、お使いのパソコンの状態をチェックしてください。

ハードウェアなどに問題がなかった場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)」(⇒P.167)をご覧ください。

# Q 操作中に画面が動かなくなった

- A マウスやキーボードを操作しても、ソフトウェアが反応しない、マウスポインタやカーソルが動かないなどの場合は、操作していたソフトウェアを強制終了してください。

ソフトウェアが強制終了できない場合は、強制的に Windows を再起動したり、強制的に電源を入れ直したりします。

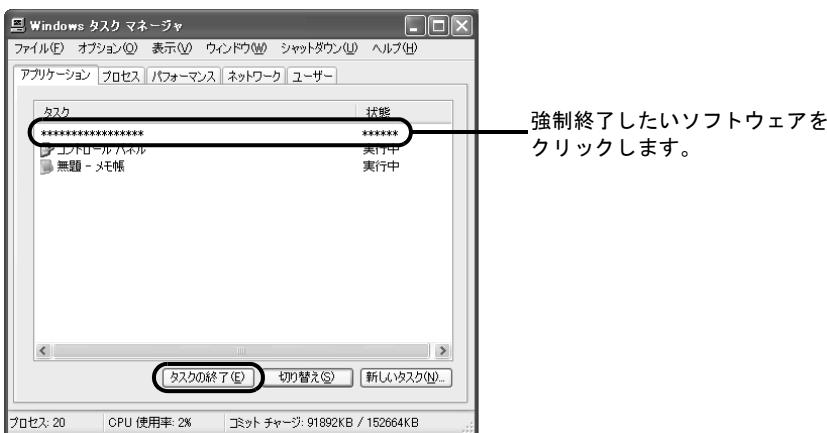
## ※ 重要

### 直前の作業内容は保存されません

この手順でソフトウェアを強制終了した場合や、電源を切った場合は、直前の作業内容は保存されません。

## ■ ソフトウェアを強制終了する

- 1 [Ctrl] と [Alt] を押しながら [Delete] を 1 回押します。  
「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーション」タブをクリックします。
- 3 動かなくなったソフトウェアをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。



(画面は機種や状況により異なります)

- 4 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。  
選んだソフトウェアが強制終了されます。ソフトウェアによっては、強制終了に 20 ~ 30 秒かかることがあります。
- 5 「この問題を Microsoft に報告してください」というメッセージが表示された場合は、「エラー報告を送信する」または「送信しない」をクリックします。  
メッセージについては、「Q 「・・・この問題を Microsoft に報告してください。・・・」と表示された」(⇒ P.149) をご覧ください。
- 6 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウの [X] をクリックします。

ソフトウェアが強制終了できない場合は、次の「Windows を強制的に再起動する」(⇒ P.131) をご覧になり、Windows を強制的に再起動してください。



## ■ Windows を強制的に再起動する

- 1 **[Ctrl]** と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を 1 回押します。  
「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「シャットダウン」メニュー→「再起動」の順にクリックします。  
「シャットダウン」メニューから「再起動」が選べないときは、次の POINT 「「シャットダウン」メニューから選べないときは」をご覧ください。
- 3 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。

前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」(⇒ P.124) をご覧になり、電源を入れ直してください。

### POINT

#### 【シャットダウン】メニューから選べないときは

画面が見えない、マウス／フラットポイントが使えないなどの理由でメニューから「再起動」が選べないときは、次の手順に従ってキーボードで操作してください。

1. 「Windows を強制的に再起動する」の手順 1 の後、**[Alt]** を押しながら **[U]** を押します。
2. **[R]** を押します。

Windows が再起動します。

前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」(⇒ P.124) をご覧になり、電源を入れ直してください。

### ディスクをチェックする

ソフトウェアや Windows を強制終了した場合は、次の手順でドライブをチェックすることをお勧めします。

1. 実行中のプログラムをすべて終了します。
2. デスクトップの  (マイコンピュータ) をクリックします。
3. プログラムをインストールしてあるドライブ (ご購入時の状態は (C:)) を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
4. 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
5. 「ディスクのチェックローカルディスク」ウィンドウで「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」の  をクリックして  にし、「開始」をクリックします。

#### 【メッセージが表示され、ドライブのチェックが開始されない場合】

「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか?」と表示された場合は、次の操作でドライブのチェックを開始します。

1. 「はい」をクリックします。
2. 「スタート」ボタン→「終了オプション」→「再起動」の順にクリックします。
3. 「終了オプション」ウィンドウで「再起動」をクリックします。

Windows が再起動し、ドライブのチェックが開始されます。

#### 【ドライブのチェックが開始された場合】

ドライブのチェックが終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されるので、次のように操作します。

1. 「OK」をクリックします。
2. 「ローカルディスクのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。
3. 「マイコンピュータ」ウィンドウの  をクリックします。

## <音が出ない／パソコンから変な音がする>

### Q 音が出ない

A 次のマニュアルをご覧になり、対処してください。

#### 参照

『画面で見るマニュアル』>「500890」で検索  
→「音が出ない」

パソコン本体にある音量ボリュームやキーボードにある音量調節ボタンなどで音量を調節したり、キーボードにある Mute（消音）ボタンなどでミュートを解除したり、リモコンの消音ボタンを押したりすると音が出る場合があります（ボタン名や操作のしかたは機種により異なります）。

DESKPOWER CE シリーズをお使いの方は、ディスプレイのケーブルがパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。

### Q ハードディスクからカリカリという音がする

A この音は、パソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているために発生します。故障ではありませんので、そのままお使いください。

次のような場合に、ハードディスクからカリカリという音がすることがあります。

- ・ Windows を終了した直後
- ・ スタンバイや休止状態にした直後
- ・ パソコンの操作を一時中断した場合（ハードディスクへのアクセスが数秒間なかった場合）
- ・ 操作を中断した状態から、再度パソコンを操作した場合
- ・ パソコンを操作しない場合でも、常駐しているソフトウェアなどが動作した場合（ハードディスクへのアクセスがあった場合）



# Q Windows の起動時や終了時にフロッピーディスクドライブから音がする

**A** Windows がフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされているかどうかをチェックするために発生します。故障ではありませんので、そのままお使いください。

どうしても気になる場合は、次の対処方法を試してください。

## ■ 「Norton Internet Security」の設定を変更する

「Norton Internet Security」をお使いの場合、フロッピーディスクをウイルススキャンしているときに音がすることがあります。フロッピーディスクをウイルススキャンしないように、「Norton Internet Security」の設定を変更することで改善できる場合があります。次の手順に従って設定を変更してください。



### 設定を変更する前に

設定を変更すると、セキュリティの危険が増す可能性があります。通常はご購入時の設定にしておくことをお勧めします。

- 1 画面右下の通知領域にある (Norton Internet Security ...) をダブルクリックします。
- 2 「Norton Internet Security」ウィンドウで「オプション」をクリックし、表示されるメニューから「Norton AntiVirus」をクリックします。
- 3 「Norton AntiVirus オプション」ウィンドウの左側にある「Auto-Protect」をクリックし、「拡張」をクリックします。
- 4 「拡張オプション」というウィンドウで次の設定を変更します。  
・「すべてのリムーバブルメディアの挿入時にブートウイルスをスキャン」の  をクリックして、□にします。  
・「シャットダウン時に A ドライブのフロッピーディスクのブートウイルスをスキャン」の  をクリックして、□にします。
- 5 「OK」をクリックします。
- 6 「Norton Internet Security」ウィンドウの  をクリックします。

## ■ BIOS の設定を変更する [BIBLO のフロッピーディスクドライブ搭載機種]

ご購入時は、パソコンの電源を入れたときにフロッピーディスクドライブ→ハードディスクの順に読み込むよう、BIOS セットアップで設定されています。最初にハードディスクを読み込むように BIOS セットアップの設定を変更することで改善できる場合があります。



### 設定を変更する前に

設定を変更すると、フロッピーディスクからパソコンを起動する機能が使えなくなります。

- 1 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら **[Enter]** を押します。  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 **[↓]** を押して、BIOS セットアップを選択し、**[Enter]** を押します。  
BIOS セットアップが起動します。

- 3** 「起動」メニュー→「起動デバイスの優先順位」の順に選んで **[Enter]** を押します。
- 4** 「Drive0」を選んで **[Enter]** を押します。  
「Drive0」が上に移動します。
- 5** **[Enter]** を押します。
- 6** 「はい」を選んで **[Enter]** を押します。  
BIOS セットアップの設定が変更され、Windows が起動します。



## <無線 LAN が使えない>

### Q 無線 LAN がつながらない／つながらなくなった

A 次の点を順番に確認してください。

#### ■ 無線 LAN の電波は発信されていますか？

無線 LAN を使うには、電波が発信されている必要があります。画面右下の通知領域にある無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」のアイコンを確認してください。「Mr.WLANner」のアイコンが  になっている場合は、電波の発信が停止している状態です。次の作業を行って電波を発信してください。

- ・ワイヤレススイッチを ON にする [BIBLO]
- ・「Mr.WLANner」で電波を発信する

#### 参照

▼無線 LAN の電波を発信する方法

『画面で見るマニュアル』» 「000790」で検索  
→「無線 LAN の設定方法」

#### ■ 無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？正常に動いていますか？

今まで正常に使えていたのに、いきなり無線 LAN がつながらなくなったなどの場合は、別売の無線 LAN アクセスポイントが正常に動いていない可能性があります。無線 LAN アクセスポイントの電源を確認してください。

電源が入っている場合は、無線 LAN アクセスポイントが正常に動いていない可能性もあります。しばらくたっても、無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」のネットワークの一覧に無線 LAN アクセスポイントが見えない場合は、正常に動いていません。無線 LAN アクセスポイントの電源を一度切った後、電源を入れ直してください。無線 LAN アクセスポイントの操作方法については、無線 LAN アクセスポイントに添付のマニュアルをご覧ください。

#### ■ パソコンと無線 LAN アクセスポイントの設置場所は適当ですか？

パソコンと無線 LAN アクセスポイントの距離が遠かったり、間に障害物があつたりすると、電波が届きにくことがあります。パソコンと無線 LAN アクセスポイントの設置場所を変えることで、改善できる場合があります。

無線 LAN アクセスポイントに添付のマニュアルや次のマニュアルをご覧になり、設置場所を確認してください。

#### 参照

『画面で見るマニュアル』» 「001010」で検索  
→「無線 LAN をお使いになる上でのご注意」

#### ■ 無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」を使って設定してありますか？設定は正しいですか？

このパソコンに搭載されている無線 LAN は、無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」を使って設定します。「Mr.WLANner」の設定を確認してください。確認する項目は次になります。

- ・SSID（ネットワーク名）
- ・PSK や WEP キー（ネットワークキー）などのセキュリティ設定
- ・IP アドレスの設定

SSID とセキュリティ設定については、無線 LAN アクセスポイントの設定と同じにする必要があります。無線 LAN アクセスポイントの設定も確認してください。

## 参照

- ▼「Mr.WLANner」の設定方法
  - 『画面で見るマニュアル』>「000790」で検索
    - 「無線 LAN の設定方法」
- ▼「Mr.WLANner」の設定の確認や変更をする方法 [DESKPOWER CE シリーズ、BIBLO]
  - 『画面で見るマニュアル』>「000840」で検索
    - 「無線 LAN」→「内蔵無線 LAN をお使いになる方へ」
    - 「付録」→「ユーティリティの機能」
- ▼「Mr.WLANner」の設定の確認や変更をする方法 [DESKPOWER LX シリーズ]
  - 『画面で見るマニュアル』>「000840」で検索
    - 「無線 LAN」→「内蔵無線 LAN (PC カードタイプ) をお使いになる方へ」
    - 「付録」→「ユーティリティの機能」

## ■ 別売の無線 LAN アダプタを使用していませんか？

無線 LAN が搭載されている機種の場合は、別売の無線 LAN アダプタを使うと、ユーティリティなどが競合し、正常に動作しないことがあります。このパソコンに搭載されている無線 LAN を使うことをお勧めします。

別売の無線 LAN アダプタのドライバと、このパソコンの無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」を削除（アンインストール）した後に、もう一度「Mr.WLANner」をインストールし直すと、正常に動作する場合があります。

別売の無線 LAN アダプタについては、無線 LAN アダプタに添付のマニュアルをご覧ください。「Mr.WLANner」については、次のマニュアルを参考に削除（アンインストール）とインストールを行ってください。

## 参照

- 『画面で見るマニュアル』>「001020」で検索
  - 「別売の無線 LAN アダプタをお使いになる上でのご注意」

## 重要

### 搭載されている無線 LAN のドライバをアップデートしないでください

別売の無線 LAN アダプタを使用している場合は、このパソコンに搭載されている無線 LAN のドライバをアップデートしないでください。別売の無線 LAN アダプタがうまく動かなくなる場合があります。

## POINT

### 無線 LAN アクセスポイントに添付されている自動設定ツールについて

無線 LAN アクセスポイントによっては、無線 LAN の設定を自動で行う自動設定ツールが添付されている場合があります。このパソコンに搭載されている無線 LAN 機能ではサポートしておりません。無線 LAN アクセスポイントに添付されている自動設定ツールを使いたい場合は、自動設定ツールに対応している別売の無線 LAN アダプタをお使いください。

別売の無線 LAN アダプタをお使いになる場合は、このパソコンから無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」を削除（アンインストール）し、このパソコンの無線 LAN ドライバを無効にする必要があります。

## 参照

- ▼「Mr.WLANner」の削除方法
  - 『画面で見るマニュアル』>「001020」で検索
    - 「別売の無線 LAN アダプタをお使いになる上でのご注意」



## Q すでにある無線LANのネットワークに、このパソコンを接続できない

A 無線LANのネットワークが、別売の無線LANアクセスポイント（ワイヤレスブロードバンドルーターなど）に添付されている自動設定ツールで設定されているか確認してください。

無線LANアクセスポイントによっては、無線LANの設定を自動で行う自動設定ツールが添付されている場合があります。

このパソコンに搭載されている無線LANは、自動設定ツールをサポートしていません。自動設定ツールにより設定されているネットワークに、搭載されている無線LANでこのパソコンを追加したい場合は、自動設定を解除した上で、すべて手動で設定し直してください。

このパソコンに搭載されている無線LANは、無線LANユーティリティ「Mr.WLANner」を使って設定してください。

### 参照

『画面で見るマニュアル』» 「000790」で検索  
→ 「無線LANの設定方法」

# <キーボード／マウス／フラットポイントがおかしい>

## Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない

A 次の点を確認してください。

### ■ ソフトウェアの操作中でしたか？

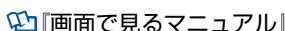
ソフトウェアを強制終了し、Windows を再起動してください。  
「Q 操作中に画面が動かなくなった」(⇒ P.130)

### ■ キーボードの文字は入力できますか？

「画面で見るマニュアル」の「困ったときのQ&A」に、キーボード入力についての説明があります。次のような場合は、そちらもあわせてご覧ください。

- ・キーに刻印されている記号が入力できない
- ・テンキーの数字が入力できない
- ・キーを押すと数字が入力されてしまう

#### 参照



『画面で見るマニュアル』

→「9. 困ったときの Q & A」→「キーボード／文字入力」

### ■ マウスやキーボードに飲み物をこぼしましたか？

柔らかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後でキーを押しても文字が入力できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にお問い合わせください。

#### 参照



『サポート＆サービスのご案内』→「故障かな？と思ったときは」

### [DESKPOWER の場合]

#### ■ 光学式のマウスが使えなくなっていますか？

光学式のマウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。マウスを使う場所を変えてみてください。

- ・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- ・光沢があるもの
- ・濃淡のはっきりした縞模様や柄があるもの（木目調など）
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

#### ■ ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなっていますか？

「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった [DESKPOWER LX シリーズ]」(⇒ P.141) もあわせてご覧になり、確認してください。

#### ■ 光学式のマウスは正しく接続されていますか？ キーボードは正しく接続されていますか？ [DESKPOWER CE シリーズ]

マウスやキーボードの接続がゆるんでいると、操作ができなくなります。  
キーボードが使える状態なら、次の手順に従ってキーボードで Windows を終了し、パソコンの電源を切ってください。その後、接続し直してください。

1 [Shift] を押すか、または [Ctrl] を押しながら [Esc] を押します。

「スタート」メニューが表示されます。

2 [U] を押します。

「コンピュータの電源を切る」ウィンドウが表示されます。

3 [U] を押します。

電源が切れます。



マウスもキーボードも使えない場合は、「Q どうしても電源が切れない」(⇒ P.124) をご覧になり、パソコンの電源を切った後にキーボードとマウスを接続し直してください。

### 参照

□『スタートガイド1 設置編』

#### ■ スクロールボタン（マウスの真ん中のボタン）を押していませんか？

クリックしてみてください。マウスポインタが表示される（動かせる）場合があります。

知らずにスクロールボタンを押してしまった場合、マウスポインタが変わってしまい、好きな方向に動かせないように見えることがあります。

### 参照

▼添付されているマウスのスクロールボタンの使い方

🔍『画面で見るマニュアル』»🔍「000780」で検索

→「マウスを使う」

#### 【BIBLO の場合】

マウスを接続してお使いの場合は、「[DESKPOWER の場合]」(⇒ P.138) の項目もご確認ください。

#### ■ フラットポイントやスティックポイントが汚れていませんか？

フラットポイントやスティックポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントやスティックポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

#### ■ フラットポイントやスティックポイントの設定を変更しましたか？

USB マウスを接続した状態でフラットポイントやスティックポイントを無効にし、その後でマウスを取り外すと、フラットポイントやスティックポイントで操作ができなくなることがあります。

次の方法でフラットポイントを有効にすることができます。

- ・ [F4] を押しながら [F4] を押す

フラットポイントやスティックポイントが有効の場合は「Internal pointing device:Enable」、無効の場合は「Internal pointing device:Disable」と画面に表示されます。

ただし、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントやスティックポイントの有効と無効を切り替えていた場合は、この方法で切り替えることはできません。

- ・ 「マウスのプロパティ」ウィンドウで設定を変更する

キー操作で切り替えられない場合は、もう一度 USB マウスを接続し、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントやスティックポイントを有効にしてください。

### 参照

▼マウスの接続方法

🔍『画面で見るマニュアル』»🔍「000680」で検索

→「マウスを接続する」

▼フラットポイントの設定方法（LOOX P シリーズを除く）

🔍『画面で見るマニュアル』»🔍「001080」で検索

→「USB マウスを接続したときにフラットポイントを無効にする」

### POINT

#### BIOS セットアップのパスワードを設定した場合 [BIBLO]

スタンバイから復帰（レジューム）したとき、フラットポイントやマウスが使えない場合があります。BIOS セットアップで設定したパスワードを入力して [Enter] を押してください。

# Q キーボードの操作中に、マウスポインタが勝手に移動したり、クリックしたりする [BIBLO (LOOX Pシリーズを除く)]

A キーボードの操作中に手のひらや袖口などがフラットポイントに触れると、マウスポインタが移動したり、クリックしたりなど意図しない操作を実行してしまうことがあります。フラットポイントの設定を変更することで問題が改善される場合があります。

フラットポイントが無効になるよう設定すると、操作中にマウスポインタが勝手に移動したりクリックしたりしなくなります。

## 参照

- ◀『画面で見るマニュアル』»🔍「001080」で検索  
→「USBマウスを接続したときにフラットポイントを無効にする」

## POINT

### ステイックポイントが搭載されている機種をお使いの場合

ステイックポイントの操作中に手のひらなどがフラットポイントに触れると、意図しない操作を実行してしまうことがあります。問題を改善するには、フラットポイントを無効になるよう設定してください。

## 参照

- ▼フラットポイントの設定方法  
◀『画面で見るマニュアル』»🔍「001090」で検索  
→「フラットポイント／ステイックポイントのどちらかを無効にする」

### フラットポイントを有効にしたまま使いたい場合

「マウスのプロパティ」ウィンドウでタップの設定を変更すると問題が改善する場合があります。タップとは、フラットポイントの操作面を指で叩くことで、マウスのクリックやダブルクリックと同じ動作をする機能のことです。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
3. 「マウス」をクリックします。
4. 「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントのタップの設定をします。

お使いの機種により、表示されるウィンドウが異なります。

#### 【BIBLO NX シリーズ、NF シリーズ、NB シリーズをお使いの方】

1. 「タッピング」タブをクリックします。
2. 「キー入力時タップしない」をクリックしてにします。
3. 「有効になるまでの時間」のつまみを右にドラッグします。
4. 「OK」をクリックします。

#### 【BIBLO MG シリーズをお使いの方】

1. 「デバイス設定」タブをクリックします。
2. 「設定」をクリックします。
3. 「アイテムの選択」の「感度」の左側にあるをクリックします。
4. 「PalmCheck(パームチェック)」をクリックし、右側に表示される「PalmCheck(パームチェック)」のつまみを右にドラッグします。
5. 「OK」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。



# Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった [DESKPOWER LX シリーズ]

A パソコンに添付されているワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの方は、次の点を確認してください。

「Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない」(⇒ P.138) の対処方法も参考にしてください。

## ■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いの場所は適当ですか？

パソコン設置場所やお使いの状況によっては、通信を妨げる原因となる場合があります。

次のマニュアルをご覧になり、正しい配置とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用するときの注意事項を確認してください。

### 参照

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

## ■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスに正しく電池がセットされていますか？

適切な乾電池を正しくセットする必要があります。

次のマニュアルをご覧になり、セットした電池の種類・向きや寿命について確認してください。

### 参照

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

## ■ 通信周波数／ID は正しく設定されていますか？

お使いの状況により、通信周波数／ID を設定し直す必要があります。

### 参照

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

→「ID 設定をする」

パソコンに USB 機器を接続している方は、次の点もご確認ください。

## ■ USB 機器のドライバはお使いの OS に対応していますか？

接続している USB 機器のドライバが正しくないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与える場合があります。今お使いの OS にドライバが対応しているかどうかを確認し、対応していない場合は USB 機器のメーカーからお使いの OS に対応したドライバ入手してください。

入手したドライバをインストールするときは、現在、お使いのドライバを削除してください。

## Q ワイヤレスキーボードの操作中に、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする [DESKPOWER LXシリーズ]

A ワイヤレスキーボードの通信状態が悪化したためです。次の点を順番に確認してください。

■ 操作中にワイヤレスキーボードを移動しましたか？

ワイヤレスキーボードを元の位置に戻して、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。

■ 周辺の環境が変わりましたか？

周辺の環境を確認して通信可能な状態にし、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。

参照

▼周囲の環境の確認点について

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

## Q キーを押すと意図しない数字が入力されてしまう [BIBLO (NX シリーズを除く)]

A キーボードのテンキーモードが有効になっているためです。**[Num Lk]** を押し、テンキーモードを解除してください。

テンキーモードが有効になっていると、**[U]** や **[K]** などを押したときに数字が入力されます。

**[Num Lk]** を押すごとに、テンキーモードの有効 / 無効が切り替えられます。



# Q ペンが使えない [LOOX P シリーズ]

A パソコンに添付のペンをお使いの方は、次の点を順番に確認してください。

## ■ ペンでしっかりとタップしていますか？

ペンの先を画面に押し付ける力が不十分な場合、正しく操作が認識されないことがあります。添付のペンで確実に画面を押して操作をしてください。

## ■ タッチ位置がずれていませんか？

タッチ位置がずれていると、画面上をタップしても全く反応がなかったり、タップしている場所と違う場所が反応したりします。次のマニュアルをご覧になり、タッチ位置の設定を行ってください。

### 参照

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「タッチパネルを使う」→「ペンの調整」

## ■ ペンは破損していませんか？

ペンを破損したり、紛失したりした場合は新しいペンをご購入ください。

### 参照

▼富士通サプライ品のご購入方法

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「タッチパネルを使う」→「タッチパネルについて」

# <周辺機器>

## Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった

A 次の点を確認してください。

### ■ 正しく接続されていますか？

いったんパソコンと周辺機器の電源を切った後、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

### ■ 正しく設定されていますか？

周辺機器の設定（ドライバのインストールなど）が正しくされているか確認してください。  
詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

### ■ 周辺機器がお使いのパソコンに対応していますか？

周辺機器に添付のマニュアル、および次のマニュアルをご覧ください。

#### 参照

- ☛『画面で見るマニュアル』  
→「6.周辺機器の接続」

#### POINT

##### ACPIに対応した周辺機器をお使いください

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の1つ）によって動作していますので、周辺機器もACPIに対応したものをお使いください。スタンバイ状態での省電力機能のレベルのことS1、S3などと表します。

ACPIに対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器がACPIに対応しているかどうかは周辺機器の製造元にお問い合わせください。

BIBLOは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）には対応していません。お使いの周辺機器がS1にしか対応していない場合は、パソコンをスタンバイ／休止状態にしてください。

#### 参照

- ▼スタンバイ／休止状態について
- ☛『画面で見るマニュアル』»☛「000410」で検索  
→「省電力機能を使う」

##### 正常に起動したときの設定に戻す

周辺機器を取り付けた後で、Windowsが起動できなくなった場合、前回正常起動時の構成を使用して、Windowsを起動することができます。次の手順に従って操作してください。

1. パソコンの電源を切り、追加した周辺機器を取り外します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSUのロゴ画面が表示されたら [Esc] を押します。
4. [↑] [↓] で、「前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定）」を選択し、[Enter] を押します。
5. 「オペレーティングシステムの選択」画面でお使いのOSが選択されていることを確認し、[Enter] を押します。

これで、前回正常起動時の構成を利用してWindowsが起動します。



### インスタント MyMedia の動作がおかしい場合（インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方）

一度「インスタント MyMedia」を終了してパソコンの電源を切り、再度「インスタント MyMedia」を起動してください。

それでも改善しない場合は、「Q 「インスタント MyMedia」が起動しない、正しく動作しない [インスタント MyMedia 搭載機種]」(☞ P.125) をご覧ください。

## <バッテリ／電源がおかしい [BIBLO]>

### Q 状態表示 LED/LCD がおかしい [BIBLO]

A 状態によって対処法が異なります。

#### ■ □が赤く点灯／点滅している (MG75 シリーズを除く)

##### □ や □ の点滅が止まらない (MG75 シリーズ)

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていないなどの原因が考えられます。

ACアダプタを接続し、充電し直してください。

#### ■ ←□ や → がオレンジ色に点滅している (MG75 シリーズを除く)

バッテリ本体の保護機能が働いて、充電が休止しているなどの原因が考えられます。しばらくそのままお待ちください。自動的に充電が再開されます。

#### ■ CD/DVD をセットしていないのに ☛ が点滅している (MG75 シリーズ)

故障ではありません。これは、Windows がパソコンに CD/DVD が入っているかどうか定期的に調べているためです。

#### 参照

▼ バッテリや充電について

☞『画面で見るマニュアル』»🔍「000590」で検索

→「バッテリで使う」

▼ 状態表示 LED/LCD について

☞『画面で見るマニュアル』»🔍「000230」で検索

→「各部の名称と働き：状態表示 LED」または「各部の名称と働き：状態表示 LCD」



# Q バッテリが充電されない [BIBLO]

A 次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

原因	対処
バッテリが外れている	内蔵バッテリパックを取り付けてください。
	<b>参照</b>
	□『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」 →「バッテリで使う」
AC アダプタが外れている	コンセントおよびパソコン本体に AC アダプタを正しく接続し直してください。
	<b>参照</b>
	□『FMV 取扱ガイド』 →「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」
パソコン本体が熱くなり、保護機能が働いている(状態表示 LED/LCD の「バッテリ充電ランプ」 <sup>[注]</sup> が点滅)	保護機能が働いて、充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。
パソコン本体が冷たくなり、保護機能が働いている(状態表示 LED/LCD の「バッテリ充電ランプ」 <sup>[注]</sup> が点滅)	パソコンを暖かいところに置いて、ACアダプタを接続し直してください。暖かいところに移す場合は、結露が発生しないようご注意ください。 バッテリの温度が 5 °C以下になると、保護機能が働いて充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。

注: 機種により「バッテリ充電表示」／「内蔵バッテリパック充電ランプ(増設用内蔵バッテリユニット充電ランプ)」となります。

## POINT

### バッテリが 90%以上残っているとき

バッテリが約 90%以上残っているときは、充電を開始しない場合があります。

## 参照

### ▼バッテリについて

□『画面で見るマニュアル』» 「000590」で検索  
→「バッテリで使う」

## <画面にメッセージが表示された>

### Q 「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された

A ディスクなどをパソコンにセットしたときに表示される場合があります。

お使いの状況に応じた動作を選択し、「OK」をクリックします。どの動作かわからない場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

「何もしない」をクリックした後「OK」をクリックしても、「キャンセル」と同じ操作になります。このとき、「常に選択した動作を行う。」と表示されている場合は、□をクリックして☑にすると、次からこの画面は表示されなくなります。



#### 参照

▼ DVD-VIDEO や音楽 CD が自動再生するよう設定するには

『画面で見るマニュアル』>「000075」で検索

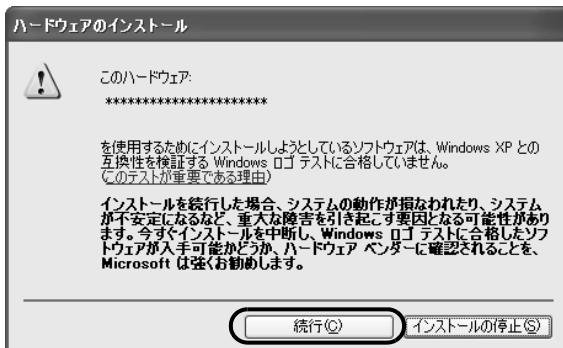
→「DVD-VIDEO や音楽 CD の自動再生について」



## Q 「このハードウェア[ハードウェア名など]を使用するため にインストールしようとしているソフトウェアは・・・」 と表示された

A 周辺機器を接続したときなどに、このメッセージが表示される場合があります。

そのまま操作を続けるには、「続行」をクリックします。



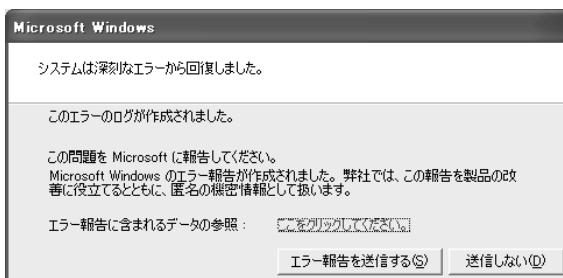
## Q 「・・・この問題を Microsoft に報告してください。・・・」 と表示された

A Windows の操作中にエラーが発生すると、このメッセージが表示される場合があります。

「エラー報告を送信する」をクリックすると、マイクロソフト社のサーバーに接続され、エラーの詳細レポートが送信されます（送信には、インターネット接続環境が必要です）。

このレポートはインターネットを通じて匿名の機密情報として送信され、マイクロソフト社の製品改善に使用されます。

エラー報告をしない場合は、「送信しない」をクリックします。



## Q 「所在地情報」 ウィンドウが表示された

A お使いのパソコンに所在地情報の設定がされていない場合にこのウィンドウが表示されます。お使いの通信回線にあわせて、設定を行ってください。



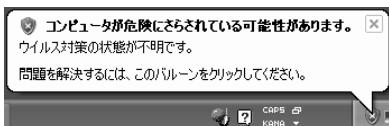
### 参照

- ▼ 設定項目と内容について
- ☛『画面で見るマニュアル』»🔍「202130」で検索  
→「所在地情報を設定する」

## Q 「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」と表示された

A セキュリティ対策ソフトの設定が終わっていないため、表示される場合があります。

次のマニュアルをご覧になり、セキュリティ対策ソフトの設定をしてください。



### 参照

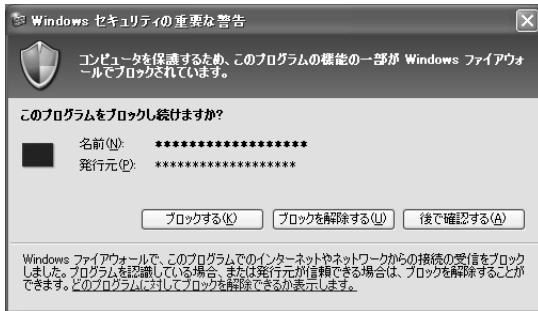
- ▼ セキュリティ対策ソフトの設定方法
- ☛『スタートガイド 2 セットアップ編』  
→「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」
- ▼ すでにセキュリティ対策ソフトの設定が終わっている場合
- ☛『画面で見るマニュアル』»🔍「501550」で検索  
→「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」



## Q 「Windows セキュリティの重要な警告」ウィンドウが表示された

A ソフトウェアを使用中、「Windows セキュリティの重要な警告」ウィンドウが表示される場合があります。

これは、ソフトウェアがネットワークに接続しようとしていることを「Windows ファイアウォール」が感知し、接続しても問題ないかどうかを確認するためのウィンドウです。



「名前」にはそのソフトウェアの名称やサービス名、「発行元」にはソフトウェアメーカーの名前が表示されます。表示されたソフトウェアがネットワークに接続しても問題ないとお客様自身が判断した場合は、「ブロックを解除する」をクリックしてください。ネットワークに接続しないようにする場合は、「ブロックする」をクリックしてください。

なお、表示されたソフトウェアを「Windows ファイアウォール」に例外として登録しておくことで、警告メッセージが出ないようにすることもできます。

### 参照

- ▼ ソフトウェアを例外に登録する方法
- ☛『画面で見るマニュアル』»🔍「202370」で検索  
→「Windows ファイアウォール」→「[Windows ファイアウォール] の設定を変更する」

Q 「Norton Internet Security」の「プログラム警告」や「セキュリティ警告」などのウィンドウが表示された

**A** 「Norton Internet Security」をお使いの場合は、ネットワークに接続したり、ソフトウェアを起動したりしたときに、「Norton Internet Security」の「プログラム警告」や「セキュリティ警告」などのウィンドウが表示される場合があります。

「Norton Internet Security」は、不正アクセスや重要なデータの流出を防ぐために、お使いのパソコンを監視しています。そのため、ネットワークを利用するソフトウェアやサービスによっては、「Norton Internet Security」に不審な動作として認識され、このウィンドウが表示される場合があります。



次の操作を進めるには、そのソフトウェアを使用しても安全上問題がないかどうかよくご確認のうえ、設定を行ってください。

コンピュータ上の何というプログラムがネットワークに接続しようとしているのか知りたい場合は、「詳細を表示」または「警告アシスタント」をクリックしてください。

#### ■ ネットワークに接続しても問題ないとお客様自身が判断した場合

をクリックして「インターネットアクセスを自動的に設定」や「許可する」などを選択し、「OK」をクリックしてください。以後、常にそのソフトウェアでネットワークを利用することができます。

### ■ ネットワークに接続しないようにする場合

をクリックして「遮断」を選択し、「OK」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアでネットワークを利用する機能は使えなくなります。

設定終了後は、そのソフトウェアを利用しようとしても「プログラム警告」や「セキュリティ警告」などのウィンドウは表示されなくなります。

「Norton Internet Security」については、ヘルプをご覧になるか、株式会社シマンテックにお問い合わせください。

參照

#### ▼お問い合わせ窓口について

- 『サポート&サービスのご案内』→「困ったときは」→「STEP 3：サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」→「各ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」

## POINT

### 必ず LiveUpdate を行ってください

LiveUpdate を行うと、ご購入時にインストールされているソフトウェアがネットワーク機能を使用する場合に、「セキュリティ警告」ウィンドウを表示しないように、自動で設定します。

ただし、お客様が「セキュリティ警告」ウィンドウで許可／遮断を設定した場合は、LiveUpdate を行っても自動で設定はされません。お客様ご自身で設定を変更してください。

### 参照

#### ▼ 設定した内容の確認や変更をする方法

WEB 画面で見るマニュアル》》「211170」で検索

→ 「[Norton Internet Security] のファイアウォールを設定する」

### 「updatenv.exe」、「MyMediaServer.exe」、「first.exe」について

「updatenv.exe」は、「アップデートナビ」が使用しているプログラムです。

「MyMediaServer.exe」は、「MyMedia」が使用しているプログラムです。

「first.exe」は、「サービスアシスタント」の「パソコン入門」で使用しているプログラムです。

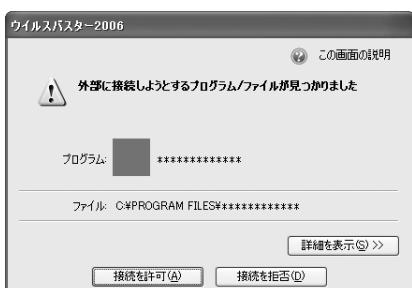
セキュリティ上の問題はありませんので、をクリックして「常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する」や「常に許可する」を選択し、「OK」をクリックして先に進んでください。

# Q 「ウイルスバスター」の「外部に接続しようとするプログラム / ファイルが見つかりました」というウィンドウが表示された

A 「ウイルスバスター」をお使いの場合は、ネットワーク上で不審な動作を検出すると、途中でソフトウェアの起動やデータを遮断して「外部に接続しようとするプログラム / ファイルが見つかりました」のウィンドウを表示します。

「ウイルスバスター」は、不正アクセスや重要なデータの流出を防ぐために、お使いのパソコンを監視しています。そのため、ネットワークを利用するソフトウェアやサービスによっては、「ウイルスバスター」に不審な動作として認識される場合があります。

このウィンドウが表示された場合は、ソフトウェアやサービスがネットワークに接続しても問題はないか、よくご確認のうえ、次の設定を行ってください。



## ■ ネットワークに接続しても問題ない場合

「接続を許可」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアやサービスでネットワークを利用することができます。

## ■ ネットワークに接続すると問題がある場合

「接続を拒否」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアやサービスでネットワークを利用する機能は使えなくなります。

「ウイルスバスター」については、ヘルプをご覧になるか、トレンドマイクロ株式会社にお問い合わせください。

### 参照

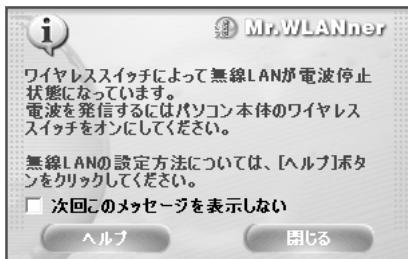
#### ▼ お問い合わせ窓口について

□『サポート＆サービスのご案内』→「困ったときは」→「STEP 3：サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」→「各ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」



# Q 「・・・無線 LAN が電波停止状態になっています。・・・」と表示された

A 無線 LAN の電波を停止していると、起動するたびに表示されます。



(画面は機種や状況により異なります)

## ■ 無線 LAN をお使いの方

「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプが表示されます。ヘルプの指示に従って、無線 LAN の電波を発信してください。

## ■ 無線 LAN をお使いにならない方

「閉じる」をクリックすると、メッセージが閉じます。

起動時にこのメッセージを表示させたくない場合は、「次回このメッセージを表示しない」のをクリックして、にしてください。

このメッセージは、無線 LAN ユーティリティ「Mr.WLANner」の設定を変更することで、再度表示することができます。

## 参照

▼「Mr.WLANner」の設定方法について [DESKPOWER CE シリーズ、BIBLO]

『画面で見るマニュアル』» 「000840」で検索

→「無線 LAN」→「内蔵無線 LAN をお使いになる方へ」→「お使いになる方へ」  
→「電波の発信を開始する」

▼「Mr.WLANner」の設定方法について [DESKPOWER LX シリーズ]

『画面で見るマニュアル』» 「000840」で検索

→「無線 LAN」→「内蔵無線 LAN (PC カードタイプ) をお使いになる方へ」  
→「お使いになる方へ」→「電波の発信を開始する」

## お問い合わせの前に

### ソフトウェアに関するお問い合わせ

このパソコンに添付されているソフトウェアの内容については、□『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。後から購入した市販のソフトウェアについては、各ソフトウェアの開発元にお問い合わせください。電話番号、FAX番号などはお間違えのないよう、お確かめのうえおかけくださいようお願ひいたします。

なお、お使いの機種やモデルにより、添付されているソフトウェアは異なります。

### 富士通製品に関するお問い合わせ

次のような場合、□『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。

- ・パソコンを誤って壊してしまったときなどの、故障、修理に関するお問い合わせ。
- ・サービスアシスタントや添付のマニュアルを調べても、どうしてもパソコンの使い方がわからないとき。
- ・「トラブルかなと思ったら（Q&A）」（…▶ P.111）、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（…▶ P.167）を実行しても、パソコンの調子がおかしいとき。

#### 重要

##### 保証期間について

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。ただし、保証書に保証開始日の記入がないと、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

#### 参照

□『サポート＆サービスのご案内』→「故障かな？と思ったときは」

##### お使いのパソコンの修理を依頼するときは

- ・データをバックアップしてください。  
パソコンの修理を依頼した場合、パソコンの内容が修理前と異なり、作成したデータが何も入っていない状態や、ご購入時の状態になってしまふ場合があります。大切なデータは必ずCD/DVDなど別の媒体にバックアップをしておいてください。
- ・◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」をご用意ください。  
パソコンの修理を依頼するとき、添付の◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」が必要になります。修理を依頼するときは、必ず同梱してください。インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方は、添付の◎「インスタント MyMedia リカバリディスク」も同梱してください。

富士通パソコン出張サービス（有償）をご用意しています。

#### 参照

□『サポート＆サービスのご案内』→「操作指導サービス」

→「富士通パソコン出張サービス「PC家庭教師」（有料）【富士通パーソナルズ】」



## ■ 診断プログラムで診断する

Windows が起動しなくなったときは、このパソコンに添付の診断プログラムでパソコンを診断してください。

診断時間は通常 5 ~ 10 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えた後、『サポート & サービスのご案内』をご覧になりお問い合わせください。

### 重要

#### 診断を行う前に周辺機器を外してください。

USB メモリや外付けハードディスクなど、ハードディスクやリムーバブルディスクと認識される周辺機器は、診断を行う前に外してください。

#### DESKPOWER、BIBLO NF60T をお使いの方は

診断プログラムは、⑩「富士通サービスアシスタント」に入っています。診断を行う前に ⑩「富士通サービスアシスタント」を用意してください。

それ以外の機種をお使いの方は、⑩「富士通サービスアシスタント」を用意する必要はありません。

### 診断を開始する

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 キーボードの [F1] の位置を確認します。

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されている間に、[F1] を押します。

[F1] を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

4 起動メニューが表示されたら、次の操作を行います。

・起動メニューに「診断プログラム」と表示されている場合

[Enter] を押して「診断プログラム」を選択し、[Enter] を押します。

・⑩「富士通サービスアシスタント」をお使いの場合

⑩「富士通サービスアシスタント」をパソコンにセットした後、[Enter] を押して「CD / DVD」または「CD-ROM ドライブ」を選択し、[Enter] を押します。

自動的に診断が始まります。

### 診断を終了する

1 画面の上部に診断結果が表示されたら、内容を確認します。

・エラーが発生した場合は「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 行のエラーコードが表示されます。

・お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。

・エラーが発生しなかった場合、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。

2 画面の「MessageDisplay」の一番下に「Press Ctrl+ALT+DEL Push」と表示されたら、次の操作を行います。

・⑩「富士通サービスアシスタント」をセットしていない場合

[Ctrl] と [Alt] を押しながら、[Delete] を 1 回押します。

・⑩「富士通サービスアシスタント」をセットした場合

⑩「富士通サービスアシスタント」を取り出した後、[Ctrl] と [Alt] を押しながら、[Delete] を 1 回押します。

3 次のように表示されたら、[Enter] を押します。

[Ctrl+ALT+DEL Push] → Power off execute ok (ENTER) ?

約 5 秒後に電源が切断されます。

機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切断されない場合があります。

Please power off manually

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押して電源を切ってください。

## POINT

### エラーが発生しなかったときは

「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（ P.167）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

### インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方は

診断プログラムを終了した直後は、インスタント MyMedia を起動できません。一度、電源（パソコン電源）ボタンを押して Windows を起動し、終了してください。インスタント MyMedia を起動することができます。



ここでは、トラブルを解決するときによく行う操作について紹介します。

## ドライバを更新する

サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバを更新すると問題が解決できる場合があります。次の方法でドライバを更新してください。

### 重要

#### ドライバを更新する前に

ドライバを更新する前に、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。

スクリーンセーバーを設定している場合は、スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。

### 参照

『画面で見るマニュアル』» 「920740」で検索

→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

## インターネットに接続してドライバを更新する場合

各ドライバは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバがインターネット上で公開されている場合があります。

### ■「アップデートナビ」で最新のドライバを確認する

お使いのパソコンに搭載されているドライバなどの最新情報は、「アップデートナビ」で確認することができます。更新情報の確認後、そのままインストールすることもできるので便利です。

アップデートナビについては、「アップデートナビ」(▶ P.43) をご覧ください。

### ■ホームページで最新のドライバを確認する

ドライバなどの最新情報は、サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) の「ドライバダウンロード」をご覧ください。

「ドライバダウンロード」については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネットのサポート情報」からもご覧いただけます。

## 添付のディスクからドライバを更新する場合

添付のディスク 「APPLICATION DISK」に (Update) フォルダがある場合、2006年7月時点でのドライバが用意されています。

ご購入時のドライバとそのフォルダ名については、ディスクの中の (Indexcd) というファイルをクリックしてご確認ください。

また、ご購入時よりも新しいドライバが (Update) というフォルダの中に用意されている場合があります。 (Update) フォルダもご確認になり、ドライバがある場合はこちらをお使いください。

(Indexcd) をクリックして開くと、次のような表が表示されます。この表から、お使いの機種に対応するドライバを調べて更新してください。

フォルダ / ファイル名	ディスク内容一覧	適応機種		
		CXXABC	CXXDE	CEXXFG
¥Atmail	@メール	●	●	●
¥Atmenu	@メニュー	●	●	●
¥Ezbackup	FM かんたんバックアップ	●	●	●
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~

この表は一例です。実際の表とは内容が異なります。

### 表の見かた

1 「ディスク内容一覧」欄から必要なドライバを探します。「適応機種」欄で、お使いの機種に対応しているか（●がついているか）どうかを確認してください。

2 「フォルダ / ファイル名」欄で、ドライバが入っているフォルダ名を確認します。

ドライバを更新するときはこのフォルダを開き、 (readme) または (install) というファイルをクリックして参照してください。インストールに必要な注意事項や手順が書かれています。

インストール手順ファイル ( (readme) または (install)) を参照してドライバを更新するとき、次の点に気をつけてください。

- ・ドライバは「更新」の手順に従ってください。
- ・フロッピーディスクを使用するように記述されていても、添付のディスクをお使いください。

## その他

プリンタなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。



# セーフモードで起動する

パソコンに何らかのトラブルが発生したときに、Windows をセーフモードで起動すると、最小限の機能で起動できます。次の手順に従って操作してください。

- 1 キーボードの [F8] の位置を確認し、押せるように準備しておきます。
- 2 パソコンの電源を入れます。  
電源が入っている場合は再起動します。
- 3 FUJITSU のロゴ画面が表示されたらすぐに [F8] を押します。

## POINT

### [F8] を押すのが遅かった場合

セーフモードではなく、通常の状態で Windows が起動します。  
次の操作を行い、手順 3（[F8] を押す）からやり直してください。  
1. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。  
2. 「再起動」をクリックします。  
Windows が再起動します。

- 4 [↑][↓] で「セーフモード」を選択し、[Enter] を押します。

## POINT

### 「前回正常起動時の構成」とは

前回正常に Windows が起動したときの設定が保存されています。  
原因がよくわからない場合は、こちらを選択することをお勧めします。

- 5 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、[Enter] を押します。  
この後、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Owner」をクリックします。
- 6 メッセージを確認し、「はい」をクリックします。  
セーフモードで起動します。

6

トラブルかなと思つたら( Q & A )

## POINT

### [F8] を押しても Windows が起動してしまう場合

次の操作でセーフモードにすることもできます。

- ・セーフモードで起動する

1. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

2. 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。

`msconfig`

3. 「システム構成ユーティリティ」ウィンドウが表示されたら、「BOOT.INI」タブをクリックします。

4. 「ブートオプション」で「/SAFEBOOT」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。

5. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。

Windows が再起動します。この後、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Owner」をクリックします。

6. メッセージを確認し、「はい」をクリックします。

セーフモードで起動します。

- ・セーフモードから通常の状態に戻す

1. この POINT 内の「セーフモードで起動する」の手順 1、2 を実行します。

2. 「システム構成ユーティリティ」ウィンドウが表示されたら、「全般」タブをクリックします。

3. 「スタートアップの選択」で「通常スタートアップ」の○をクリックして◎にし、「OK」をクリックします。

4. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。

Windows が再起動します。

セーフモードで起動しても問題が見つけられず、Windows が正常に起動しない場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」(☞ P.167) をご覧ください。



# Windows が起動できないときにデータをバックアップする (かんたんバックアップレスキュー)

Windows が起動できない場合は、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」の「かんたんバックアップレスキュー」を使用して、大事なデータのバックアップを行うことができます。次の手順に従って操作してください。

- 1 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」の手順 1～7  
( $\rightarrow$  P.179) を行います。
- 2 リカバリ＆ユーティリティメニューで、「ユーティリティ」タブをクリックします。

## 重要

### 「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示された場合

まれに、リカバリ＆ユーティリティメニューが表示されず、「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されてしまうことがあります。

このときは、必ず「キャンセル」をクリックし、手順 1 からやり直してください。

- 3 「かんたんバックアップレスキュー」をクリックし、「実行」をクリックします。
- 4 「かんたんバックアップレスキューのワンポイント」ウィンドウの内容を確認し、「閉じる」をクリックします。
- 5 「項目を選択して保存を実行」をクリックします。
- 6 「保存するユーザー プロファイル フォルダを選択してください」ウィンドウで、データを保存したい [ユーザー プロファイル フォルダ] をクリックし、「OK」をクリックします。
- 7 「保存する内容」の一覧から、バックアップしたい項目の□をクリックして☑にします。  
すでに☑になっている場合は、クリックする必要はありません。

## POINT

### お客様が作成したファイルやフォルダを保存したい場合

「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウの「項目の編集」をクリックし、「追加」をクリックすると、バックアップするファイルやフォルダを追加することができます。



- 8 「保存データ格納先」が「D:\PE\_BACKUP\【手順 6 で選択したユーザー プロファイル フォルダ】」になっているか確認します。

バックアップしたデータは D ドライブに保存されます。

- 9 「データの保存開始」をクリックします。

- 10 「かんたんバックアップレスキュー保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「開始」をクリックします。

- 11 「かんたんバックアップレスキュー保存結果」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。

- 12 「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウで「終了」をクリックします。

リカバリ & ユーティリティメニューに戻ります。

## POINT

### 複数のユーザーアカウントでお使いの場合

必要に応じて、他のユーザーのデータもバックアップしてください。バックアップを行わないとデータが消えてしまいます。他のユーザーのデータをバックアップするには、再度手順 3 から操作し直してください。手順 6 で他のユーザー プロファイル フォルダを選択し、そのまま操作を続けてください。

これでデータのバックアップは終了です。パソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（[P.167](#)）をご覧ください。

パソコンをご購入時の状態に戻した後、バックアップしたデータをお使いになるには、「FM かんたん バックアップ」というソフトウェアが必要です。詳しくは、「FM かんたん バックアップ」でファイルを復元する」（[P.104](#)）をご覧ください。



# BIOS をご購入時の状態に戻す

Windows が起動しないときなど、BIOS セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

## DESKPOWER の場合

- 1 キーボードの **[F2]** の位置を確認し、押せるように準備しておきます。
- 2 パソコンの電源を入れます。
- 3 FUJITSU のロゴ画面が表示されたら **[F2]** を押します。  
[F2] を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。  
タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しない場合は、次の操作を行ってください。
  - ・ Windows が起動した場合  
Windows を再起動して、手順 3 から操作をやり直してください。
  - ・ Windows が起動しない場合  
電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度最初から操作をやり直してください。
- 4 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで **[Enter]** を押します。
- 5 **[Y]** を押す、または「はい」を選んで **[Enter]** を押します。

### ※ 重要

#### インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方

- 「インスタント MyMedia」の設定が必要です。次の手順を行ってください。
1. 「詳細」メニュー→「インスタント MyMedia」の順に選んで **[Enter]** を押します。
  2. 「使用する」を選んで **[Enter]** を押します。
  3. 「終了」メニューを選びます。

- 6 「変更を保存して終了する（再起動）」を選んで **[Enter]** を押します。
- 7 **[Y]** を押す、または「はい」を選んで **[Enter]** を押します。

Windows が起動します。

6

トラブルかなと思つたら(Q&A)

## BIBLO の場合

1 キーボードの [F2] の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

2 パソコンの電源を入れます。

3 FUJITSU のロゴ画面が表示されたら [F2] を押します。

[F2] を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しない場合は、次の操作を行ってください。

・ Windows が起動した場合

Windows を再起動して、手順 3 から操作をやり直してください。

・ Windows が起動しない場合

電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度最初から操作をやり直してください。

### POINT

BIBLO NXシリーズ、MGシリーズ、LOOX Pシリーズ、NF40T、NF40TN、NB70T、NB50T、NB70TNをお使いの方は

次の方法でも、BIOS セットアップが起動できます。

1. FUJITSU のロゴ画面が表示されている間に、[Enter] を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

2. [↓] を押して「BIOS セットアップ」を選択し、もう一度[Enter] を押します。

しばらくすると、BIOS セットアップが起動します。

4 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで [Enter] を押します。

5 「はい」を選んで [Enter] を押します。

6 「変更を保存して終了する」を選んで [Enter] を押します。

7 「はい」を選んで [Enter] を押します。

Windows が起動します。



# 7

## 第7章

### パソコンをご購入時の状態に戻す (リカバリ)

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明します。

いきなり「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行せず「リカバリとは」「リカバリの準備」を必ず読んでから作業を始めてください。

1	リカバリとは .....	168
2	リカバリの準備 .....	173
3	リカバリを実行する .....	178
4	以前の環境に近づける .....	195
5	「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使ってできること ..	199
6	カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は .....	203
7	補足情報 .....	206

# リカバリとは

リカバリとは、「リカバリ&ユーティリティディスク」、「アプリケーションディスク」などからご購入時のデータをインストールし直し、パソコンをご購入時の状態に戻すことです。

リカバリをすると、設定などがすべてリセットされるので、原因が特定できない不具合が解消されることがあります。

リカバリをするときは、以降の記載をお読みになり、あらかじめリカバリについて理解しておきましょう。

## リカバリをする前にもう一度確認

リカバリをすると、それまでパソコン内にあったデータや設定が削除されます。

次のような方はリカバリをしないで問題が解決できる場合がありますので、もう一度確かめてください。

### ■パソコンに起こったトラブルを解決したい方

どうしてもリカバリが必要か、もう一度確認してください。

「パソコンにトラブルが起こったときは」（ P.112）

### ■削除したソフトウェアをインストールし直したい方

ソフトウェアの再インストールのためにリカバリをする必要はありません。

#### 参照

▼添付のソフトウェアのインストール方法



『画面で見るマニュアル』「200230」で検索

→「FMV かんたんインストール」

### ■ドライバを更新したい方

必要なドライバがわかっている場合、特定のドライバを更新するためにリカバリをする必要はありません。

ドライバの更新については「ドライバを更新する」（ P.159）をご覧ください。

### ■廃棄・譲渡の前に、個人情報を消したい方

ハードディスクの情報を消すことが目的の方は、リカバリではなく「ハードディスクデータ消去」を行ってください。

「ハードディスクデータ消去」については、「ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて」（ P.214）をご覧ください。



## ■「インスタント MyMedia」のトラブルを解決したい方【「インスタント MyMedia」搭載機種のみ】

「インスタント MyMedia」搭載機種をお使いの方は、C ドライブをご購入時の状態に戻すことなく、「インスタント MyMedia」のみをリカバリすることができます。

詳しくは、「Q 「インスタント MyMedia」が起動しない、正しく動作しない [インスタント MyMedia 搭載機種]」(☞ P.125) をご覧ください。

## リカバリの種類

リカバリには目的によっていくつかの種類があります。次の表で、それぞれのリカバリの概要を説明します。

この章では、主にご購入時の状態に戻すリカバリの説明をしています。

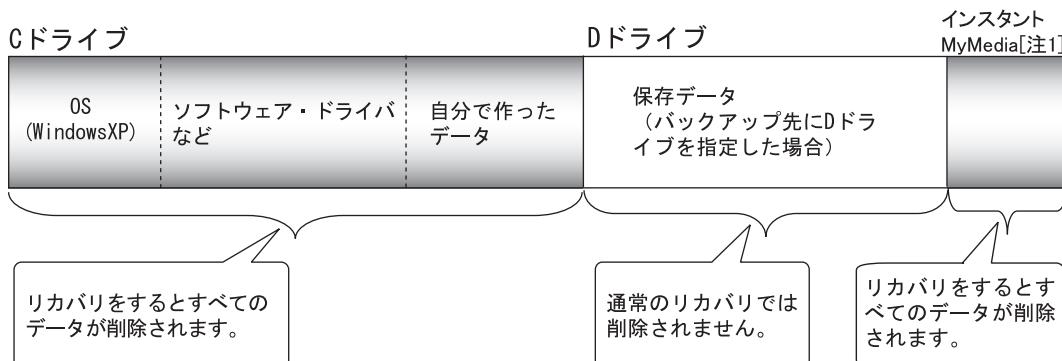
リカバリの種類	説明	参照ページ
ご購入時の状態に戻すリカバリ	C ドライブのデータがすべて削除され、パソコンがご購入時の状態に戻る。D ドライブのデータは残る。	「第 7 章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」
領域を変更するリカバリ	C ドライブ、D ドライブのデータがすべて削除され、ハードディスクの領域が変更される。	「第 7 章 パソコンをご購入時の状態に戻す」→「「リカバリ & ユーティリティディスク」を使ってできること」→「C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）」(☞ P.200)
「マイリカバリ」を使うリカバリ	C ドライブのデータがすべて削除され、パソコンが、「マイリカバリ」でディスクイメージの保存をした時点の状態に戻る。D ドライブのデータは残る。	「第 4 章 「マイリカバリ」を使う」(☞ P.79)

# ご購入時の状態に戻すリカバリの考え方

リカバリをして、パソコンをご購入時の状態に戻すまでにどんな作業が必要か、簡単に説明します。次のイメージ図をご覧になり、流れを理解しましょう。

## ハードディスクの領域

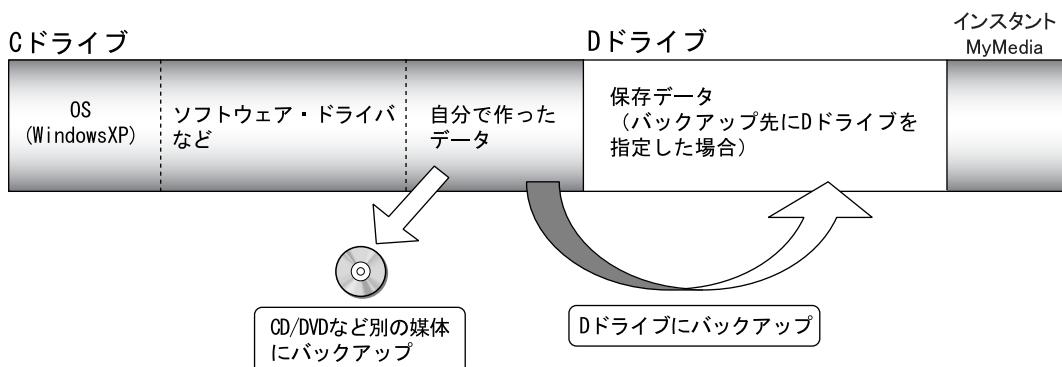
このパソコンのハードディスクは、C ドライブと D ドライブの 2 つの領域があります。  
「インスタント MyMedia」搭載機種では、さらに「インスタント MyMedia」専用の領域があります。



注1:「インスタント MyMedia」搭載機種のみ

## ①リカバリ前にすること (⇒ P.173)

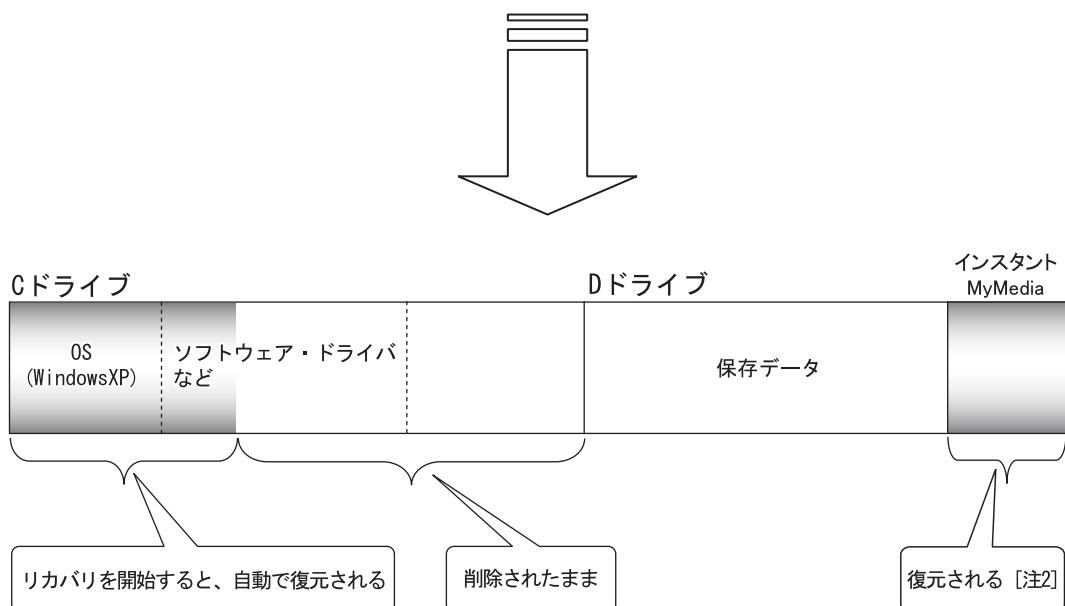
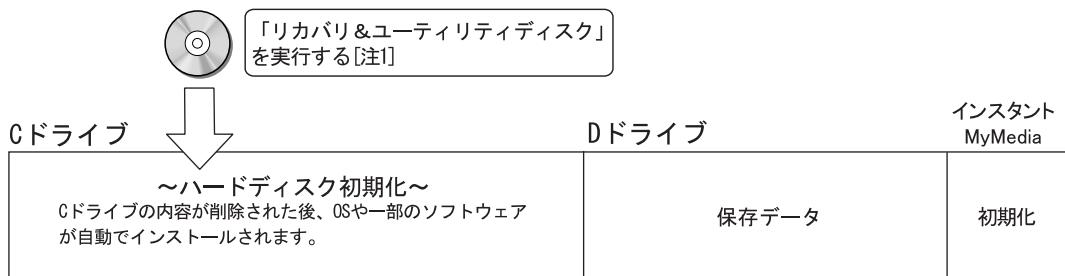
C ドライブのデータを CD/DVD など別の媒体や D ドライブにバックアップします。



## ②リカバリ実行（ハードディスクの初期化～ご購入時の状態に戻るまで）

### ■「リカバリ＆ユーティリティディスク」の実行（…▶ P.178、…▶ P.203）

ハードディスクを初期状態にし（データは削除されます）、Windows をインストールし直します。ドライバやいくつかのソフトウェア、「インスタント MyMedia」は、このときいっしょに再インストールされます。



すべてのソフトウェアを再インストールする必要のない場合は、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」からのインストールだけでリカバリを終了してもかまいません。

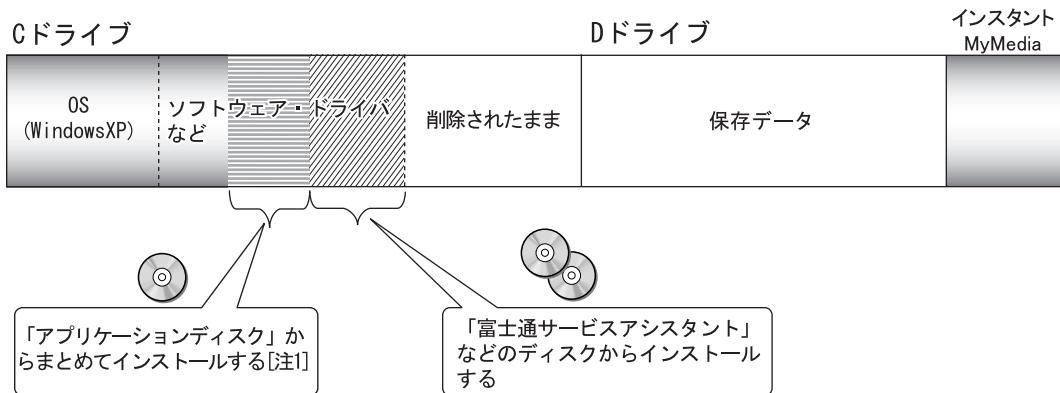
ただしこの場合も、「!  
必ず実行してください」を実行するなど、パソコンを動かすのに重要な設定を行なう必要があります。

注 1 : ◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」の実行時には、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」だけではなく、◎「アプリケーションディスク 2」も必要になります。

注 2 : 「インスタント MyMedia」の復元には、◎「インスタント MyMedia リカバリディスク」が必要になります。

## ■残りのソフトウェアのインストール (⇒ P.187)

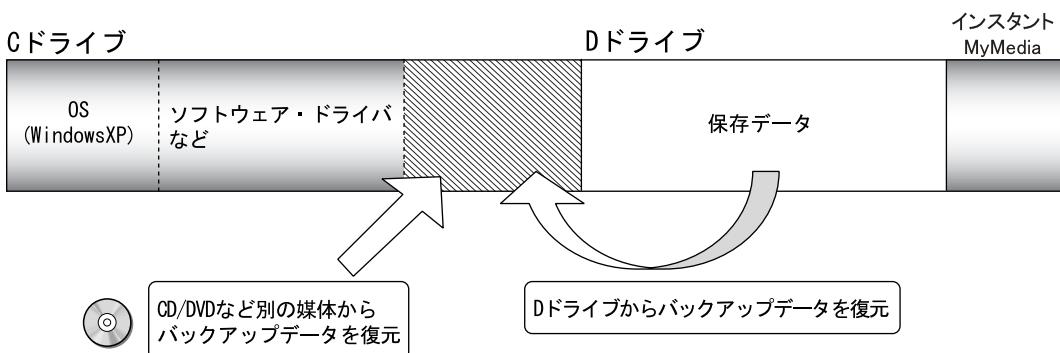
◎「リカバリ&ユーティリティディスク」では復元されないソフトウェアを添付のディスクからインストールします。



注1:BIBLO LOOX Pシリーズは、◎「アプリケーションディスク」からインストールするソフトウェアはありません。

## ③以前使っていた状態に戻す(ご購入時の状態に戻った後) (⇒ P.195)

バックアップ先から、データを元の場所に戻します。



## 2

## リカバリの準備

リカバリをする前に、ここに書かれていることを必ず確認し、準備してください。

 **重要**
**トラブル解決が目的でリカバリをする方**

リカバリをしても、問題が解決されない場合があります。その場合は、状況に応じたサポートやサービスをご利用ください。

 **参照**

▼状況に応じたサポートやサービスをご利用いただくには

『サポート&サービスのご案内』

**C ドライブのみを購入時に戻します**

この章で説明する手順では、C ドライブだけをご購入時の状態に戻します。D ドライブの内容は残ります。

「インスタント MyMedia」搭載機種では、「インスタント MyMedia」もご購入時の状態に戻ります。

 **POINT**
**リカバリやバックアップの操作代行サービス（有償）をご用意しています**

富士通パソコン出張サービス「PC 家庭教師」をご利用ください。

 **参照**

『サポート&サービスのご案内』

→「操作指導サービス」→「富士通パソコン出張サービス「PC 家庭教師」（有料）【富士通パーソナルズ】」

# バックアップをする

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。

重要なデータは、お客様の責任において、D ドライブや CD/DVD など別の媒体にバックアップをしてください。なお、バックアップできない設定情報やファイルがあった場所などは、リカバリ後のこと考えて、メモなどに控えておくとよいでしょう。

バックアップをしないでリカバリをし、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。

バックアップ方法については、「バックアップで大切なデータを守る」(☞ P.95) をご覧ください。

## ■ 重要

### 不具合が起きてからバックアップをするときは

パソコンに不具合が起きてからリカバリをする場合は、「FM かんたんバックアップ」ではバックアップをしないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。

この場合は、「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしてください。「かんたんバックアップレスキュー」の使い方については、「Windows が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュー）」(☞ P.163) をご覧ください。

## リカバリをする前に気をつけておくこと

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行してご購入時の状態に戻す前に、次の項目を確認してください。

### ■ リカバリの動作環境は満たしていますか？

リカバリをしてご購入時の状態に戻すには、ハードディスクドライブ（C ドライブ）が次の条件を満たしている必要があります。

- ・ ファイルシステムが NTFS に設定されている
- ・ 容量が以下の数値になっている
  - 15GB…BIBLO LOOX P70T/V、LOOX P70TN でハードディスク容量を 30GB に選択した方
  - 30GB…上記以外の機種

なお、ご購入時からシステムの変更や容量の変更をしていない方は、この設定になっています。

## POINT

### ファイルシステムを FAT32 に変更している方は

ファイルシステムを FAT32 に変更されている方でも、ハードディスクの領域を変更すれば、リカバリを実行できます。ただし、ファイルシステムは NTFS に変更されます。

領域を変更するには、「C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）」(☞ P.200) をご覧ください。



## ■AC アダプタを使用していますか？【BIBLO】

BIBLOをお使いの方は、必ずACアダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

### 参照

▼ ACアダプタの取り付け方

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「ACアダプタを接続する」

## ■添付のディスプレイ、キーボード、マウス以外は取り外してください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器は取り外してください。また、セットしたPCカードなどもすべて取り外してください。アンテナケーブルやLANケーブル、モデムに接続した電話線などもすべて抜いてください。マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

【BIBLOをお使いの方でUSBマウス（光学式）が添付されている場合】

添付のUSBマウス（光学式）は接続しないでください。

### POINT

#### 周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。パソコンの各コネクタに接続されたり、パソコン本体の内部に取り付けられていたりします。

## ■メモリーカードやフロッピーディスクは取り出してください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、メモリーカードやフロッピーディスク（フロッピーディスクドライブ搭載の機種をお使いの方のみ）をセットしたままにせず、取り出してください。マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

## ■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

ソフトウェアのインストールなどでファイルをコピーしている間は、他の操作をしないでください。次の画面が表示されるのに時間がかかる場合があります。むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、インストールが正常に終了しない場合があります。

## ■時間に余裕をもって作業しましょう

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも3時間はかかります。

半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

# 作業中に起こる可能性のあるトラブル

◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行するときやソフトウェアをインストールするときに、次のようなトラブルが起こる可能性があります。

## ■画面が真っ暗になった

省電力機能が働いた可能性があります。

### 【DESKPOWERの場合】

マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押してください。または、キーボードの  
↑ ↓ ← → や [Shift] を押してください。

### 【BIBLOの場合】

フラットポイントの操作面やスティックポイントに触れるか、キーボードの [Shift] などを押してください。

それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。

## ■電源が切れない

電源（パソコン電源）ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ってください。

# ディスクを用意する

ご購入時の状態に戻す作業には、このパソコンに添付のディスクを使います。

### 【富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルで、ご購入時にスタンダードセットを選択した場合】

この先は「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は」（ $\cdots\blacktriangleright$  P.203）をご覧ください。

お使いのモデルがカスタムメイドモデルかどうかわからない場合は「カスタムメイドモデルについて」（ $\cdots\blacktriangleright$  P.8）をご覧ください。

## ■機種名（品名）・モデル名を確認する

お使いのパソコンによって、添付されているディスクや作業などが異なります。まずは、機種名（品名）・モデル名などを確認してください。

### 参照

□『スタートガイド1 設置編』



## ■ディスクを準備する (カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く)

このパソコンに添付のディスクから、次のディスクを用意してください。

- ⑩リカバリ&ユーティリティディスク / アプリケーションディスク 1
- ⑩インスタント MyMedia リカバリディスク [注 1]
- ⑩アプリケーションディスク 2
- ⑩富士通サービスアシスタント
- ⑩Office 2003 のパッケージ [注 2]
- ⑩プロアトラス SV2 for FUJITSU

⑩「リカバリ&ユーティリティディスク / アプリケーションディスク 1」は、このマニュアルで次のように表記されている場合があります。

- ⑩「リカバリ&ユーティリティディスク」
- ⑩「アプリケーションディスク 1」

これらの表記があった場合は、いずれも⑩「リカバリ&ユーティリティディスク / アプリケーションディスク 1」のことを示しています。

注 1: 「インスタント MyMedia」搭載機種のみ添付されています。

注 2: BIBLO LOOX P70T/V を除く。

ディスクの確認が終わったら、次の「リカバリを実行する」(⇒ P.178) をご覧ください。

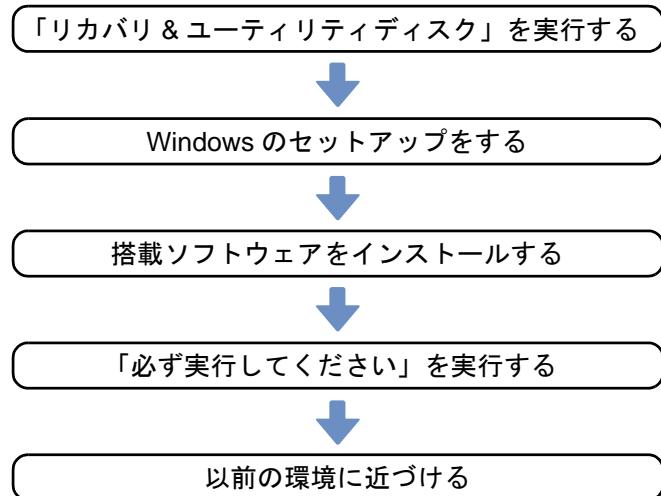
# リカバリを実行する

ハードディスクの C ドライブの内容を、ご購入時の状態に戻します。

## リカバリの流れ

リカバリの実際の手順は、次の作業を連続して行います。

機種によって細かい手順は異なりますが、大枠の流れは次のとおりです。



# 「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行する

準備ができたら◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行します。ハードディスクのCドライブの内容がいったんすべて消去され、◎「リカバリ&ユーティリティディスク」からWindowsがインストールされてご購入時の状態に戻ります。また、このときいくつかのソフトウェアもインストールされます。

## ハードディスクを初期状態に戻す

### 重要

#### ディスクは途中で取り出さないでください

◎「リカバリ&ユーティリティディスク」実行中は、リカバリの完了メッセージが表示されるまで、セットされているディスクを取り出さないでください。リカバリが中断されることがあります。

#### リカバリが中断されてしまったら

リカバリが中断されてしまった場合は、以下の点を確認した後、次の手順1からやり直してください。

- 周辺機器を取り外したか確認してください。  
パソコンの電源を切り、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器はすべて取り外してください。
- 手順を確認してください。  
手順を間違えている可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

#### 外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体のUSBコネクタ、またはIEEE1394(DV)端子に、外付けハードディスクなどを接続している場合は、リカバリを行う前に必ず取り外してください。

外付けハードディスクが接続されていると、リカバリが行えません。

#### DESKPOWER LXシリーズの無線LAN(PCカードタイプ)搭載機種の方

搭載されていた無線LAN(PCカードタイプ)を取り外している場合は、必ずパソコン本体にセットしてからリカバリを行ってください。リカバリを行うときは、搭載されていた無線LAN(PCカードタイプ)を、あらかじめパソコン本体にセットしておく必要があります。

#### BIBLO LOOX Pシリーズをお使いの方

DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニットをご用意ください。

P70TNでスーパーマルチドライブを選択した方は、スーパーマルチドライブユニットをご用意ください。

- 1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
- 2 キーボードの[F12]の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

### 3 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面が表示されたら、すぐに [F2] を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。



#### 起動メニューが表示されないときは

[F2] を押すタイミングが合わないと、Windows が起動してしまいます。パソコンの電源を切り、「ハードディスクを初期状態に戻す」の手順 1 (☞ P.179) からやり直してください。

FUJITSU のロゴ画面が表示されずに、Windows が起動してしまう場合は、パソコンの電源を入れたらすぐに [F2] を押してください。



#### BIBLO NXシリーズ、MGシリーズ、LOOX Pシリーズ、NF40T、NF40TN、NB70T、NB50T、NB70TNをお使いの方は

次の方法でも、起動メニューが表示できます。

1. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに [Enter] を押します。
2. ポップアップメニューが表示されます。
3. [↓] を押して「起動メニュー」を選択し、もう一度 [Enter] を押します。  
しばらくすると、起動メニューが表示されます。

### 4 ④「リカバリ&ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

### 5 [↓] を押して「CD／DVD」や「CD-ROM ドライブ」などを選択し、[Enter] を押します。

下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

起動メニュー
1. Floppy Disk Drive: 2. HDD0: 3. CD/DVD: 4. NETWORK: 5. USB MO:  <マイリカバリ> <BIOSセットアップを起動する>

カーソルを合わせる  
(文字の色が変わります)

起動メニュー
1. +フロッピーディスクドライブ 2. +ハードディスクドライブ 3. CD-ROM ドライブ  <マイリカバリ> <BIOSセットアップを起動>

カーソルを合わせる  
(文字の色が変わります)



## 6 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、使用許諾が表示されます。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかつたりすることがあります。故障ではありません。手順 7 の画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

### ※ 重要

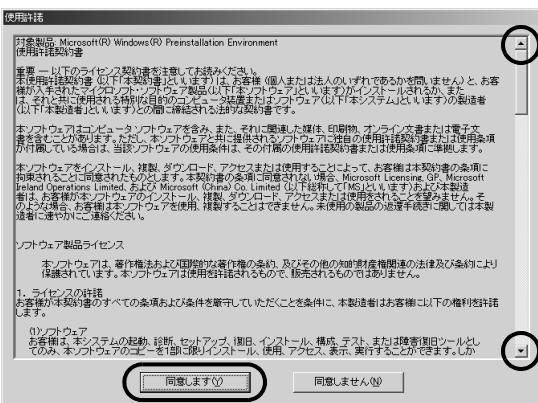
#### 使用許諾が表示されないときは

ディスクを取り出し、ディスクが間違っていないか確認してください。

確認後、**[Ctrl]** と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を押し、再起動してください。

その後、「ハードディスクを初期状態に戻す」の手順 3 (⇒ P.180) からやり直してください。

## 7 マウス、フラットポイント、または左ボタンを使って ▲ ▼ をクリックしてスクロールし、内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、「同意します」をクリックします。

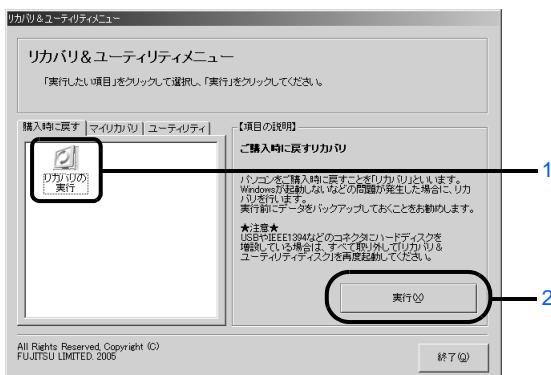


### POINT

#### マウス、フラットポイント、またはスクロールボタンのスクロール機能は使用できません

手順 7 の画面では、マウス、フラットポイント、またはスクロールボタンのスクロール機能は使用できません。**▲ ▼** をクリックして、文章を上下させてください。

## 8 リカバリ&ユーティリティメニューが表示されたら、1 「リカバリの実行」をクリックして選択し、2 「実行」をクリックします。

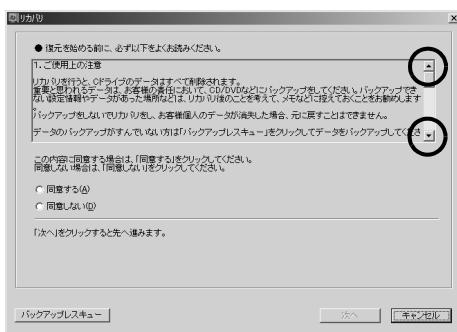


### 重要

#### 「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されてしまったら

まれに、リカバリ&ユーティリティメニューが表示されず、「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されてしまうことがあります。  
このときは、必ず「キャンセル」をクリックし、手順 1 (☞ P.179) からやり直してください。

## 9 ▲ ▼をクリックしてスクロールし、内容をよくお読みください。



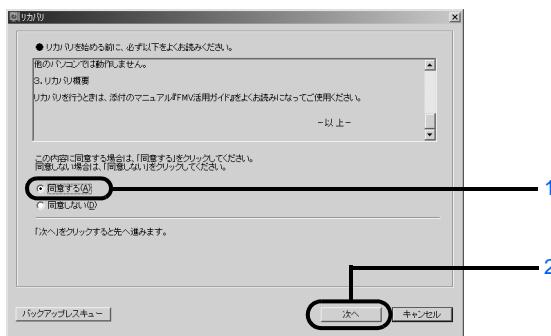
### POINT

#### マウス、フラットポイント、またはスクロールボタンのスクロール機能は使用できません

手順 9 の画面では、マウス、フラットポイント、またはスクロールボタンのスクロール機能は使用できません。▲▼をクリックして、文章を上下させてください。



## 10 ソフトウェアの使用条件に同意していただいた場合は、**1 「同意する」をクリックして、**2 「次へ」をクリックします。****

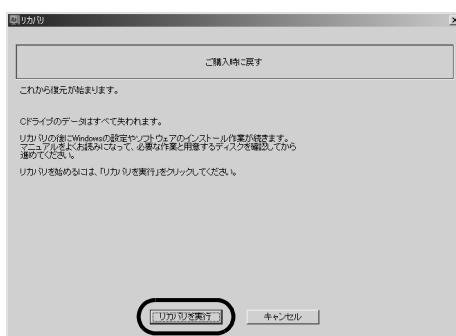


リカバリについて説明する画面が表示されます。

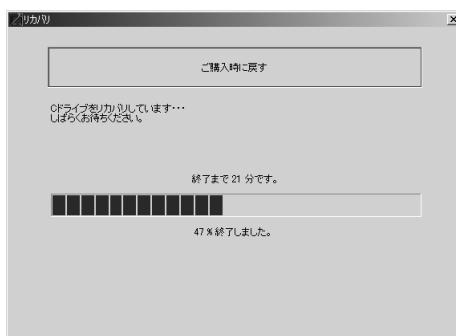
## 11 「次へ」をクリックします。

リカバリを開始して良いかどうか確認する画面が表示されます。

## 12 ご購入時の状態に戻す場合は、「リカバリを実行」をクリックします。



リカバリの進捗状況を示す画面が表示され、リカバリが始まります。



## 13 そのまましばらくお待ちください。

### 重要

#### インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方

続けて「インスタント MyMedia」のリカバリを行います。次の手順に従って操作してください。

1. 「CD/DVD ドライブにインスタント MyMedia リカバリディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を取り出し、◎「インスタント MyMedia リカバリディスク」をセットして、「OK」をクリックします。  
「インスタント MyMedia」のリカバリが始まり、進捗状況を示すウィンドウが表示されます。
2. 「続いて更新プログラムの確認を行います」と表示されたら、手順 14 へ進みます。

## 14 ◎「アプリケーションディスク 2」をセットし、「OK」をクリックします。

## 15 「OK」をクリックします。

Windows が再起動します。再起動するまでは、パソコンを操作せずお待ちください。

## 16 「Windows のセットアップをする」(⇒ P.184) へ進みます。

## Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。ここでは手順のみを説明します。

### 参照

#### ▼ セットアップ時の注意事項

#### 『スタートガイド2 セットアップ編』

→ 「Windows のセットアップ」 → 「初めて電源を入れる～Windows のセットアップ」

## 1 「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがあります。故障ではありません。手順 2 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

その後、ご購入後初めて電源を入れたときのように Windows のセットアップが始まります。



- 2 「Microsoft Windowsへようこそ」という画面が表示されたら、「次へ」の右の  をクリックします。**



- 3 「使用許諾契約」という画面が表示されたら、内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は「同意します」をクリックして  にし、「次へ」の右の  をクリックします。**
- 4 「コンピュータを保護してください」という画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして  にし、「次へ」の右の  をクリックします。**

- 5 「コンピュータに名前を付けてください」という画面が表示されたら、「次へ」の右の  をクリックします。**

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

Windows XP Home Editionの場合は、手順6、7の画面が表示されません。手順8へ進んでください。

- 6 「管理者パスワードを設定してください」という画面が表示されたら、「次へ」の右の  をクリックします。**
- ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。
- 7 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」という画面が表示されたら、「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の左が  になっていることを確認し、「次へ」の右の  をクリックします。**
- ドメインは後から設定できます。詳しくは Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。
- 8 「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示されたら、「省略」の右の  をクリックします。**

この画面ではなく、「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示された場合は、「省略」の右の  をクリックし、次の手順に進みます。インターネット接続の設定は、ご購入時の状態に戻す作業が終わってから行います。

9

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか?」という画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして①にし、「次へ」の右の▣をクリックします。

この画面ではなく、「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」という画面が表示された場合は、「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして②にし、「次へ」の右の▣をクリックします。

10

「設定が完了しました」という画面が表示されたら、画面に表示されているメッセージを確認してから、「完了」の右の▣をクリックします。

「・・・マニュアル「スタートガイド 2 セットアップ編」に従い・・・」と表示されていますが、のままこのマニュアルに従って操作を続けてください。

Windows が再起動します。

手順 11 のメッセージが表示されるまで、少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

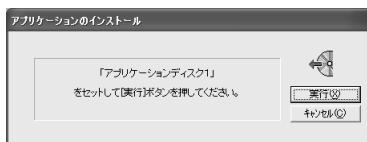
#### ■BIBLO LOOX P シリーズをお使いの方

BIBLO LOOX P シリーズをお使いの方は、手順 11 以降の操作は必要ありません。画面の指示に従って、「富士通サービスアシスタント」をインストールしてください。

インストールが終了したら、「必ず実行してください」を実行する(⇒ P.193)に進んでください。

11

「[アプリケーションディスク 1] をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「搭載ソフトウェアをインストールする①」(⇒ P.187) へ進みます。



#### POINT

##### カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は

「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は」の手順 2(⇒ P.204) へ進んでください。

カスタムメイドモデルかどうかわからない場合は「カスタムメイドモデルについて」(⇒ P.8) をご覧ください。

##### ソフトウェアをインストールしなくてもお使いになれます

ここから先の手順は、主にソフトウェアのインストールの手順になります。

ご購入時と同じ状態にせず、ソフトウェアをインストールしなくても、パソコンはお使いになりますが、パソコンを動かすための重要な設定は必ず行う必要があります。

ソフトウェアをインストールせずにパソコンをお使いになる方は、「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は」の手順 2(⇒ P.204) へ進んでください。



# 搭載ソフトウェアをインストールする①

Windows のセットアップが完了した後は、まだインストールされていない複数のソフトウェアを、「FM かんたんインストール」を使ってインストールします。

ソフトウェアのインストール中は、メッセージが表示されるまで、◎「アプリケーションディスク」を入れ替えないでください。トラブルの原因になる場合があります。

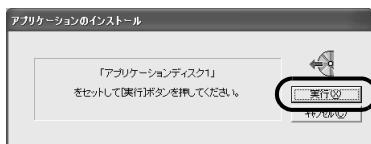
## POINT

「・・・ Windows が実行する動作を選んでください。」というウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・ Windows が実行する動作を選んでください。」というウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

メッセージについては、「Q 「・・・ Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された」(⇒ P.148) もあわせてご覧ください。

- 1 現在セットされているディスクを取り出し、◎「アプリケーションディスク1」をセットします。
- 2 「実行」をクリックします。



「FM かんたんインストール」 ウィンドウが表示されます。

## POINT

手順2で「キャンセル」をクリックした方は必ず「!  
必ず実行してください」を実行してください

手順2で「キャンセル」をクリックすると、「搭載ソフトウェアをインストールする②」(⇒ P.190) の手順に進みます。ソフトウェアをインストールするかどうかはご自身で判断してください。その後は、「必ず実行してください」を実行する」の手順3(⇒ P.204) へ進んで、パソコンを動かすのに重要な設定を必ず行ってください。

### 3 「標準」をクリックします。

「標準」をクリックすると、ご購入時にインストールされていたソフトウェアが一括で選択されます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

### 4 「開始」をクリックします。

### 5 「インストールを開始します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。そのまましばらくお待ちください。

手順 6 の「FM kanban install [処理結果]」ウィンドウが表示されるまで、画面上で操作したり、クリックしたりしないでください。



インストールの進行状況が表示されます



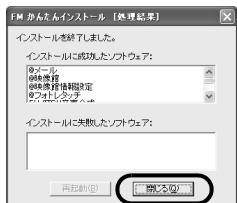
#### 「JRAIL」というウィンドウが表示されたときは

「FM kanban install」の「標準」ボタンでソフトウェアのインストールをしているとき、しばらくすると「JRAIL」というウィンドウが表示される場合があります。正常に動作していますので、何も操作はせず、そのままお待ちください。自動でインストールが終了し、元の画面に戻ります。

インストールが終了すると、「FM kanban install [処理結果]」ウィンドウが表示されます。



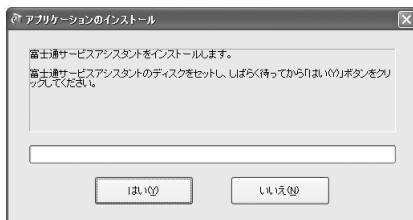
## 6 結果を確認し、「閉じる」をクリックします。



- 7 「FM かんたんインストール」ウィンドウで「終了」をクリックします。
- 8 「「アプリケーションディスク 2」をセットして【実行】ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、ディスクを入れ替えます。
- 9 「実行」をクリックします。

## 10 手順 3 ~ 7 に従って操作します。

「FM かんたんインストール」が終了し、ソフトウェアのインストールを手助けするウィザードが表示されます。



(機種により表示されるソフトウェアの種類は異なります)

## 11 セットしてあるディスクを取り出します。

「搭載ソフトウェアをインストールする②」(⇒ P.190) に進みます。

## 搭載ソフトウェアをインストールする②

ここからは、「FM かんたんインストール」でインストールされなかった搭載ソフトウェアを、インストールを手助けするウィザードに従って、個別にインストールします。

ウィザードには、次にインストールするソフトウェア名と用意するディスク名が表示されます。ソフトウェア名とディスク名を確認しながらインストールしてください。

### ここでインストールするソフトウェアと使用するディスク

お使いの機種により、ご購入時にインストールされていたソフトウェアは異なります。

必要なソフトウェアを次の表でご確認ください。

ソフトウェア名	インストールが必要な機種	使用するディスク
サービスアシスタント	全機種	◎ 富士通サービスアシスタント
Office 2003、Home Style <sup>+</sup>	全機種 [注 1]	◎ Office 2003 のパッケージ
プロアトラス SV2 for FUJITSU	全機種 [注 2]	◎ プロアトラス SV2 for FUJITSU

注 1 :BIBLO LOOX P70T/V、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く

注 2 :BIBLO LOOX Pシリーズ、カスタムメイドでスタンダードセットを選択した方を除く

### ソフトウェアを個別にインストールする



「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というウィンドウが表示されたときは

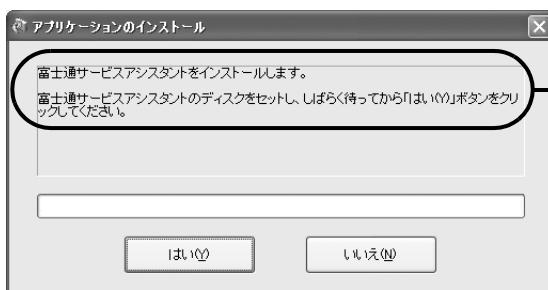
ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

メッセージについては、「Q 「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された」(▶ P.148) もあわせてご覧ください。

#### 1 ウィザードが表示されていることを確認します。

ウィザードが表示されていない場合は、「補足情報」(▶ P.206) をご覧になり、ソフトウェアをインストールしてください。

#### 2 ウィザードに表示されているディスクをセットします。



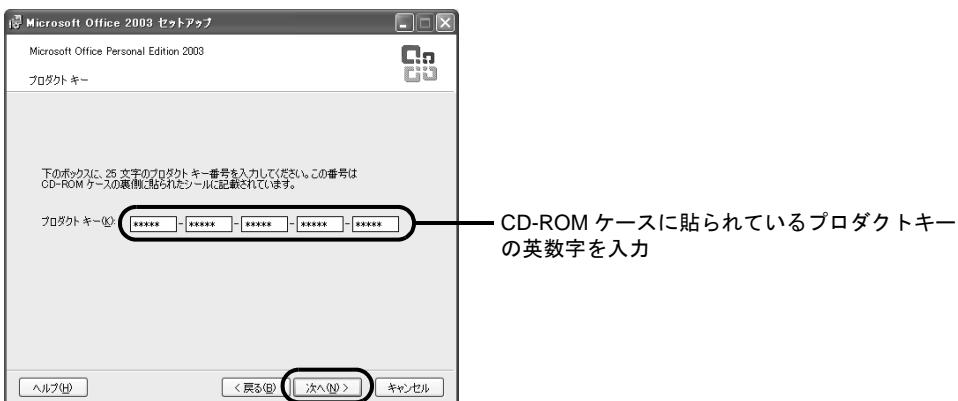
ここを確認し、インストールするソフトウェアとセットするディスクを判断します。

この場合は、◎「富士通サービスアシスタント」をセットします。



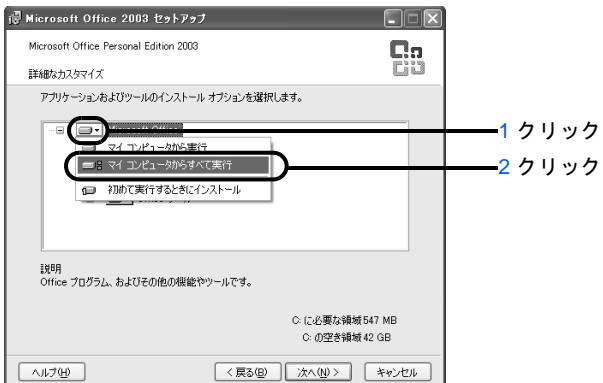
- 3 「はい」をクリックします。  
ソフトウェアのインストールが始まります。
- 4 「Microsoft Office…をインストールします」と表示されたら、◎「Office 2003のCD-ROM」をセットし、「はい」をクリックします。  
プロダクトキーを入力する画面が表示されます。

- 5 「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。

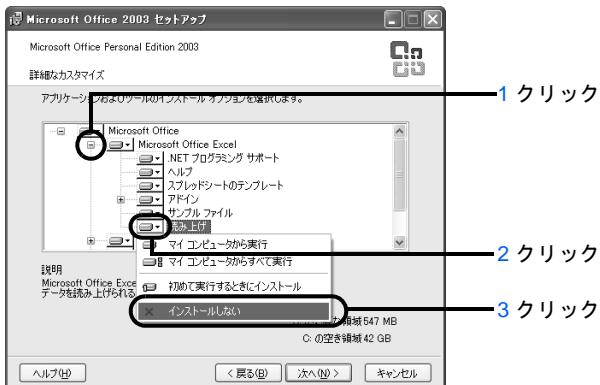


(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 6 必要に応じて「ユーザー名」「頭文字」「所属」を入力し、「次へ」をクリックします。
- 7 「カスタム インストール」をクリックして◎にし、「次へ」をクリックします。
- 8 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。
- 9 1 「Microsoft Office」の左の□をクリックし、2 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。



10 1 Microsoft Office Excel の左の□をクリックして□にします。2 「読み上げ」の左の□をクリックし、3 「インストールしない」をクリックします。



11 1 Office共有機能 の左の□をクリックして□にし、2 入力システムの拡張 の左の□をクリックして□にします。3 「音声」の左の□をクリックし、4 「インストールしない」をクリックします。



12 「次へ」をクリックします。

13 「ファイルの概要」ウィンドウで「完了」をクリックします。

インストールが始まります。

しばらくすると「Microsoft Office 2003 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

14 「セットアップの完了」ウィンドウで「完了」をクリックします。

15 「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示されるまで、手順 2～3 を繰り返します。

「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示されたら、現在セットされているディスクを取り出してください。

BIBLO LOOX P シリーズをお使いの方は、「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」というメッセージは表示されません。ディスクを取り出して、手順 18 に進んでください。



## 16 「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示されたら、「はい」をクリックします。

デスクトップのショートカットアイコンが削除され、「パソコンの設定」ウィンドウが表示されます。

## 17 「OK」をクリックします。

## 18 「必ず実行してください」を実行する（[P.193](#)）に進みます。

この後は、「必ず実行してください」を実行します。

「必ず実行してください」は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。必ず実行してください。

## 「必ず実行してください」を実行する

「必ず実行してください」は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。ソフトウェアをすべてインストールした後に、最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

### 1 「実行する」をクリックします。

パソコンの初期設定が始まります。「保証期間表示」ウィンドウが表示されるまで、そのままお待ちください。

#### POINT

「診断センターにお問い合わせください」の画面が表示されたときは  
画面の指示に従ってください。

### 2 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。

再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

### 3 「OK」をクリックします。

画面がいったん暗くなり、Windows が再起動します。

#### POINT

##### インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方

「インスタント MyMedia」のセットアップが始まります。

設定中は、画面が真っ暗になったり、「インスタント MyMedia」の画面が表示されたりします。

セットアップには時間がかかりますが、Windows が再起動されるまでそのままお待ちください。

## BIBLO をお使いの方

指紋認証をお使いになる場合は、あらかじめ準備が必要です。終了後、再びこのマニュアルの手順に戻ります。

### 参照

▼ 指紋認証をお使いになる場合

『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「指紋認証を使う」

この後、「パソコン準備ばっちりガイド」が起動します。ここでは「パソコン準備ばっちりガイド」は利用しません。

- 4 「あとで実行」をクリックし、「パソコン準備ばっちりガイドを終了します。」というメッセージで「はい」をクリックします。  
「パソコン準備ばっちりガイド」を終了します。

## 「Virtual CD」をご購入時と同じ設定にする (BIBLO MG シリーズ)

「Virtual CD」の常駐を解除します。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Virtual CD」→「Virtual CD マネージャー」の順にクリックします。
- 2 「Virtual CD マネージャー」ウィンドウで、「表示」メニュー→「環境設定」の順にクリックします。
- 3 「環境設定」ウィンドウで「各種設定」タブをクリックします。
- 4 「タスクトレイに Virtual CD アイコンを常駐する」のをクリックしてにします。
- 5 「OK」をクリックします。
- 6 「Virtual CD マネージャー」のウィンドウのをクリックして終了します。
- 7 画面右下の通知領域にある (Virtual CD) を右クリックし、「終了」をクリックします。



## 4 以前の環境に近づける

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行し、添付のディスクから必要なソフトウェアをインストールしたら、以前に使っていた環境に近づけましょう。

### POINT

#### ユーザー登録を再度行う必要はありません

リカバリの前に、お使いのパソコンのユーザー登録がお済みの方は、リカバリ後に再度ユーザー登録を行う必要はありません。

## 周辺機器を接続する

リカバリをする前に取り外した周辺機器やアンテナケーブルを接続し、それぞれのセットアップや設定を行います。

### 参照

▼ プリンタなどの周辺機器の接続

『画面で見るマニュアル』

→「6. 周辺機器の接続」

## ユーザーアカウントをリカバリ前の設定に戻す

1台のパソコンを複数のユーザーでお使いだった方は、「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」でリカバリ前の設定に戻します。

### 参照

▼ ユーザーアカウントの登録のしかた

『画面で見るマニュアル』» 「202150」で検索

→「ユーザーアカウントを登録する」

# ソフトウェアをインストールする

添付の「アプリケーションディスク」のソフトウェアや市販のソフトウェアなど、ご購入後にインストールしたソフトウェアは、改めてインストールする必要があります。

## 参照

- ▼「アプリケーションディスク」からのインストールの方法
- ↙『画面で見るマニュアル』»🔍「200230」で検索  
→「FMかんたんインストール」

他のソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

## POINT

### ソフトウェアをインストールした後は

ソフトウェアをインストールした後は、すぐにソフトウェアを使わず、Windowsを再起動してからお使いになることをお勧めします。

# バックアップしたファイルを復元する

D ドライブや CD/DVD など別の媒体にバックアップしたファイルを、バックアップしたときと同じ場所に戻します。1 台のパソコンを複数のユーザーで使用し、それぞれのユーザー名でログオンしてバックアップした方は、同じユーザー名で復元します。

バックアップしたファイルを復元する方法や注意事項などについては、次をご覧ください。

- ・「FMかんたんバックアップ」でファイルを復元する (⇒ P.104)
- 「FMかんたんバックアップ」をお使いになる前に (⇒ P.99) もあわせてご覧ください。
- ・コピーしてバックアップしたファイルを復元する (⇒ P.108)

なお、ソフトウェアのバックアップ機能など、上記以外の方法でバックアップしたファイルや設定を復元する場合は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧ください。

# セキュリティ問題などの修正プログラムを実行する

コンピュータウイルスの感染を防ぐため、◎「リカバリ&ユーティリティディスク」に修正プログラムが用意されている場合があります。インターネットに接続する前に、修正プログラムがあるか確認し、ある場合は修正プログラムを実行してください。

修正プログラムは、次の手順で確認・実行できます。

1. Windowsが起動した状態で◎「リカバリ&ユーティリティディスク」をセットし、マイコンピュータなどで中のファイルを表示します。  
リカバリ後の状態では、CD/DVD ドライブは、E ドライブです。
2. 📁(OTHER) フォルダがあるかどうかを確認します。ある場合は、📁(OTHER) フォルダをクリックし、中にある 📁(OS) フォルダを開きます。  
修正プログラムのフォルダが表示されます。  
📁(OTHER) がない場合は、修正プログラムがないので、ここでの手順を実行する必要はありません。



3. フォルダを開いて中のファイルを実行し、インストールしてください。  
修正プログラムのフォルダは複数ある場合があります。順番に、すべてのファイルを実行してください。

## インターネット接続の設定をする

リカバリをする前にインターネットに接続していた方は、オンラインサインアップ（入会申し込み）を行う必要はありません。接続の設定を行うだけで再びインターネットをご利用になれます。

### 参照

- 『スタートガイド2 セットアップ編』  
→「インターネットを始めるための準備をする」

### POINT

#### 「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は

インターネットへの接続がダイヤルアップ接続の方で、「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は、ダイヤルアップ接続の設定を行う必要はありません。  
「FM かんたんバックアップ」については、「まとめて簡単にバックアップする」（◆▶ P.99）をご覧ください。

## 「Office 2003」のライセンス認証を行う

「Office 2003」がパソコンにインストールされている方のみ行ってください。

BIBLO LOOX P70T/V、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、「Office 2003」は添付されていません。

「Office 2003」のソフトウェアをお使いになる前に、ライセンス認証を行ってください。ライセンス認証は、インターネット経由で行うことをお勧めします。

認証手順については、「Office 2003」に添付の□『スタートガイド』→「ライセンス認証を行う」をご覧ください。

## Windows を最新の状態にする（Windows Update）

◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行すると、それまで「Windows Update」で最新の状態に更新・修正していたプログラムは、ご購入時の状態に戻ってしまいます。あらためて、「Windows Update」を実行してWindows を最新の状態に整えてください。

### 参照

- 『スタートガイド2 セットアップ編』  
→「Windows を最新の状態にする」

# セキュリティ対策をする

リカバリをする前と同じように、セキュリティ対策を行ってください。

## 参照

- 『スタートガイド2 セットアップ編』  
→「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」

# その他

## パソコンの設定を変える

画面の背景（壁紙）、スクリーンセーバー、画面の解像度や発色数など、お客様が以前使っていたパソコンの設定に戻します。

## 参照

- 『画面で見るマニュアル』  
→「5. パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」

## ソフトウェアの設定を変える

「TVfunSTUDIO」や「インスタント MyMedia」のチャンネル設定など、自分で行ったソフトウェアの設定を元に戻します。



### ドライバを更新する

「アップデートナビ」(⇒ P.43) や添付のディスクでドライバの更新ができます。ドライバの更新については、「ドライバを更新する」(⇒ P.159) をご覧ください。



## 5

## 「リカバリ＆ユーティリティディスク」 を使ってできること

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」では、リカバリを行う以外にも、バックアップやハードディスクの領域の変更、ハードディスクのフォーマットなどいろいろなことができます。

ただし、機種により ◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」でできることは異なります。

### 「インスタント MyMedia」のリカバリを行う

#### 対象機種：「インスタント MyMedia」搭載機種のみ

「インスタント MyMedia」のリカバリができます。

リカバリの方法については、「Q 「インスタント MyMedia」が起動しない、正しく動作しない〔インスタント MyMedia 搭載機種〕」(⇒ P.125) をご覧ください。

### Windows が起動しないときにバックアップをとる

Windows が起動できない場合に、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」の「かんたんバックアップレスキュー」を使用して、大事なデータのバックアップを行うことができます。「かんたんバックアップレスキュー」の使い方については、「Windows が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュー）」(⇒ P.163) をご覧ください。

### ハードディスクの内容を消去する

ハードディスク上からデータを完全に消すことができます。パソコンを廃棄したり、他人に譲渡したりするときなどに、お使いになることをお勧めします。

ハードディスクの内容の消去については、「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」(⇒ P.215) をご覧ください。

# C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）

次の機種は除く：BIBLO NX95T/D、ハードディスク容量を320GB以上に選択されたNX90TN/DとNX70TN/D

◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を使ってC ドライブとD ドライブの割合を変更することができます。

ただし、BIBLO NX95T/D、ハードディスク容量を320GB以上に選択されたNX90TN/DとNX70TN/Dをお使いの方は、C ドライブとD ドライブの割合を変更することはできません。

## 重要

### データはすべて削除されます

この操作をすると、ハードディスク内のデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）がすべて削除されます。「バックアップで大切なデータを守る」（[P.95](#)）をご覧になり、必要なデータはあらかじめCD/DVD など別の媒体にバックアップをしておいてください。

### NTFS に設定されます

FAT32 に設定してある場合も、C ドライブ、D ドライブ共に自動で NTFS に変更されます。

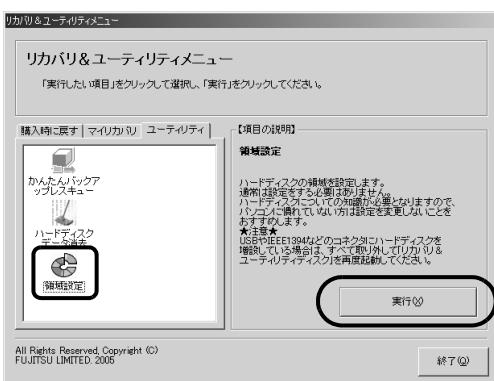
### ドライブの容量制限

- ・ BIBLO LOOX P70T/V、LOOX P70TN でハードディスク容量を 30GB に選択した方  
C ドライブの最小容量は 12GB、D ドライブの最小容量は 12GB です。これより小さくすることはできません。
- ・ 上記以外の機種  
C ドライブの最小容量は 30GB、D ドライブの最小容量は 10GB です。これより小さくすることはできません。

1 「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行する」の手順1～7  
([P.179](#)) を行います。

2 「ユーティリティ」タブをクリックします。

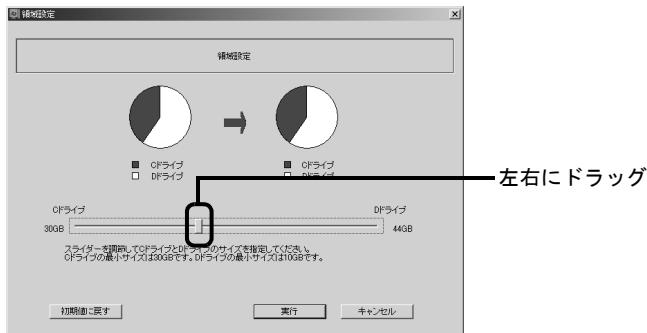
3 「領域設定」をクリックして選択し、「実行」をクリックします。



（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）



- 4 「同意する」をクリックして④にし、「次へ」をクリックします。**  
ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。
- 5 スライダーを左右にドラッグして、C ドライブとD ドライブの容量を指定します。**



(画面は機種や状況により異なります)

### POINT

#### ハードディスクの容量を、ご購入時と同じ状態にしたいときは

ご購入時と同じ状態にするには、「初期値に戻す」をクリックしてください。C ドライブの容量がご購入時と同じ状態に設定されます。

- 6 容量を決めたら、「実行」をクリックします。**
- 7 「はい」をクリックします。**  
ハードディスクの領域が設定されます。
- 8 「完了」をクリックします。**  
リカバリ&ユーティリティメニューに戻ります。
- 9 「購入時に戻す」タブをクリックします。**
- 10 「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行する」の手順 8(⇒ P.182)へ進んでください。**

# ハードディスクをフォーマットする

**対象機種：BIBLO NX95T/D、ハードディスク容量を320GB以上に選択されたNX90TN/DとNX70TN/D**

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使って、搭載されている2台のハードディスク（C ドライブ、D ドライブ）のうち、片方のハードディスクのみをフォーマットすることができます。

## 重要

**フォーマットするドライブのデータはすべて削除されます**

この操作を行うと、フォーマットするドライブにあるデータはすべて削除されます。「バックアップで大切なデータを守る」（…▶ P.95）をご覧になり、必要なデータは、あらかじめ CD/DVD などの別の媒体や他のドライブにバックアップしておいてください。

- 1 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行するの手順1～7（…▶ P.179）を行います。
- 2 「ユーティリティ」タブをクリックします。
- 3 「[フォーマットしたいドライブ名] のみフォーマット」をクリックして選択し、「実行」をクリックします。  
C ドライブをフォーマットしたい場合は、「C ドライブのみフォーマット」をクリックします。  
D ドライブをフォーマットしたい場合は、「D ドライブのみフォーマット」をクリックします。
- 4 「同意する」をクリックして④にし、「次へ」をクリックします。  
フォーマットが始まります。
- 5 「領域を設定しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。  
リカバリ＆ユーティリティメニューに戻ります。
- 6 「終了」をクリックします。
- 7 メッセージが表示されたら、ディスクを取り出し、「終了」をクリックします。



## カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は

カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、ここで説明している手順に従ってリカバリを行ってください。

また、◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する前に、「リカバリの準備」  
（⇒ P.173）を必ずお読みください。

### 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」と ◎「アプリケーションディスク2」を用意してください。

#### ハードディスクを初期状態に戻し、Windows のセットアップをする

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行し、ハードディスクの中身を削除してから復元します。

##### 重要

###### ディスクは途中で取り出さないでください

◎「リカバリ＆ユーティリティディスク」実行中は、リカバリの完了メッセージが表示されるまで、セットされているディスクを取り出さないでください。リカバリが中断されることがあります。

###### リカバリが中断されてしまったら

リカバリが中断されてしまった場合は、以下の点を確認した後、次の手順1からやり直してください。

- ・周辺機器を取り外したか確認してください。  
パソコンの電源を切り、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器はすべて取り外してください。
- ・手順を確認してください。  
手順を間違えている可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

###### 外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体のUSBコネクタ、またはIEEE1394(DV)端子に、外付けハードディスクなどを接続している場合は、リカバリを行う前に必ず取り外してください。

外付けハードディスクが接続されていると、リカバリが行えません。

###### DESKPOWER LX シリーズの無線 LAN (PC カードタイプ) 搭載機種の方

搭載されていた無線LAN(PCカードタイプ)を取り外している場合は、必ずパソコン本体にセットしてからリカバリを行ってください。リカバリを行うときは、搭載されていた無線LAN(PCカードタイプ)を、あらかじめパソコン本体にセットしておく必要があります。

- 1 「「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行する」(⇒ P.179) と「Windows のセットアップをする」(⇒ P.184) の手順をすべて行います。
- 2 セットしてあるディスクを取り出します。

## 「必ず実行してください」を実行する

パソコンの初期設定を行うプログラムです。最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

- 3 「スタート」ボタン→「!**必ず実行してください**」の順にクリックします。  
デスクトップにある  (必ず実行してください) をクリックしても実行できます。  
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。
- 4 「実行する」をクリックします。  
パソコンの初期設定が始まります。「保証期間表示」ウィンドウが表示されるまで、そのままお待ちください。

### 重要

「診断センターにお問い合わせください」の画面が表示されたときは  
画面の指示に従ってください。

- 5 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。  
再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。  
画面がいったん暗くなり、Windows が再起動します。

### POINT

#### インスタント MyMedia 搭載機種をお使いの方

「インスタント MyMedia」のセットアップが始まります。

設定中は、画面が真っ暗になったり、「インスタント MyMedia」の画面が表示されたりします。セットアップには時間がかかりますが、Windows が再起動されるまでそのままお待ちください。

#### BIBLOをお使いの方

指紋認証をお使いになる場合は、あらかじめ準備が必要です。終了後、再びこのマニュアルの手順に戻ります。

### 参照

▼ 指紋認証をお使いになる場合

□『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「指紋認証を使う」



この後、「パソコン準備ばっちりガイド」が起動します。ここでは「パソコン準備ばっちりガイド」は利用しません。

- 7 「あとで実行」をクリックし、「パソコン準備ばっちりガイドを終了します。」というメッセージで「はい」をクリックします。  
「パソコン準備ばっちりガイド」を終了します。
- 8 ⑧「アプリケーションディスク2」をセットします。

### POINT

「・・・Windowsが実行する動作を選んでください。」というウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・Windowsが実行する動作を選んでください。」というウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。  
メッセージについては、「Q 「・・・Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された」(⇒ P.148) もあわせてご覧ください。

- 9 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 10 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。  
e:\info.bat  
CD/DVDのファイルが実行され、自動で必要な設定が行われます。
- 11 ⑨「アプリケーションディスク2」を取り出します。
- 12 「サービスアシスタントをインストールする」の手順1~4 (⇒ P.206)を行います。

これで、作業は終了です。「以前の環境に近づける」(⇒ P.195)を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

## 補足情報

リカバリで行うソフトウェアのインストールのときに、何らかの理由でソフトウェアのインストールを手助けするウィザードが表示されなくなることがあります。

ウィザードが表示されなくなった場合は、ここで説明している通りに操作してください。なお、ここでの手順は「搭載ソフトウェアをインストールする①」（[P.187](#)）の手順の続きになっています。

### サービスアシスタントをインストールする

富士通サービスアシスタントをインストールします。◎「富士通サービスアシスタント」を用意してください。

#### 1 ◎「富士通サービスアシスタント」をセットします。

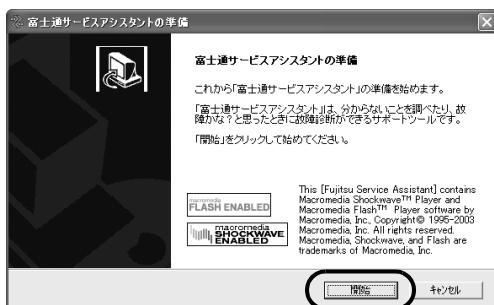
自動的に、「富士通サービスアシスタントの準備」というウィンドウが表示されます。

##### POINT

「富士通サービスアシスタントは、すでにインストールされています。起動してお使いください。」と表示されたときは

このメッセージが表示されたときは、サービスアシスタントをインストールする必要はありません。手順4に進んでください。

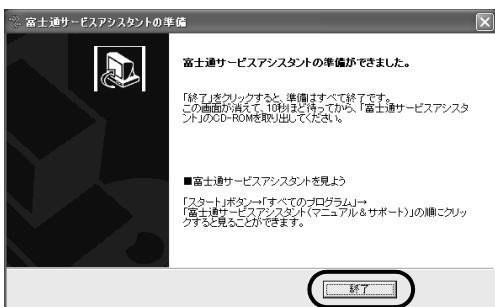
#### 2 「富士通サービスアシスタントの準備」というウィンドウで「開始」をクリックします。



サービスアシスタントのインストールが始まります。手順3のウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。



- 3 「富士通サービスアシスタントの準備ができました。」というウィンドウで「終了」をクリックします。



「富士通サービスアシスタントの準備」というウィンドウが閉じます。

- 4 ④ 「富士通サービスアシスタント」を取り出します。

## 「Office 2003」をインストールする

「Office 2003」、「Home Style<sup>+</sup>」、「Office 2003」のサービスパックの順にインストールします。BIBLO LOOX P70T/V、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は添付されていません。

### 「Office 2003」をインストールする

「Word 2003」、「Excel 2003」、「Outlook 2003」を使えるようにします。④「Office 2003 の CD-ROM」を用意してください。

- 1 ④ 「Office 2003 の CD-ROM」をセットします。  
プロダクトキーを入力する画像が表示されます。
- 2 「搭載ソフトウェアをインストールする②」の手順5～14（[P.191](#)）を行います。
- 3 「「Home Style<sup>+</sup>」をインストールする」（[P.208](#)）に進みます。

#### 重要

##### 「Office 2003」のライセンス認証が必要になります

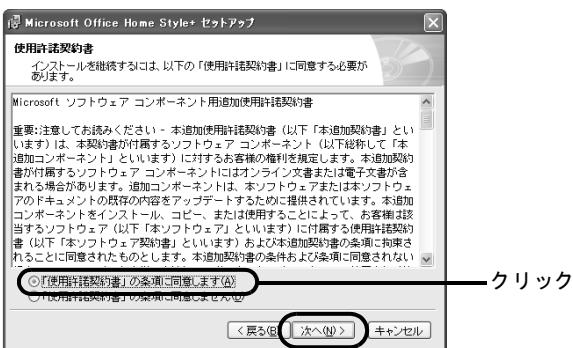
パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に「Office 2003」のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。

詳しくは、「「Office 2003」のライセンス認証を行う」（[P.197](#)）をご覧ください。

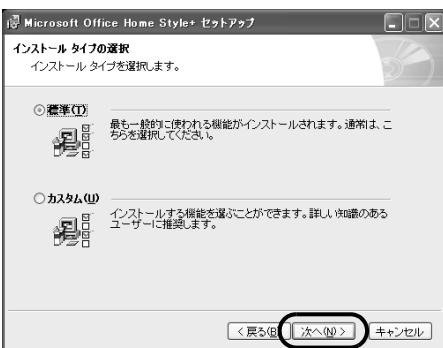
# 「Home Style<sup>+</sup>」をインストールする

◎ 「Home Style<sup>+</sup> の CD-ROM」を用意してください。

- 1 ◎ 「Home Style<sup>+</sup> の CD-ROM」をセットします。
- 2 「Microsoft Office Home Style<sup>+</sup> セットアップへようこそ」というウィンドウで「次へ」をクリックします。
- 3 「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして◎にし、「次へ」をクリックします。



- 4 「セットアップ先のフォルダ」というウィンドウで「次へ」をクリックします。
- 5 「インストールタイプの選択」というウィンドウで「標準」に◎がついていることを確認し、「次へ」をクリックします。



- 6 「インストールの開始」というウィンドウで「次へ」をクリックします。システムの更新が始まります。しばらくお待ちください。
- 7 「セットアップは正常に終了しました」というメッセージで「OK」をクリックします。



## 8 ⑧「Home Style<sup>+</sup> の CD-ROM」を取り出します。

「Office 2003」のサービスパックをインストールする（ $\cdots\blacktriangleright$  P.209）に進みます。

### 「Office 2003」のサービスパックをインストールする

#### ※重要

「Office 2003」「Home Style<sup>+</sup>」がインストールされている必要があります

サービスパックをインストールするには、「Office 2003」「Home Style<sup>+</sup>」がすでにインストールされている必要があります。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。
- 2 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。  
c:\\$pifmae\\$o11sp\\$011Sp2PI.EXE  
確認のメッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
使用許諾契約が表示されます。
- 4 使用許諾契約の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「はい」をクリックします。  
インストールが始まります。しばらくお待ちください。
- 5 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。  
Windows が再起動します。再起動するまでは、パソコンを操作せずお待ちください。

7

で購入時の状態に戻す（リカバリ）

# 「プロアトラス SV2 for FUJITSU」をインストールする

◎「プロアトラス SV2 for FUJITSU」を用意してください。

カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は添付されていません。

## POINT

### BIBLO LOOX P シリーズをお使いの方は

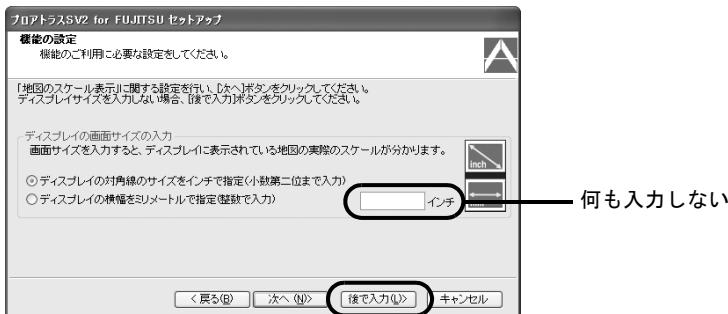
BIBLO LOOX P シリーズでは、「プロアトラス SV2 for FUJITSU」はご購入時にインストールされません。

ご購入時と同じ状態にする場合はこの操作は不要ですが、次の手順を参考にインストールが可能です。

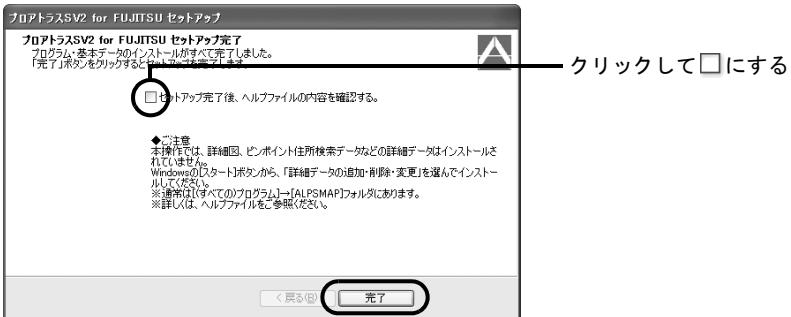
- 1 ◎「プロアトラスSV2 for FUJITSU」をセットします。  
「プロアトラス SV2 for FUJITSU セットアップ」画面が表示されます。
- 2 「プロアトラスSV2 for FUJITSU セットアップへようこそ」というウィンドウで「次へ」をクリックします。
- 3 「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックします。
- 4 「インストール方法の選択」というウィンドウで「標準インストール」をクリックします。



- 5 「機能の設定」というウィンドウで、そのまま何も入力しないで「後で入力」をクリックします。



- 6 「インストールの開始」というウィンドウで「インストール」をクリックします。**  
インストールが始まります。しばらくお待ちください。
- 7 「プロアトラス SV2 for FUJITSU ユーザー登録と詳細データのインストールのご案内」というウィンドウで「次へ」をクリックします。**
- 8 「プロアトラスSV2 for FUJITSUセットアップ完了」というウィンドウで「セットアップ完了後、ヘルプファイルの内容を確認する。」のをクリックしてにし、「完了」をクリックします。**



- 9 ⑨「プロアトラス SV2 for FUJITSU」を取り出します。**

# パソコンをご購入時と同じ設定にする

パソコンをご購入時と同じ状態にするために、デスクトップのショートカットアイコンを削除したり、重要な設定を行う「必ず実行してください」というプログラムを実行したりします。

## デスクトップのショートカットアイコンを削除する

ソフトウェアのインストール後に表示された次のショートカットアイコンを、（ごみ箱）にドラッグして削除してください。

- ・（プロアトラス SV2）

## 「必ず実行してください」を実行する

「必ず実行してください」は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。必ず実行してください。

### 1 「スタート」ボタン→「①必ず実行してください」の順にクリックします。

デスクトップにある（必ず実行してください）をクリックしても実行できます。  
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

### 2 「「必ず実行してください」を実行する」の手順 1～3（）を行います。

手順 3 以降に記載されている POINT もお読みください。

### 3 BIBLO MGシリーズをお使いの方は、「「Virtual CD」をご購入時と同じ設定にする（BIBLO MGシリーズ）」（）の手順をすべて行います。

このあとは、「以前の環境に近づける」（）をご覧になり、パソコンを以前に使っていた環境に近づけてください。



# 8

## 第8章 廃棄・リサイクルについて

1 ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて ..... 214

# 1 ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて

## 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

### 液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

### PC リサイクルマークについて



本製品の、パソコン本体の装置銘板およびディスプレイの装置銘板には、PC リサイクルマークが記載されています。

PC リサイクルマークが付いた使用済みパソコン本体およびディスプレイは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」にて、無償で回収・再資源化いたします。



#### 装置銘板と PC リサイクルマークについて

装置銘板とは、パソコン本体やディスプレイの背面や下面に付いている、品名や型名などが記載されているシールです。PC リサイクルマークは、通常は装置銘板に記載されていますが、機種によっては装置銘板とは別に、PC リサイクルマークのみ記載されたシールが付いている場合もあります。



(装置銘板は機種により異なります)



## 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。

受付窓口の電話番号、お申し込み方法などについては『サポート & サービスのご案内』または富士通パソコンリサイクルホームページ (<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

なお、廃棄前に、フロッピーディスクやメモリーカードなどの媒体がパソコン本体にセットされたままになつてないか確認してください。

## 法人、企業のお客様へ

「富士通パソコンリサイクル受付センター」は、個人のお客様専用受付窓口のため、法人、企業のお客様はご利用いただけません。

法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

なお、廃棄前に、フロッピーディスクやメモリーカードなどの媒体がパソコン本体にセットされたままになつてないか確認してください。

## パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに入っているハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」を使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- リカバリを実行して、ご購入時の状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしてても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけという状態です。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS からデータを呼び出す処理ができなくなつただけで、本来のデータは残っているのです。したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンの廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアやサービス（有料）を利用することをお勧めします。また、廃棄する場合は、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁

気的に破壊することをお勧めします。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、ソフトウェアなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

このパソコンには、パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の一つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、WindowsなどのOSによるファイル削除や初期化と違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアの使用によりデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

## 「ハードディスクデータ消去」の使い方

「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、次の点にご注意ください。

- 必要なデータはバックアップしてください。
- データ消去終了まで、数時間かかります。
- 途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- BIBLOの場合、必ずACアダプタを使用してください。
- 周辺機器は取り外してください。
- ◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を用意してください。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。

準備ができたら、次の手順に従って、「ハードディスクデータ消去」を実行します。

- 1 「「リカバリ&ユーティリティディスク」を実行する」の手順1～7（ P.179）を行います。  
リカバリ&ユーティリティメニューが表示されます。
- 2 「ユーティリティ」タブをクリックして「ハードディスクデータ消去」をクリックし、「実行」をクリックします。  
「ハードディスクデータ消去」の画面が表示されます。
- 3 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、「同意します」をクリックして◎にし、「次へ」をクリックします。  
消去するハードディスクを選ぶ画面が表示されます。
- 4 データを消去したいハードディスクをクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。  
データを消去する方式を選ぶ画面が表示されます。
- 5 「固定データ書き込み」または「DoD 標準（米国国防総省規格）」のどちらかを選んで◎にし、「次へ」をクリックします。  
エラーが発生したときの処理を選ぶ画面が表示されます。
- 6 内容をよくお読みになり、「ハードディスクのエラーを検出した時点で処理を中断します【推奨】」または「エラーを検出した際、その部分をスキップして処理を継続します」のどちらかをクリックして◎にし、「次へ」をクリックします。  
ハードディスクの情報と、データ消去中の注意事項が表示されます。
- 7 内容をよくお読みになり、データの消去を実行してもよい場合は、「開始」をクリックします。  
確認のウインドウが表示されます。
- 8 「OK」をクリックします。  
データ消去が始まります。消去には、数時間かかります。
- 9 「電源（パソコン電源）ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ってください。」と表示されたら、◎「リカバリ&ユーティリティディスク」を取り出します。
- 10 電源（パソコン電源）ボタンを4秒以上押し続けて、パソコンの電源を切ります。



## 法人、企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ消去サービス」をご用意しております。

消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	専用ソフトウェアを使って、ハードディスクに対して2回上書き（ランダムデータ+0データ）することにより残存するデータを完全に消去します。DoDやNSAなど海外の各種消去規格にも対応可能です。
ハード消去	消磁装置を使用してハードディスクを磁気的に破壊します（最大磁力：13000ガウス）。

消去証明として富士通が消去証明書を発行し、消去済ナンバリングシールを対象ディスクに貼付して、納品物とします。

詳しくは、「データ消去サービス」([http://segrouf.fujitsu.com/fs/services/h\\_elimination/](http://segrouf.fujitsu.com/fs/services/h_elimination/)) をご覧ください。

お問い合わせ／お申し込み先 メールアドレス：[fbprj@support.fujitsu.com](mailto:fbprj@support.fujitsu.com)

## 使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

## 個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。

## 法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を得ている会社に処分を委託してください。

# 使用済みバッテリの取り扱いについて

## [DESKPOWER を除く]

- リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリパック、バッテリユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート(短絡)防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

### 参照

▼ バッテリの仕様



▼ バッテリの取り外し方



「000560」で検索

→ 「内蔵バッテリパックを交換する」

## 個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>) をご覧ください。

弊社は、有限責任中間法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。



## 法人・企業のお客様へ

法人・企業のお客様は、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。



このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

**Li-ion**



# 索引

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→  
「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

## 記号

- @メール ..... 34  
@メニュー ..... 16

## A

- Adobe Reader ..... 72

## B

- BIOS ..... 165

## C

- CC、BCC ..... 41

## E

### E メール

- お役立ち情報 ..... 41  
基本操作 ..... 33  
使ってはいけない文字 ..... 42  
良いメールの書き方 ..... 42

## F

- FMV ランチャー ..... 12  
FM かんたんインストール ..... 187  
FM かんたんバックアップ ..... 99  
FM 手帳 ..... 20

## H

- Home Style+ ..... 208

## I

- Internet Explorer ..... 29

## O

- Office 2003 のサービスパック ..... 209  
Outlook 2003 ..... 33  
Outlook Express ..... 33

## P

- PDF ..... 72

## W

### Windows

- エラーメッセージ ..... 122  
起動しない ..... 122  
強制的に再起動 ..... 131  
セットアップ ..... 184, 203

## あ行

- アップデートナビ ..... 43  
アドレスを指定してホームページを見る ..... 27  
アプリケーションディスク ..... 21  
インスタント MyMedia  
  リカバリ ..... 125  
インストール  
  FM かんたんインストール ..... 187  
インターネット  
  アドレスを指定する ..... 27  
  「お気に入り」に登録する ..... 27  
  検索する ..... 28  
エラーメッセージ ..... 122  
お気に入り ..... 27  
音  
  出ない ..... 132

## か行

- 解像度と発色数 ..... 129  
カスタムメイドモデル ..... 8  
必ず実行してください ..... 193, 204  
画面

- 色がずれる ..... 127  
  画像がちらつく ..... 127  
  画像が揺れる ..... 127  
  何も表示されない ..... 116, 118  
  乱れる ..... 127  
画面上のボタン ..... 13  
画面で見るマニュアル ..... 65  
画面を確認する ..... 12  
かんたんバックアップレスキュー ..... 163  
キーボード ..... 138, 141  
強制終了 ..... 124  
  ソフトウェア ..... 130  
強制終了（再起動）  
  Windows ..... 131  
検索サービス ..... 28

## さ行

- サービスアシスタント  
  起動方法 ..... 63  
  動作条件 ..... 9  
再起動  
  強制的に再起動 ..... 131  
  繰り返す ..... 121  
周辺機器  
  動かない ..... 144  
数字  
  入力されてしまう ..... 142  
スクロールボタン ..... 139  
スティックポイント  
  使えない ..... 139

セーフモード	
起動する	161
ソフトウェア	
動かない	130
強制終了	130
使う	16

## た行

タスクバー	12
通知領域	12
ディスクイメージ	
DVDにコピーする	89
削除する	94
作成する	83
復元する	86
ディスプレイ	
色がずれる	127
画像がちらつく	127
画像が揺れる	127
乱れる	127
デスクトップ	12
電源	
エラーメッセージ	122
問い合わせる	156
ドライバ	
更新	159

## は行

ハードディスクデータ消去	216
バックアップ	95
バッテリ	
充電されない	147
バッテリ残量表示の点滅	146
filtrating	31
富士通サービスアシスタント	63
フラットポイント	
使えない	139
ペン	
使えない	143
ホームページ	
見かた	23
ボタン	
Internet Explorer	29
画面（デスクトップ）	13

## ま行

マイページ	74
マイリカバリ	79
マウス	
勝手に移動	140
使えない	138
マウスポインタ	
動かない	138
勝手に移動	140
無線 LAN	135, 137, 155

## メール

お役立ち情報	41
基本操作	33
使ってはいけない文字	42
良いメールの書き方	42

## や行

良いメールの書き方	42
-----------	----

## ら行

リカバリ	167
インスタント MyMedia	125
リカバリ&ユーティリティディスク	
実行	178, 203
リンク	25

## わ行

ワイヤレスキーボード	
使えない	141
ワイヤレスマウス	
使えない	141



Memo

Memo

---

## **FMV活用ガイド**

B5FJ-0531-02-00

発行日 2006年9月  
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター  
Printed in Japan

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。



# 文字の入力のしかた

1 入力する場所をクリック。



2 **半角/全角** を押す。

日本語が入力できる状態にする。



3 文字のキーを押す。

「たいよう」

4 変換する。

漢字	変換	太陽
ひらがな	F6	たいよう
全角カタカナ	F7	タイヨウ
半角カタカナ	F8	タヨウ
全角英字	F9	t a i y o u
半角英字	F10	taiyou

5 **Enter** を押す。

太陽

下線が消えて文字が確定される

## 句読点や記号の入力

「、」や「。」などの句読点は、次の表に示すキーを使って入力できます。

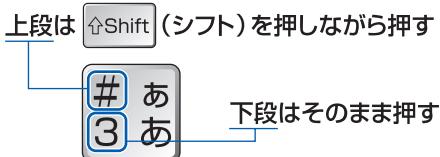
入力したい文字	キーの操作	
	ローマ字入力	かな入力
、(読点)	＜neを押す	↑Shift + <neを押す
。(句点)	＞るを押す	↑Shift + >るを押す
・(中黒)	?めを押す	↑Shift + ?めを押す
ー(長音)	=ほを押す	¥ーを押す

○や■などの記号は、次の表に示す読みを入力して変換できます。

入力したい文字	読み	入力したい文字	読み
～	から	(株)	かぶ
☆★※	ほし	〒	ゆうびん
↔↑↓	やじるし	TEL	でんわ
「『』【】	かつこ	①～⑩、I～X	いち、に、さん、…(以降同様)
○●○	まる	々〃	おなじ
□■◇◆	しかく	ヶ	け／か

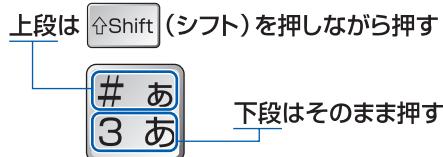
## キーに刻印された文字の入力のしかた

### ローマ字入力



- ローマ字入力では原則として左側の文字を使用する
- キーの右側はかな入力用なので、ローマ字入力では使用しない（いくつか例外もある）

### かな入力



- 左側と右側は、入力モードを切り替えて打ち分ける



# あ A かな・ローマ字対応表

あ	あ A	い I	う U	え E	お O					
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きょ KYO
さ	さ SA	し SI (SHI)	す SU	せ SE	そ SO	しゃ SYA	しい SYI	しゅ SYU	しぇ SYE	しょ SYO
た	た TA (CHI)	ち TI (TSU)	つ TU	て TE	と TO	ちゃ TYA	ちい TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちょ TYO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO	にゃ NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	にょ NYO
は	は HA	ひ HI	ふ HU (FU)	へ HE	ほ HO	ひゃ HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひょ HYO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO	みゃ MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みょ MYO
や	や YA		ゆ YU		よ YO					
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO	りゃ RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りょ RYO
わ	わ WA	うい WI	う WU	うえ WE	を WO					
	ん NN		ヴ VU			ふあ FA	ふい FI		ふえ FE	ふお FO
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎょ GYO
ざ	ざ ZA	じ ZI (JI)	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	じゃ ZYA	じい ZYI	じゅ ZYU	じえ ZYE	じょ (JO)
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢょ DYO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びょ BYO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ペ PE	ぽ PO	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴょ PYO
小さい文字						注：子音(AIUEO以外)を2回続けて押しても入力できます。				
	あ LA (XA)	い LI (XI)	う LU (XU)	え LE (XE)	お LO (XO)					
	や LYA (XYA)	ゆ LYU (XYU)	よ LYO (XYO)		つ LTU (XTU)	例) につき				
						N	I	K	K	I